Sieger

2018-19 SKI CATALOG

最新スキーギアカタログ

ISG SIEGER AWARD SKI CUSTOM FAIR

軽快! 安定性! 操作性!
ナンバーワンは?

RACING
DEMO
FREERIDE
POWDER
BACKCOUNTRY
TOUR

ISHII SPORTS SKI NEW MODEL

Custom Fair

2018-2019 40th Anniversary

Custom fair is one of the biggest ski reservation sale events in Japan.
It is a place to share various information on skiing and form a community where ski fellow gathers.

ISG ヒトと地球のインターフェース 石井スポーツグループ

「カスタムフェア」は今年で40周年。

40年前も、これからも、いつの時代も
「最新」を満載で開催します!

ISG SIEGER AWARD BEST CUSTOM FAIR

その目で
確かめに行こう!

ISHII SPORTS SKI NEW MODEL

Custom Fair

2018-2019 40th Anniversary

Custom fair is one of the biggest ski reservation sale events in Japan.
It is a place to share various information on skiing and form a community where ski fellow gathers.

今年は6月8日(金)札幌を皮切りに
全国で毎週開催!

札幌会場 アクセスサッポロ
札幌市白石区流通センター4-3-55

開催日時 6/8(金) 15:00～20:00 / 6/9(土) 10:00～20:00 / 6/10(日) 10:00～18:00

■地下鉄東西線「大谷地駅」から車で3分 ■地下鉄東西線「大谷地駅」から徒歩15分 無料駐車場完備
■JR「新さっぽろ駅」から車で7分 ■高速 大谷地インターより車で2分

東京有明会場 有明ビッグサイトTFTビル 西館2階ホール

開催日時 6/14(木) 16:00～20:00 / 6/15(金) 10:00～20:00 / 6/16(土) 10:00～20:00 / 6/17(日) 10:00～18:00

■りんかい線「国際展示場駅」より徒歩約5分
■ゆりかもめ「国際展示場正門駅」より徒歩約1分
提携駐車場はございません。

仙台会場 サンフェスタ 1F
宮城県仙台市若林区卸町2丁目15-2

開催日時 6/22(金) 15:00～20:00 / 6/23(土) 10:00～20:00 / 6/24(日) 10:00～18:00

■仙台駅から約4km(車で約15分) ■仙台市地下鉄東西線「卸町駅」(仙台駅から約9分)
■北1出入口から約550m(徒歩約7分)
無料駐車場有
(受付にてチケット無料化致します)

松本長野会場 安曇野スイス村サンモリッツ 大ホール・中ホール
安曇野市豊科南穂高3800-1

開催日時 6/29(金) 15:00～20:00 / 6/30(土) 10:00～20:00 / 7/1(日) 10:00～18:00

■長野自動車道「安曇野IC」から車で直線5分。
無料駐車場完備(350台)

大阪神戸会場 大阪府立国際会議場(グランキューブ大阪)
大阪府大阪市北区中之島5-3-51

開催日時 7/6(金) 15:00～20:00 / 7/7(土) 10:00～20:00 / 7/8(日) 10:00～18:00

■(電車)京阪電車中之島線「中之島(大阪国際展示場)駅」2番出口すぐ
■(シャトルバス)JR大阪駅桜橋口とリーガロイヤルホテル間で運行(定員28名)
提携駐車場はございません。

新潟会場 燕三条地場産業振興センター
新潟県三条市須頃1-17

開催日時 7/14(土) 10:00～20:00 / 7/15(日) 10:00～20:00 / 7/16(月祝) 10:00～18:00

■JR上越新幹線燕三条駅(燕側出口)から徒歩5分
■北陸自動車道三条燕インターチェンジから車で5分
無料駐車場完備(350台)

東京 ファイナル 五反田会場 TOC五反田メッセ
東京都品川区西五反田6-6-19

開催日時 7/20(金) 15:00～20:00 / 7/21(土) 10:00～20:00 / 7/22(日) 10:00～18:00

■JR、都営地下鉄「五反田駅」より徒歩10分 ■東急池上線「大崎広小路駅」より徒歩9分
■東急目黒線「不動前駅」より徒歩6分
提携駐車場はございません。

**ここ数年続いた"軽さ"を追求した用具の進化。
2018-19シーズンは、軽いことが当たり前になり、
マテリアルの進化はもうひとつ上のステージに!
新世代の性能を備えたマテリアルたちをチェックに**

いざ! カスタムへ!

最新スキーアイテム 約15,000点が集結!

カスタムフェアの〈6つの魅力〉

1 2018/19NEWモデル 早期特別価格 内金¥0 入場無料

2 予約制 コンシェルジュサービスで トータルサポート!! 専門スタッフがサポートいたします。 ※詳しくはホームページをご覧ください。

3 ここでしか見ることができない 会場限定アイテムが一堂に集結

4 わからないことはICIスタッフまで。 商品を熟知したスタッフがお応えいたします。

5 有名スキーヤー・デモのトークショーやスキーに役立つ講習会開催!

6 ご予約の総額が ¥30,000(税抜)以上 の方に、その場で、 オリジナルポケッタブルトートバッグをプレゼント! ※お一人様1点に限ります。 ※サンプル画像です。

ISHII SPORTS SKI NEW MODEL Custom Fair 2018-2019 40th Anniversary

**パソコンやスマートフォンで
カスタムフェア情報を配信!**

ブログ 「カスタムフェア」で検索
または石井スポーツHP内のバナーをクリック!

会場のトークショーを生配信
FRESH!
「石井スポーツカスタムフェア」をチャンネル登録

メルマガ isg-mm@star7.jp
ニューモデルやイベントの最新情報を発信!
登録をご希望の場合は、下記アドレス宛に「件名・本文」が空欄の空メールをお送りください。本登録用のURLが自動で返信されますので本登録画面に進みご登録ください。

Twitter
@ISGwhite をフォロー
https://twitter.com/ISGwhite

Facebook
@customfair 「いいね!」を押して情報をゲット!
https://www.facebook.com/customfair/

LINE
「石井スポーツ カスタムフェア」 友達追加

"カスタムフェアって何?"

ISG石井スポーツグループが開催するニューモデルスキー発表予約会。スキー板のみならず、ブーツ、ウェア、アクセ、山スキーなど、ほぼすべてのメーカーの新しい商品が一堂に会した世界最大級のイベントです。

イベント情報満載! 詳しい情報はこちらから。 ICI カスタム 検索

カスタムフェアに関しましてはHP、または下記店舗へお問い合わせください。
カンダコンペカン ☎03-3295-6060／神田本館 ☎03-3295-3215

SKI

あなたに最適な1台お探しします

スキーヤー向けの受注展示会としては世界最大規模の催事となり、それぞれのレベル、スタイルのお客様にほぼご対応が可能です。近年のトレンド「最新軽量スキー」も各メーカー取り揃えています。

約1,000台(有明会場)

WEAR

この時期だけの品揃え、最高の1着が見つかる

ここだけで買えるカラー、ここだけで見つかるサイズ、ここだから買えるウェアがカスタムフェアにお越しいただければきっと見つかるはず。早期販売限定モデルやパンツのサイズカスタマイズができるのもカスタムフェアの魅力のひとつ。ナショナルブランドから海外輸入ブランドまでカスタムフェアで最高の1着を見つけてください。

約1,000着

BOOTS

あの手、この手でお悩み解決いたします

あらゆる硬さ、形、サイズ等が展示してあります。話題の軽量ブーツや普段店頭に並ばないようなモデルもあり、お試しには絶好のチャンスです。カスタムフェアご購入のお客様は店頭にて1年間シェル加工無料! 完全な状態にてお渡しいたします。

約1,500足(有明会場)

ACCESSORY

**品揃えは、日本一。
見て、着けて、確かめて!**

アクセサリーの品揃えは、ユーザー向けの展示会としては日本一どころか世界一の豊富さを誇ります。カタログに載っているほぼ全てのモデル、カラー、サイズを確認、試着できます。ファッション的要素もあるアクセサリー類だからこそ、見て、着けて、確かめてください。

約5,000点(有明会場)

JUNIOR

**親から子へ、そして孫へ
3世代で楽しめるスキー用品が充実**

家族皆さんでスキーを楽しんでいただくために、会場にはキッズ・ジュニアから3世代に向けたスキー用品が充実しています。普段店頭ではラインナップが限られてしまいがちなジュニア用品も、各メーカーにて取り揃えておりますので実際の商品をご確認いただけます。

約1,000点

BACKCOUNTRY

スキーで冬山を楽しみませんか

今シーズンは山スキーで神秘的かつ刺激的な雪山を楽しんでみませんか? 各メーカープロスキーヤーガイド・石井スポーツスタッフが、あなたの目的に合った道具をセレクトいたします。

約1,000点

2018/19、最新情報満載!
注目のプロスタッフ実走テスト。
ウェア&バックカントリーも、さらに充実!!

『Sieger（ジーガー）』はISG石井スポーツグループがスキーヤーの皆様にお贈りするスキーカタログ。レーシングやデモのスキー&ブーツ、ウェア&アクセサリー、ジュニアモデル、バックカントリーと、さまざまなジャンルにわたるアイテムを掲載している。

注目してもらいたいのは、プロスタッフによる実走テストを行なっていること。今季、プロ目線でのニューモデルのテストを見ることができるのは、この『Sieger』だけ。各モデルが、どんな特徴を持ち、どんなスキーヤーにマッチするのか。各テスターのコメントをスキー選びの参考にしてもらいたい。

今季の「Sieger」が力を注いだのは、ウェア。16ページとページ数を増やし、独自の世界観を持つ国内外ブランドのウェアを紹介している。各ブランドが誘ってくれるスキーシーンを思い描きながら読み進むことで、ウェア選びはいっそう楽しいものになるはずだ。

もはやひとつのスキー文化として定着したバックカントリースキーのアイテムも、さらに充実。より深く雪山を楽しむための逸品を探し出してもらいたい。

「Sieger」に掲載されているのは、数多くの2018/19ニューモデルのなかから、石井スポーツのスタッフが厳選したもの。だから、それだけでも注目度は高いのだが、なかでも特徴的なモデルを「ISG SIEGER AWARD」として認定。巻頭ページでスキー&ブーツ、ウェア、アクセサリーの受賞モデルをまとめて掲載している。さらに今季は、注目すべきブランドも認定。そのブランドにもアワードを贈っている。いったい、どのブランドが受賞したのか？　期待しつつ本編を読み進んでもらいたい。また、スキー&ブーツでは、カタログページでもアワード受賞を示すアイコンを添付。要注目モデルとして、テスターのコメントを読んでもらいたい。

アワード選考の基準は、以下の4点。

・性能的に優れているもの
・革新的な技術が採用されているもの
・数年にわたりユーザーの評価が高いもの
・ISGプロスタッフのテスト評価が高いもの

いったい、どのモデルがアワードを獲得したのか？　その点に注目しながら、モノ選びの参考にしてもらいたい。

Sieger

制作発行＝ISG石井スポーツグループ
編集スタッフ＝佐藤孝幸、佐藤晶、小島雅之、大越仁、山田梢、小山内春人
デザイナー＝藤山啓介、小林友美
＊本カタログの製作にあたりましては、メーカー各社のご協力を得ています。ありがとうございました。
＊商品の仕様、デザイン、価格等は、予告なく変更になる場合があります。
＊本カタログ内の商品のカラーは、印刷のため実際とは多少異なることがあります。
＊法律で認められた場合を除き、誌面を無断でコピー、転載することは禁じます。

今季も“SIEGER AWARD”を選考。
間違いのないモノ選びの参考に

SKI

一挙紹介! ジーガーアワード 2018-19
SIEGER AWARD

NEWテクノロジー採用。タイムアップとフィーリングがマッチ。
今季注目のSLスキー

[SALOMON]
S/RACE PRO
→14ページ

フルモデルチェンジ。抜群の足元のグリップ感で安心感のあるスキー

[SALOMON]
S/RACE GS FIS
→14ページ

NEWテクノロジー採用のスキー。
GS競技だけではなく基礎大まわりにも使用可能

[SALOMON]
S/RACE GS
→15ページ

オールラウンドの性能と競技の強さも兼ね備えた万能スキー

[SALOMON]
S/RACE RUSH SL +X12TL
→16ページ

フルモデルチェンジした今季注目のオールラウンドモデル

[SALOMON]
S/MAX12+Z12 WALK
→17ページ

昨年好評のスキーが素材変更でさらにパワーUP

[ATOMIC]
REDSTER S9i
→20ページ

仕様変更でより幅広い対象のスキーヤーにマッチ

[ATOMIC]
REDSTER S8i
→21ページ

安定した小まわりが得意。さらなるプレートの変更で乗りやすさUP

[NORDICA]
DOBERMANN SLR RB FDT
→24ページ

バランスの良さが乗りやすさをUP。タイムアップ確実

[BLIZZARD]
FIREBIRD SL FIS
→26ページ

小まわりが得意なオールラウンドモデル。軽量ながら安定感抜群

[VÖLKL]
RACETIGER SL DEMO
→30ページ

好評のGSモデルがプレートの変更でパワーUP

[HEAD]
WC REBELS i GS RD
→34ページ

テスター好評価のマスターズモデル

[HEAD]
WC REBELS i GS RD PRO
→34ページ

フルモデルチェンジで最強の戦闘力。タイムアップ確実

[ROSSIGNOL]
HERO ATHLETE FIS GS FACTORY
→36ページ

エキスパートを満足させる性能と反応。
なんでもこなせるオールラウンドモデル

[ROSSIGNOL]
DEMO ALPHA TI LTD
→37ページ

SLスキーで定評のFISCHER。
あらゆるテスターに支持された最速スキー

[FISCHER]
R.C.4 WC SL CURV BOOSTER MEN
→38ページ

昨年好評のマスターズスキー。今季もタイムアップ確実

[FISCHER]
R.C.4 WC GS CURV BOOSTER MASTERS
→38ページ

乗りやすさと安定感の融合。幅広いテスターから支持

[FISCHER]
R.C.4 THE CURV DTX
→39ページ

小まわりから大まわりまで対応。
幅広い層に幅広いターン弧を可能に

[OGASAKA]
TC-SA
→40ページ

日本の雪質にマッチした乗りやすくて
タイムアップ確実なマスターズモデル

[VECTOR GLIDE]
MAXI M25
→42ページ

スキーヤーの動きに素直に対応。何でもこなせる万能スキー

[ELAN]
SLX FUSION
→43ページ

BOOTS

最軽量エキスパートブーツ。
軽くてしっかり
次世代エキスパートブーツ

[SALOMON]
S/MAX 130 CARBON
→18ページ

96mmラストと
メモリーフィットによる
快適エキスパートブーツ

[ATOMIC]
REDSTER CLUBSPORT 130
→23ページ

軽くてしっかり!
左右の剛性の
強さも兼ね備えた
注目ブーツ

[NORDICA]
PROMACHINE 130 GW
→28ページ

NEWカラーで
ゲレンデに映えるブーツ

[TECNICA]
FIREBIRD WC 110
→28ページ

独特のシェル素材が
新しい技術に対応

[DALBELLO]
DRS 130
→33ページ

NEWモールドにより
従来のしっかり感+
操作性抜群

[HEAD]
RAPTOR R2 RD
→35ページ

デュアルコア採用で
快適なエキスパートブーツ

[LANGE]
WORLD CUP ZJ+
→37ページ

上質素材の
インナーブーツが
抜群のフィット感を可能に

[FISCHER]
RC4 PODIUM 110
→39ページ

インナーの変更で
履きやすさがUPした
上級ブーツ

[REXXAM]
PowerREX M100
→44ページ

一挙紹介! WEAR & ACCESSORIES AWARD MODELS

WEAR

ISG SIEGER AWARD SKI CUSTOM FAIR

[Schöffel]
Race Suit A RT

”all my victories are linked with just one clothing brand : Schöffel!”
私のすべての勝利は、ただひとつのブランド“ショッフェル”と結びついている。
マルセル・ヒルシャーの言葉です

→79ページ

[ARC'TERYX]
Rush Jacket Men's
Stinger Bib Men's

こだわり抜いた素材選び、
シルエット、そして縫製技術。
とことん物作りにこだわり、
過酷な状況下でも
安心して着られるハードシェル

→83ページ

[DESCENT]
DWUMJK53(S) / DWUMJD53

『滑りを強く見せるために』。
細部にいたるまで、この言葉の意図を
デザインや機能性に反映し、
作られたこのウェアは、
スキーヤーの技術を最大限に引き出します

→68ページ

GOGGLE

[UVEX]
downhill2000 VP X

クリアな視界でギラつきなし!!
調光と偏光のダブルの機能を持ったレンズは、
晴天から悪天候まで幅広く対応可能。
さらには〈NXT〉レンズとして、
軽量かつ衝撃にも強い

→58ページ

[GIRO]
Agent

機能満載のくっきり視界!!
スペアレンズにも〈VIVID〉レンズが付く、
「Double VIVID!!」。
付属の〈VIVID Infrared〉はガスってきてもOK。
マグネット脱着でレンズ交換も極楽!!
眼鏡対応+ストラップ交換も可能

→59ページ

HELMET

[SMITH]
MISSION / MIRAGE

快適・軽量・耐衝撃!!
SMITH独自のコロイドパネルによる
〈エアロコア〉構造を採用。
軽量・衝撃吸収はもちろん、
空気の流れが内部の不要な
熱気・湿気を効率良く排出。快適さを確保

→60ページ

[SWANS]
HSF-230

収まり良好!
日本人にぴったり!
〈ジャパンフィットテクノロジー〉は
日本人の平均的な頭部形状を算出。
日本人の、日本人による、日本人のための
ヘルメットが形になったモデル

→60ページ

GLOVE

[HESTRA]
3-FINGER FULL LEATHER SHORT

新たな定番モデル!!
昨年から登場したSHORTタイプの
3-FINGER FULLLEATHER。
従来の3-FINGERの暖かさ、
使いやすさをそのままに、
ウェアの袖口に収まりやすくなっている

→65ページ

ユーザー投票部門 AWARD

2月から全国約40カ所の石井スポーツグループ各店で行なってきた、試乗会にご参加の皆様の特典です。ひとり一票、お気に入りのスキーに投票でき、AWARD受賞スキーの投票者の中から抽選で1名にAWARD受賞スキーをプレゼント! 今年度は各カスタムフェア会場ならびにISG石井スポーツグループHPでAWARD受賞スキー当選者を同時に発表いたします。各会場のAWARD展示コーナーに掲載いたしますのでお楽しみに。

2018/19 SIEGER Brand Award

Salomon Develops a New Concept

駆け抜ける青い疾風

SONS OF A BLAST

ここ数年サロモンは『Time to Play』(さあ、楽しもう!)をキーワードに、魅力ある商品をスキーヤーに届けてきた。その提案は幅広い分野のスキーヤーに受け入れられ、多くの新しいサロモンファンを生み出した。そして今季の全日本スキー技術選手権大会では吉岡大輔が2年ぶり3度目の優勝、佐藤栄一も自己最高の5位入賞という大躍進を遂げ、サロモンの元気さを強くアピールした。もちろんレースやフリーライドなど、その他の分野でも活躍はめざましい。ISG石井スポーツグループは、そんな今もっとも魅力的で勢いのあるブランドというイメージを高く評価し、今年の"ブランドアワード(最優秀ブランド)"にサロモンを選出したのである。

サロモンの創業は1947年。当初はノコギリの製造が主だったが、フレンチアルプスのど真ん中という地の利を生かし、やがてスキーに進出。まずはバインディングメーカーとして確固たる地位を築いた。そして1970年代にはリアエントリーブーツを、1990年代にはモノコックスキーを次々と投入。従来の常識をぶち破る独創的な発想がスキー界に与えた影響は大きかった。90年代後半に始まり、現在に連なるカービングスキー新時代においても、サロモンが主導的な役割を果たしたことは言うまでもないだろう。

そんなサロモンが2018/19シーズンに向けて発信するコンセプトは『Sons of a Blast』——疾風——の仲間たち。テーマカラーを鮮やかなブルーに統一し、力強いデザインのロゴを掲げ、来るべき冬に新たな風を吹き込もうというのだ。1月にはこの新コンセプトのもと、各国の正規ディーラーや主要ショップ、ジャーナリスト等に向けた『Blast Intro』というイベントを開催し、ニューモデルのラインナップを発表した。その反響は大きく、直後にドイツのミュンヘンで開幕したISPO(世界最大のスポーツ見本市)でも多くの来場者から熱い注目を集めた。

SALOMON
TIME TO PLAY

では『Sons of a Blast』のコンセプトのもと、新たに発表された来季モデルには、どんな特徴があるのだろうか。

開発がスタートしたのは2015年の秋のことだ。リーダーとして陣頭指揮に立ったのは、アルペン全5種目でワールドカップの優勝経験を持つギュンター・マーダー。引退後はサロモンチームのレーシング・ディレクターを務め、現在は開発部門の責任者として腕を振るう人物である。

「スキーの最大の楽しさは、スピードにある。この楽しさを最大限に追求するためのスキーとブーツを作ること。これがわれわれのミッションだった。そこで、スピードに乗ったカービングターンを、より少ないパワーとリスクで実現するスキー。そんな普遍的なテーマに真正面から挑んだのだ」と語る。また、

「スキーの原点に立ち返り、気持ちが熱くなるようなものを作ろうというのがスタートだった」と語るのは、ダヴィデ・シモンチェーリ。現役時代は世界有数の難コースとして知られるアルタ・バディアで圧倒的に強かったGSスペシャリストだ。

「タイム計測のデータだけでなく、自分たちの感覚を信じ、どんなスキーがもっともアドレナリンをかき立ててくれるかを大事にした」と彼は言葉に力をこめる。

もちろん、開発チームを構成したのはレーサーばかりではない。各国を代表するスキーのエキスパートが集められ、一般スキーヤーの視点に立った意見も数多く集約された。日本からは渡辺一樹が開発スタッフに加わり、主にプロトタイプのテスターという役割を担った。スタッフのなかのただひとりの日本人。体格的にももっとも小柄な渡辺は、あくまで日本人の視点からテストをし、そして意見を述べたという。

「欧米のスキーヤーも、全員が大柄でパワーがあるわけではない。われわれ平均的な日本人のようなスキーヤーが、Blast——疾風——のようにゲレンデを駆け抜けるためには、どんなスキーとブーツが必要なのか、僕は自分なりの立場からそのテーマを徹底的に突き詰めた」と渡辺。彼に限らず、各国のレーサーやエキスパートたちが、さまざまな立場と視点から惜しみなくアイディアを出し合った。

それらを集約し整理し、製品として具現化するなかで生まれたのが、たとえば〈エッジアンプリファイア〉と呼ばれる新しいテクノロジーである。これはエッジへのパワー伝達をより効率的に増幅するシステム。少ない力でスキーをたわませることができ、正確なカービングターンを可能にしてくれる。また、ブーツには軽量化しながら硬度を上げるという相反する要素を両立させた〈コアフレーム〉というテクノロジーが導入されている。プラスチックとカーボンを組み合わせた複合素材を用いることで15%の軽量化を実現させる一方で、硬度も40%アップ(S/MAXCARBON)

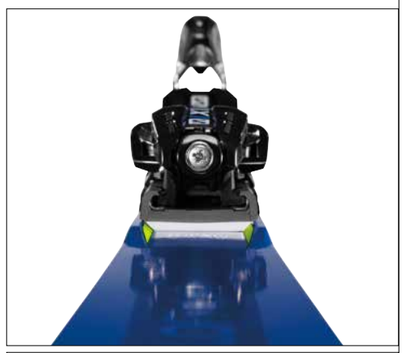
「驚くほど軽く、それでいて今までにないダイレクトな伝達力を持つスキーブーツ」(シモンチェーリ)が誕生したのだ。

こうした一連の意欲的な試みからは『Sons of a Blast』にかけるサロモンの強い意気込みがうかがわれる。前述の「Blast Intro」の席上、ギュンター・マーダーは

「Everybody can experience the "blast". (誰もが疾風になれる)」と言った。スキーが本来持っているワクワクするような感覚。より高次元のスピードと正確なカービングターンを、より小さな力とリスクで味わう楽しさを、サロモンのマテリアルを使うことで誰もが手に入れることができる。彼の言葉は、そんな力強い宣言と受け取っていいだろう。

EDGE AMPLIFIER エッジアンプリファイア

プレートの形状やスキーの両サイドを高くすることで、エッジへのパワー伝達をより効率的に増幅するシステム。力を効率的に伝えてスキーをたわませ正確なカービングターンを可能にする



Carbon Coreframe カーボンコアフレーム

ロワシェルの中にカーボンとプラスチックを組み合わせた複合素材をボックス状に配置することで、ブーツの大幅な軽量化としっかりとした剛性を両立させている

SKI & BOOTS REPORT

トップレーシングにも軽量モデルが登場! 2018/19Newマテリアルのキーワードは“軽さ”と“高性能”の融合

ISGプロスタッフによるスキーテストは、3月下旬、長野県・菅平高原スキー場で開催。3日間に渡るテストの期間中は快晴が続き、気温も高め。朝一番の硬いバーンから日中の軟らかく、重い雪まで、幅広いコンディションの中でテストを実施することができた。

今季のスキーテストのキーワードとして浮き上がってきたのは、「軽さと高性能」の融合。いくつかのブランドで、今までにないレベルの軽さのレーシングモデルが、スキー&ブーツで登場。軽い、イコール弱いという従来のイメージを一掃するような高いポテンシャルを発揮した。ハイスペックモデルが軽量になることで、乗り味やその特性に、いったいどんな変化がもたらされるのか？　その点に注目しながら各テスターのコメントを読んでもらいたい。革新的な軽さを持つモデルが登場する一方で、伝統的な重さを特徴とするモデルも健在。最終的には、乗り手の好みによる部分が大きいが、軽量モデルと重厚なモデル、それぞれの乗り味や特性の違いに注目してみると、今季のスキー&ブーツ選びはいっそう面白くなるだろう。

TESTER

江畑昌英プロ

身長・体重＝167cm・77kg
所属＝ICI石井スポーツカンダコンベカン
SIA公認木島平プロスキースクール校長、SIA理事

高橋伸嘉プロ

身長・体重＝168cm・60kg
所属＝ICI石井スポーツカンダコンベカン
シーズン中、各地でレーシングキャンプ「SHIFT」を開催。社会人、学生、ジュニアと幅広い層を対象に行なっています。オフシーズンは、海外キャンプ、プラスノー、インラインレーニングなどを企画運営

富井次郎プロ

身長・体重＝173cm・81kg
所属＝IBS石井スポーツ神戸三宮店
J-FAMILIA SKI CAMP代表。冬季は野沢温泉をベースにレーシングキャンプを開催。オフシーズンは大阪をベースにオフトレ、セミナーを開催

上野健志プロ

身長・体重＝170cm・70kg
所属＝ICI石井スポーツカンダコンベカン
夏は都内や野沢温泉を中心にインラインレーニングを企画運営。シーズン中は、12月の北海道から始まり、地元野沢温泉・北竜湖スキー場をベースに常設トレーニングを開催

立花稔久プロ

身長・体重＝172cm・65kg
所属＝ICI石井スポーツカンダコンベカン
基礎・競技を問わず、志賀高原を中心に国内外でスキーキャンプを実施。アルペンスキージュニアチーム「ファルコンレーシングチーム」代表

久保田知裕プロ

身長・体重＝185cm・83kg
所属＝ICI石井スポーツカンダコンベカン
サロモンプロモーションスタッフ、サロモン学生チームヘッドコーチ。年間を通じて社会人・学生チームの指導に携わり、技術選や岩岳学生大会の表彰台に多くの選手を輩出している

村松篤プロ

身長・体重＝166cm・58kg
所属＝ICI石井スポーツ新宿西口店
シーズン中は学生・社会人のチームのコーチングを行なう。東京都スキー連盟デモチームのコーチを務め、東京都技術選のジャッジも務める。夏場はインライン、プラスノーなどのレッスンを行なう

丸山英明プロ

身長・体重＝180cm・85kg
所属＝ICI石井スポーツカンダコンベカン
「Wzero-Snow」代表として新潟県かぐらスキー場を拠点にかぐらレーシングアカデミーを開校。Kids/Jr.の普及・育成に力を注ぎ、国内外で活動している

TESTER

松浦俊次プロ

身長・体重＝169cm・65kg
所属＝ICI石井スポーツ盛岡店
サロモンプロモーションスタッフおよび岩手県スキー連盟ユースコーチ。安比高原スキー場APPI.Jrスキーチームのコーチも務め、夏場は陸トレなどジュニア選手の育成をメインに幅広く活動

藤本剛士プロ

身長・体重＝175cm・72kg
所属＝ICI石井スポーツ新宿西口店
SIAデモンストレーター／サニープロSS所属。志賀高原をベースにレースから学生基礎、シニアまで幅広くコーチング。オフシーズンは月山キャンプ、プラスノー、インライン、水上スキーキャンプを主宰。line sports代表

可児 徹プロ

身長・体重＝167cm・64kg
所属＝ICI石井スポーツカンダコンベカン
SIAデモンストレーター／ISG Ski Academy SUGADAIRAの代表として、ジュニアからマスターズまで幅広く指導を行なう。レースのみでなく、基礎、テレマークまで、さまざまなジャンルのレッスンも実施

斉藤人之プロ

身長・体重＝172cm・72kg
所属＝ICI石井スポーツ宮の沢店
北海道代表選手として技術選に多数出場。社会人スキークラブコーチ、レッスンを中心に活動。北海道学生大会などの大会をジャッジ、運営。SAJ公認ICIスキーアカデミー校長も務める

吉田勝大プロ

身長・体重＝170cm・68kg
所属＝ICI石井スポーツ宮の沢店
SAJデモンストレーター／ジュニア基礎スキーチーム「TEAM J.Y.C」の代表を務めるかたわら、学生からシニアまで幅広く指導

大場朱莉プロ

身長・体重＝157cm・55kg
所属＝ICI石井スポーツ仙台泉店
今年の技術選で初の表彰台となる2位を記録。「大場朱莉レーシング」で東北を拠点にレーシングコーチとしての活動をしながら、技術選に出場。ママスキーヤーとして活動中

須川尚樹プロ

身長・体重＝168cm・64kg
所属＝ICI石井スポーツ宮の沢店
小中とジュニア技術選で活躍。高校・大学とアルペン競技に取り組みながら全日本スキー技術選手権大会にも出場。上位進出を果たした若手スキーヤー。全日本ナショナルデモンストレーター初認定

エクゼクティブアドバイザー

伊東秀人

身長・体重＝164cm・64kg
元アルペンナショナルチーム／フランス国家検定スキー教師。元全日本ナショナルデモンストレーター。蔵王温泉をベースにスキー活動&事業を行なう。オリジナルスクーリング「秀人塾」で技術指導イベントも開催。蔵王温泉スポーツ大使

ISGアスリートサポートスキーヤー

佐々木明

身長・体重＝182cm・88kg
FISワールドカップ男子回転、2003年ウェンゲン大会2位、2006年シュラドミング大会2位、同年志賀高原大会2位。2014年ソチ大会を含み、オリンピック出場4回

井山敬介

身長・体重＝168cm・70kg
全日本ナショナルデモンストレーター（認定7期）。ばんけいスキー学校所属。2000年から全日本スキー技術選に出場し、07年、08年と連覇を果たす。今年ルスツで行なわれた第55回大会では総合3位に輝いている

武田 竜

身長・体重＝169cm・72kg
FISワールドカップ出場を果たすなどレーサーとして活躍後、アルペンレースの指導者として選手育成にあたる。同時に全日本スキー技術選に出場し、第55回大会では自己最高位タイの4位をマーク。全日本ナショナルデモンストレーター初認定

佐藤栄一

身長・体重＝168cm・70kg
日本のトップランカーとしてレースで活躍した後、2008年から全日本スキー技術選手権に出場。2015年第52回大会で総合6位となったのをきっかけに上位に定着。初優勝の栄冠をめざして奮闘中。国体への挑戦も続け、複数回の優勝を記録している。妙高リージョンスキークラブ所属

GUEST TESTER

宮下 透

身長・体重＝173cm・77kg
元全日本ナショナルデモンストレーター。長野県菅平高原でまるみ山荘を経営、学生、社会人レーサーのコーチングのかたわら、国体の予選に出場し続けている。プライステスト、資格検定などの基礎スキーヤーにもやさしい

富井剛志

身長・体重＝174cm・80kg
所属＝ICI石井スポーツ長野店／オリンピック出場2回

佐々木菜津美

身長・体重＝160cm・52kg
所属＝ICI石井スポーツ盛岡店

君島 瑠

身長・体重＝171cm・63kg
所属＝ICI石井スポーツ神田本館

橋山一樹

身長・体重＝173cm・80kg
所属＝ICI石井スポーツ仙台泉店

久保美海

身長・体重＝171cm・72kg
所属＝ICI石井スポーツ甲府店

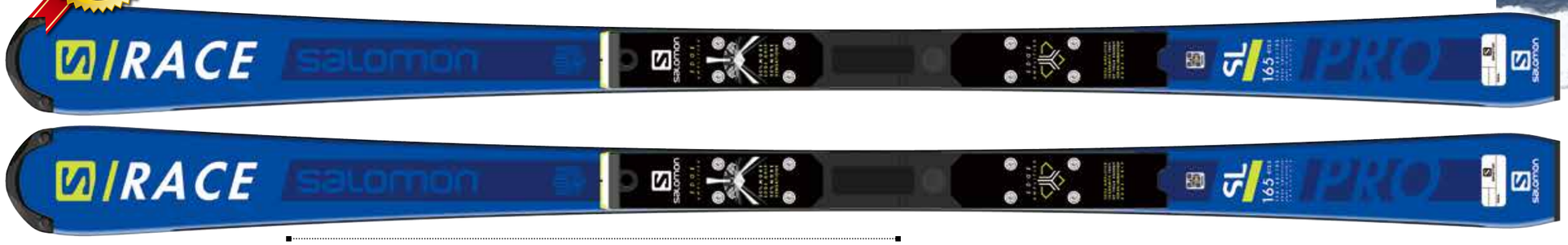
永坂綾香

身長・体重＝161cm・52kg
所属＝ICI石井スポーツ宮の沢店

SALOMON

SAJ30承認第00000号

S/RACE PRO 足元の強いグリップ力と回転性、操作性を融合させたSLモデル



●昨年のモデルからネーム、デザイン、プレートなど、すべてを一新した今季のサロモン。スキーを履いたときはプレート周りに重厚感を感じるため、しっかりとスキーに乗り込んでいかなければいけない印象があるが、滑走してみると、その足元の重厚感が足元周りの安定感に変わり、高い支点からスキーに圧をかけていくことができる。また足元の強さに対して、トップとテールが適度にねじれてくれるので、ターン前半の始動と後半の抜けに違和感がまったく感じられない。操作性、回転性、安定性とみごとに三拍子そろった今季いち押しの一台になることはまちがいないだろう(君島)

●デザインも非常にシンプルになり、今季、性能と共に注目の一台。プレートの仕様が変更されており、グリップ感の良さに加え、スキーの抜けが従来モデルより良く、速いという印象を受けた。持ったときや履いたときに重さは感じるが、滑走時の操作性はまったく気にならず、その重さが足元の良い安定感につながりアタックすることができる。ややシビアな部分を持ち合わせたスキーから自在なスキーにチェンジ!! 乗り手の思いに応えてくれるだろう(丸山)

●デザイン、プレートの変更など、2年ぶりのフルモデルチェンジを受けて登場した今シーズン一番注目のスキー。使用選手もワールドカップの表彰台に登り始めているので、これからが楽しみである。サンドイッチ構造の安定感、走りはそのままで、しなやかさが加わり回転力も増した。バインディングポジションを変えることができるので、まずはフロントポジション(前より)から始め、曲がりすぎるようだったら後ろに下げて調整することをお勧めする。また、バインディングも〈X-16〉と〈X-19〉では、スキーのグリップ力が変わってくるので、お店の人に聞いてもらいたい(宮下)

X19 ¥179,000+税
X16 ¥163,000+税
X12 ¥158,000+税

動画もCheck!

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
157	12.7	115-65-100
165	12.5	118-65-102

165cm = 3,670g(1/2セット)

グリップ力	普通				高
安定感	普通				高
操作性	普通				高
回転性	普通				高
おすすめ度	★	★	★	★	

Top Skier's Voice

佐藤栄一

サロモンスキー&ブーツで軽さと高性能を楽しんでください

今季のサロモンスキーでお薦めしたいのは〈S/RACE RUSH〉です。技術選では〈S/RACE PRO〉を使いましたが、小まわり系スキーのフリーがなければ、技術選でも使えるぐらい戦闘力が高く、なおかつリスクの少ないスキーに仕上がっています。スキーのトップが大きいので「まわってくれる」という安心感がありますし、新搭載の〈エッジアンプリファイア〉の効果でターン中の圧をしっかりとらえ、増幅させてスキーの反応を良くしてくれる感覚があります。同じくフルモデルチェンジした〈S/MAX〉や〈S/RACE〉ブーツと合わせて、軽さと高性能の融合を楽しんでください

S/RACE GS FIS 新システム搭載 注目度No.1のGSモデル

●フルモデルチェンジをした数少ないブランド。近年、振動吸収のパーツなどを取り付けるのではなく、あくまでエコにこだわり、シンプルなのにスキーの性能を向上させるという形でサロモンは革新的なモデルチェンジをした。特にプレート下部の黄色の部分がスキー両サイドのエッジ部分だけ厚みがあり、それによってターン時のエッジへの力の伝達が30%向上し、より無駄な方向への力の逃げが減少するということだ。実際に足元の安定感は抜群であり、相乗効果でより曲がりやすくなっている。サロモンファンには待望のNEWモデルだろう(富井)

●フルモデルチェンジした今年もっとも注目の一台。大幅リニューアルによりエッジグリップ感が増し、ハイスピードの中でもスキーの無駄な挙動がまったくなかった。特に自分が感じたフィーリングとして、ターンマキシマムで足元が張りつく感じが好印象。ターン後半から切りかえにかけては、スキーの反力が推進力となりターンスピードが増していくので、素直に『速い』スキーだと思った。それと構造の変化による効果なのか安定してセンターにポジショニングしやすく、変に前後に崩れることが少ないので、コンディションがタフになるほど力を発揮するスキーだろう(上野)

●今年フルモデルチェンジしたサロモンの新システム、〈エッジアンプリファイア〉はパワー伝達を増幅させ、足元のグリップ力、走りにつながっている。昨年のモデルよりもトップのとらえは少しルーズに感じるかもしれないが、そのぶん操作がしやすく、フォールラインに絡む早い位置からターン後半までしっかりを雪面をとらえ圧を感じることができる。どんな動きをしても足元の〈エッジアンプリファイア〉が安定したターンをサポートしてくれるだろう。今季のレーシングスキーの中で注目度No.1!(久保)

X19 ¥179,000+税
X16 ¥163,000+税
X12 ¥158,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
183	30	SECRET
188	30	SECRET
193	30	SECRET

188cm = 3,805g(1/2セット)

グリップ力	普通				高
安定感	普通				高
操作性	普通				高
回転性	普通				高
おすすめ度	★	★	★	★	

S/RACE GS あらゆる速度域で操作性の良さを発揮する マスターズGSモデル

●サロモンらしい軽快で回転力の高いスキー操作感は残しつつ、新しいプレートの効果で足元の安定感とパワー伝達力が向上している。最初は「軽いスキー」と感じるかもしれないが、ターンが連続してスピードが上がっていくと足場の安定感がどんどん強くなる。トップスピードに入る前の操作感の良さと、トップスピードに入ってからの安定感。あらゆるスピードで操作性の良さを感じることができた。スキーのトップから強烈に雪面をとらえていくようなグリップ感は感じられないが、足元に近い部分のグリップ力と安定感のため安心してスキーに力を伝えることができる。運動の強弱が素直にスキーに伝わるので乗り手主体のターンコントロールができる。レギュレーションにこだわらないレーサーには最高のスキーだと思う(可児)

●スキーの形状や内部構造の変更、なめらかなサイドウォールの採用など、新しいテクノロジーを開発した。一番のトピックスである〈エッジアンプリファイア〉によりエッジグリップが増幅し、昨年モデルと比較すると滑走中に容易に感じられた。サロモンらしいトータルバランスにとくに優れているモデルで、レベルアップ、タイムアップも望めるだろう、カテゴリーとしては、マスターズ男性や基礎大まわり用として体感していただきたい。(松浦)

●フルモデルチェンジのスキーですが、昨年同様にサロモンらしい重厚感のあるマスターズモデル。〈エッジアンプリファイア〉の効果で強いグリップ力を発揮し、スキーを押せば押しただけ反応してくれた! 重厚感があるので、高速時や荒れたバーンでも足元をしっかりとらえてくれ安心して滑れる。ただし、体重の軽い方や非力なスキーヤーがマスターズモデルとして使うには、スキーの張りが少し強く感じられるだろう(高橋)

X19 ¥174,000+税
X16 ¥158,000+税
X12 ¥153,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
176	21	107-67-90
183	24	105-67-89
190	27	104-68-89

183cm = 3,820g(1/2セット)

グリップ力	普通				高
安定感	普通				高
操作性	普通				高
回転性	普通				高
おすすめ度	★	★	★	★	

SALOMON

S/RACE RUSH SL + X12TL

切れと走り、ズレ、コントロールを融合できる理想のショート系モデル

●フルモデルチェンジとなる今季、デモモデルの中ではずば抜けたスキーの走りが特徴だ。ターン前半に次のターン方向へと鋭くとらえた後は、ターン中の安定したたわみへとつながり、次のターンへ瞬く間に連れていってくれる。テール側にもたつきを感じることがなく操作性も高い。鋭いターンを連続させるには少々パワーが必要となるが、成功したときのスキーの抜けが快感であるため、乗り応えのある一台となっている。レースへの憧れを抱いているスキーヤーや、より速さを追求するスキーヤーにお薦め！　雪面に映えるブルーが間違いなくスキーヤーの視線を釘づけにするだろう（大場）

●今期注目のショートターンモデル。トップレベルのターンに最適なバランスを備えたニュータイプ。整地はもちろん、難しいコディションでも正確なステアリングがやさしく快適性を導き出す乗り味が魅力です。たわみのセンターに確実にポジションをとらせてくれて、やさしく操作できることを土台に、高い剛性で効率良くパワー伝達しながら、適度に雪面抵抗を整えて足場のフィーリングを作り出し、速さの中にスムーズ感を引き立てます。ターン後半の極端な切り込みがなく、ターン弧の仕上げと切りかえ、次のターン前半の確実なアプローチへと安心感ある乗り味で導いてくれます。ニュープレートで自在性を高め、フレックスとトーションのバランスはソフトなイメージを与えてくれます。ズレと切れの狭間での雪面タッチで自在に滑れる操作感が楽しいです。スピードある円いターン弧を高い次元で実現できます。これまで以上にスキーの切れと走り、ズレ、コントロールを融合させた滑りを実現できる理想のスキーと言えます（斉藤）

X12TL
¥130,000+税

動画も Check!

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
155	11	122-68-105
160	12	121-68-105
165	13	121-68-104

165cm＝3,300g（1/2セット）

ターンサイズ	小	■				大
スピードレンジ	低			■		速
安定感	普通			■	■	高
操作性	普通			■	■	高
おすすめ度	★	★	★	★	★	

S/RACE RUSH SL P80 + X12

足元の強いグリップ力が特徴。たわみを生かして抜群の走りを生む

●フルモデルチェンジのサロモンスキーの中で中核を担うこのモデルは、プレート違いで、違う性能となっている。この〈P80〉プレートが付いたモデルは、どっしりと雪面を常にとらえられるようなフィーリングで、安定感が最初の印象となる。その中でもスキーの軟らかいフレックスが生き、雪面の状況に合わせたターンの大きさを、スキーヤー主体でコントロールできるようになっている。つまり、スキーヤーの意思とは別にターン内側に入っていってしまうような性能ではなく、スキーヤーの運動がスキーのコントロールと直結しているフィーリングがある。簡単には乗りこなせないが、1級以上のスキーヤーなら、コブでもミドルターンでも使いこなせる一台になるだろう（伊東）

●今季フルモデルチェンジをしたサロモンの注目モデル！　新開発されたサイドウォール上部の〈エッジアンプリファイア〉構造により、エッジのホールド感、雪面への張り付き感が非常に高いモデルとなっている。どんな動きをしてもスキーがしっかり支えてくれるような感覚で、ターン中に踏み外すなどのミスがほとんどない。また、足元のグリップ力が高いからこそ、しっかりとしたスキーのたわみを作ることも可能になり、抜群の走りを引き出すことができる。このオートマチックスキーをぜひ体感していただきたい（須川）

X12
¥145,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
155	11	122-68-105
160	12	121-68-105
165	13	121-68-104

165cm＝3,570g（1/2セット）

ターンサイズ	小	■				大
スピードレンジ	低			■	■	速
安定感	普通			■	■	高
操作性	普通			■		高
おすすめ度	★	★	★	★		

動画も Check!

S/MAX12+Z12 WALK

斜面や雪質を問わず1日中スキーを楽しみたい中上級者に！

●ターンサイズはやや大きめを得意とする印象だったが、ショートターンからロングターンまでそつなくこなしてくれるオールラウンドスキーだった。新構造の〈エッジアンプリファイア〉の効果なのか、足元が強くなった感じを受けた。そのため、やや重めで安定感のあるスキーといった印象である。大き目のターンサイズを得意とする印象もそのせいかもしれない。ただし、スキーのフレックスはしなやかなので、むずかしさはまったくなく、操作性もごくごくしやすかった。落ち着いたデザインと相まってロングクルージングを楽しむ方などには最適な一台である！（大越）

●昨年好評の〈X-MAX X12〉がフルモデルチェンジ！　プレート下部に配した〈エッジアンプリファイア〉によりエッジグリップ力を増幅させ、悪雪の中でも足元の安定感があり、高い操作性を持つという印象を受けた。また新型の〈フルフレックスプレート〉により昨年モデルに比べて足元が近く、たわみのスウィートスポットが広くなり、ターゲットスキーヤーの幅が大きく広がったように感じた。斜面、雪質を問わずにゲレンデをクルージングしたい中上級スキーヤーを1日飽きさせることなく楽しませてくれる一台になっている（橋山）

●スキーヤーの力がエッジに集中して伝わる〈エッジアンプリファイア〉が、ターンの初動から次のターンまでをオートマチックに仕上げてくれる。センター幅がやや広めなので雪質への対応力があり、軟らかい雪から春のザラメまで、安定したターンを可能にしている。スキー全体のねじれ強度やフレックスのバランスも絶妙で、切りかえで雪面とスキーがフラットになる場面で、自然とスキーの中心に身体が戻ってくる感覚が好印象。1級以上の上級者から、これから1級を受検する方まで、幅広いスキーヤーにお薦めです（藤沢）

Z12 WALK
¥125,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
160	13	121-72-106
165	15	121-72-106
170	15	121-72-106
175	17	121-72-106

165cm＝2,940g（1/2セット）

ターンサイズ	小		■	■		大
スピードレンジ	低		■			速
安定感	普通		■			高
操作性	普通					高
おすすめ度	★	★	★	★		

S/MAX BLAST + X12TL

自由度の高い滑りを可能にするロングクルージングに向く一台

●グリップ力が抜群の一台。一見レース対応のスキーに感じるが、荷重に対して少ない反動でスキーが返ってくるので、意外に無理なく滑れるタイプ。直進方向への力の働き具合が実際に滑っていても顕著に感じられ、スピード性が抜群なのは確か。張りもありターン始動からの推進力がなめらかで途切れのないターンを生み出している。トップからとらえやすく、ターンの一連の動きの中でテールが引っかかる感覚がまったくなく、滑っていて心地よい（永坂）

●センター幅72mmで全体的に幅が広く、さまざまな雪質に対応してくれそうな印象を受けた。今回のテストは春雪だったが、スピードを出しても安心してターンを連続していける。幅広のわりにねじれ剛性も強く、トップのグリップ感が適度で良い。反応も過剰すぎず、自由度の高い滑走を可能にしてくれる。雪質、ターン弧を選ばずにロングクルージングを楽しみたい方にお薦め（藤本）

X12TL
¥140,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
160	13	121-72-106
165	15	121-72-106
170	15	121-72-106

165cm＝3,395g（1/2セット）

ターンサイズ	小		■	■		大
スピードレンジ	低		■	■	■	速
安定感	普通		■	■		高
操作性	普通		■			高
おすすめ度	★	★	★			

SALOMON

先進のサロモンブルー。
シェルにカーボンを組み込みインサイド、アウトサイドを補強。
剛性、弾性が強力パワーアップ

S/MAX 130 RACE

¥88,000+税
サイズ:25/25.5~28/28.5cm(1cm刻み)
ラスト:96/102mm
フレックス:130
*カスタムシェル
*カーボンコアフレーム採用

最軽量エキスパートブーツ。
軽くてしっかり
次世代エキスパートブーツ

S/MAX 130 CARBON

¥88,000+税
サイズ:24/24.5~28/28.5cm(1cm刻み)
ラスト:98/104mm
フレックス:130
*カスタムシェル
*カーボンコアフレーム採用

S/RACE 130

¥105、000+税
サイズ:24.5~28.5cm(1cm刻み)
ラスト:92mm
フレックス:130

S/RACE 110

¥90,000+税
サイズ:24.5~26.5cm(1cm刻み)
ラスト:92mm
フレックス:110

S/MAX 130

¥86,000+税
サイズ:24/24.5~28/28.5cm
ラスト:98/104mm
フレックス:130
*カスタムシェル

S/MAX 120

¥81,000+税
サイズ:24/24.5~28/28.5cm
ラスト:98/104mm
フレックス:120
*カスタムシェル

軽さと俊敏な操作性
高いパワー伝達性を持つ一足。
マスターズレーサーにもマッチ

大越　今季、サロモンブーツは大きくモデルチェンジをして、トップモデルの〈S/RACE〉シリーズを、トップレーサーを満足させるのに十分な性能を持たせながらも、非常に軽いモデルにしてきました。この対談のテーマとなる〈S/MAX〉シリーズも、その流れを汲んだモデルですが、シーズン中から使ってきた皆さんの率直な感想から聞かせてください。まず、第一印象として、どんなことを感じましたか。

久保田　シーズン中から〈S/MAX 130 RACE〉を履いていますが、最初に履いてまず思ったのは、むちゃくちゃ軽いこと。前の〈X MAX〉も軽かったけれど、さらに軽いことに驚きました。

松浦　久保田さんが言うように、一番に感じられるのは軽さです。私が履いた〈S/MAX 130 CARBON〉が青いモデルの中では一番軽いこともあり、軽さに驚きました。

大越　軽いと弱いんじゃないかという不安を抱く人もいると思いますが、その点はどうですか?

久保田　その心配はいりませんね。最初に手にしたときは本当に大丈夫か?　と思ったのですが、今までの軽量ブーツとは比べものにならないぐらいしっかりしています。そこがすごく良いところで、〈S/MAX〉ブーツは、今までの〈LAB〉に近いというか、〈X MAX〉と〈LAB〉の間に位置する感じで、だいぶトップモデルに近づいてきたという印象も受けました。

可児　〈S/MAX 120〉を履いたのですが、たしかにとても軽かったですね。そして滑ったフィーリングとしては、動きやすいブーツなのかなという気がしました。

久保田　ブーツの重さを感じないで動けるので、本当にストレスなく脚を動かせるという感覚はあります。俊敏、軽快、敏感という言葉がぴったりで、スキーを振ったり、速く動かす操作がとてもしやすい。その反面、硬い斜面でカービングターンをしていっても、しっかりしているから安心して滑っていけますね。

大越　アッパーシェルの内側に〈センスアンプリファイア〉が搭載されていて、黄色い部分の素材が軟らかくなっていますが、その効果は感じましたか?

久保田　感じますね。ハイシーズンに履いていると、このブーツのシェルはかなり硬いんです。ターンをしていくとき、スネはターン内側に向けて動かしていくのですが、たんに硬いブーツだと、その動きを妨げられてしまいます。でも、〈S/MAX〉ブーツの場合、そこに素材の軟らかい〈センスアンプリファイア〉が搭載されているので、その動きがしやすい。それがこのブーツが持つ動きやすさにつながっているという面はあるかもしれません。

松浦　このブーツは比較的、アッパーシェルの前側が高いのですが、〈センスアンプリファイア〉があるから、スキーヤーは動きやすい。それは多くのスキーヤーの皆さんに十分に感じてもらえると思います。

久保田　〈センスアンプリファイア〉があるから、アッパーシェルが高めに設計されている可能性は高いですね。

可児　だから、パワーベルトも細めになっている。

久保田　そう、トータルのバランスで考えられていると思います。

大越　たとえば〈S/MAX 130 RACE〉の場合も、〈センスアンプリファイア〉があるから、130フレックスという剛性はありながらも、すごく動きやすいブーツにしあがっているということはあるかもしれませんね。

久保田　そうですね。〈S/MAX〉ブーツの場合、アッパーシェルはフレキシブルに動くのに、ロワシェルのパワー伝達性はとても高いということが、ひとつの特徴だと思います。これは〈S/MAX 130 RACE〉や〈CARBON〉のロワシェルに採用されている〈カーボン・コアフレーム〉の効果がすごく高く出ているところだと思います。

可児　今まで、ソールが硬いとか、後ろが硬いというブーツはあったけれど、〈カーボン・コアフレーム〉ではソールからサイドにかけてカーボン素材が立ち上がっているから、ロアシェルの底面が全体的に強くて横の支えがしっかり効く。

久保田　カーボンがボックス状になっているから強度が出る。しかも、ただ硬いだけじゃなくて、一足のブーツの中で硬い部分と軟らかい部分、そして中間の部分と、全体的なバランスがとてもうまく取れていると思います。

大越　〈カーボン・コアフレーム〉の部分も含めて熱成形ができることも、〈S/MAX〉ブーツの特徴ですね。しかも、熱成形にかかる時間が短くなって、トータル10分ぐらいでカスタマイズできる。その手軽さも魅力ですね。レーシングモデルとして〈S/RACE〉シリーズがあるのですが、この〈S/MAX〉ブーツはレーシングに使えると思いますか?

松浦　マスターズの方には良いかもしれないですね。モデルチェンジしたインパクトもありますし。

大越　速く滑るための性能に加えて、快適性もブーツを選ぶときの条件に入る方達ですね。

松浦　そうですね。ただ、マスターズレーサーも幅が広くて、いくつになっても〈LAB〉を履いている方もいるので、そのへんは好みや体格などに合わせてですね。

久保田　〈S/MAX〉ブーツは、確実に今までよりも〈LAB〉ブーツに近づいていると思います。でも、求めているものの差は確実にあるから、滑り手の技術レベルや体格などに合わせて選ぶことが大切です。そのためにお店のスタッフやコーチとよく相談してもらいたいと思います。

可児　ブーツを選ぶときに気をつけてもらいたいのは、スキーとブーツのバランスです。やはり〈LAB〉のスキーに対して〈LAB〉のブーツはバランスが良い。それと同様に〈S/MAX〉ブーツの場合もフレックスに応じてマッチングの良いスキーがある。その点を考えながら選ぶことが、ブーツ選びではとても大切だと思います。

ATOMIC

REDSTER S9i　軽さとしなやかさ、鋭い走りを兼ね備えたデモモデル

動画もCheck!

X14TL RS　¥142,000+税
X12TL R　¥139,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
155	11.5	115-68-101
160	12.1	116.5-68-102.5
165	12.7	118-68-104
170	13.3	119.5-68-105.5

165cm＝2.955g(1/2セット)

ターンサイズ	小				大
スピードレンジ	低				速
安定感	普通				高
操作性	普通				高
おすすめ度	★	★	★	★	

●アトミック〈i〉シリーズがマイナーチェンジ。サイドウォールの素材が変更になり、去年のスキーと比べ、ターン中のエッジのとらえがしっかりした印象があった。手に持つとそれほど重くないが、滑り出すと重厚感もあり、安定感バツグン。テスト時は気温も高く、雪も緩み、ザクザクというコンディションだったが、バタつきはいっさい感じず、非常にスムーズなターンを描くことができた。サイズレンジも155～170cmまで5cm刻みと豊富。スキーヤーの志向、レベルに合わせてチョイスしたい。中級者から上級者にお薦めの、アトミック〈i〉シリーズいち押しの一台(佐々木)

●昨シーズン、フルモデルチェンジし大好評だったスキーの進化版。軽さはもちろん、今季はサイドウォールの密度を高くすることで硬度が上がり、エッジグリップが格段に上がった。芯材は、ブナ、ポプラに加えカルバを使用しているので、軽量さとしなやかさを併せ持っている。〈サーボテック〉の効果によってスキー全体がしなやかにたわみ、締まったバーンでも、緩んだバーンでも安定した弧を描くことができるので、上級者やエキスパートにも安心して乗ってもらうことができる一台に仕上がっている。スキーの切れを楽しみたいスキーヤーはエッジを鋭角に仕上げるのがオススメ!(橋山)

●昨シーズンから登場した〈S9i〉は瞬く間にスキーファンの心を鷲づかみにした。今季はさらなる進化を遂げ、サイドウォールにしっかりした素材を使用している。それにより高速時の安定性が向上し、これまで以上にたわみの反発を利用しやすくなった。縦に抜けるスピードが速く、レース用と比べても引けを取らない走りが魅力的で、ゲレンデで誰よりも速く、そして格好良い滑りをめざしているスキーヤーに試してもらいたい。ターンスピードが速いことでよりターンマックスでの内傾角が取りやすく、傾きが取れるようになるとスキーのグリップ感を得やすい。このグリップ感がハイスピード時の安定性を作り出している。良い循環の中でターンを展開していくことができるので、スキーが楽しくなること間違いなし(吉田)

REDSTER S9i PRO　アグレッシブなターンを実現するSLベースのデモモデルの最上位機種

X16VAR　¥157,000+税
X12VAR　¥152,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
157	12.7	114.5-66.3-99.5
165	12.5	117.5-65.5-101.5

165cm＝3,600g(1/2セット)

ターンサイズ	小				大
スピードレンジ	低				速
安定感	普通				高
操作性	普通				高
おすすめ度	★	★	★	★	

●SLモデルをベースとしたデモモデルの最上位機種。サイドウォールが強化されたことにより、昨年以上にパワフルかつ軽快で、安定感が増し、スピード好きには文句なしのモデルとなった。センターからトップまでのグリップ感が良く、ターン前半の確実なとらえがターン中の安定を生み、無理のないスキーの走りへとつながるため、素早く次のターンへと導いてくれる。さらにピンポイントでの荷重ができれば、ターン後半には抜群の切れと走りを堪能できるだろう。力を加えたぶんだけスキーが確実に反応してくれるので、自分主導でスキーを扱いたい方にはもってこいのスキーである(大場)

●ターン前半からスキーが適度にたわみ、そのたわみがスキーセンター付近で感じられるためポジションをセンターにキープしやすい。ターン前半は円く、中盤から後半は鋭いターン弧を描く。〈サーボテック〉の効果がはっきりとわかるのが、このポイントだと思う。たわみから生まれる推進力とリズムメイクは、ターンサイズの調整を容易にしてくれる。サイドウォールが硬い素材にリニューアルされ、倒し込んだときの安定感が深い内傾角を生み出してくれる(藤本)

●高い剛性と新素材となる〈カルバウッドコア〉により、今までにはない軽さと高い振動吸収性を実現。スピードある深いターンを追求したモデル。SLモデルをよりやさしくコントロールできるソフトなフィーリングに加え、〈サーボテック〉の効果により、たわみのきっかけを早めることと、たわみを引き出すと同時にカウンターフレックスを抑えることが可能となり、安定したグリップを実現。ターンの円みにスムーズさを加えています。また、さまざまなコンディションで鋭く、深く、速くを可能にするため、サイドウォールの強度を変更しグリップ力を上げています。ショートターンをベースに自らの仕掛けに素直に応えてくれる印象が強いです。ハイスピードでもゆとりのあるスキー操作と、しっかりとたわみに結びつけるバランスが素晴らしい。余計なリバウンドが少なく、抜けの良いターンで積極的に円いターン弧を連続させてくれます。攻撃的なアグレッシブなターンを実現します(斉藤)

REDSTER S8i　脱・中級をめざすスキーヤーに最適な軽量、かつ好バランスなスキー

X12TL R
¥117,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
155	11.5	115-68-101
160	12.1	116.5-68-102.5
165	12.7	118-68-104

165cm＝2,960g(1/2セット)

ターンサイズ	小				大
スピードレンジ	低				速
安定感	普通				高
操作性	普通				高
おすすめ度	★	★	★	★	

●昨年から大変好評のこのスキーだが、やはりバランスの取れた「ちょうど良いスキー」であった。安定感と操作性のバランスが抜群で、軽すぎず切れ味も鋭い。スキー全体がしっかりとたわんでくれるのがわかるので、オートマチックというよりはセミオートマ的な「操作している感」が心地よかった。雪質やバーンコンディションを選ばずオールマイティーに楽しめるスキーであることは間違いないでしょう(大越)

●〈レッドスターi〉シリーズで一番バランスの良さを感じた一台。昨年同様に切ることも、ずらすことも自由自在にできることにプラスして、サイドウォールの密度を高くし硬度を上げることで、グリップとレスポンスを向上させている。〈サーボテック〉によってターン前半部からしっかりとスキーのたわみを感じることができるのも大きな魅力だ。サイズレンジの幅も広いので男女を問わず、脱・中級者をめざすスキーヤーの強い味方になってくれるのではないだろうか(橋山)

●昨年からの変更点はサイドウォールの素材変更のみ。しかし、このちょっとした素材変更だけで、乗り味は昨年の〈S8i〉とは別物です。軽量ウッドコアによる軽快さはそのままに、スキー全体のグリップ力、レスポンス、ターンの切れ、走りが格段にアップしています。小まわりから中まわりまで自由自在なスキー操作が可能で、2級、1級をめざす中級スキーヤー、昨年から年齢制限のなくなったプライズ検定をめざすジュニアや上級スキーヤーまで、幅広いレベルに対応できる一台です(久保)

REDSTER X9　大まわりを中心に幅広く使える滑り手のレベルアップに最適な一台

X12TL
¥139,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
169	14.6	113-65.5-98.5
175	15.4	114-65.5-99.5
181	16.2	115-65.5-100.5

169cm＝3,335g(1/2セット)

ターンサイズ	小				大
スピードレンジ	低				速
安定感	普通				高
操作性	普通				高
おすすめ度	★	★	★	★	

●ミドルからロングターンに適したスキーをベースとしたオールラウンドモデル。サイズのチョイスしだいで大まわりのエントリーモデルとして、大まわり専用として、一台で何でもこなすオールラウンド用としてと、さまざまなスキーヤーの要望に対応できるモデル。今季新しく採用されているサイドウォールによりエッジグリップがとても向上していて、それが安定感へもつながっているように感じられる(久保田)

●スキーのタイプとして、大まわり系の種目やロングクルージングに向いている。トップスピードでの安定感もあり、雪面に張り付きながらしっかりと深い回転弧も刻んでくれる。重厚感を残しつつスキーのたわみも感じられる。17/18シーズンにフルモデルチェンジを行ない、一般ユーザーの支持が増えたのもわかる一台。重厚と表現すると「むずかしい、鈍感」というイメージを持つ方も少なくないと思うが、このスキーは重厚の中に軽快さという相反する要素を持ち合わせているスキーではないだろうか。また程よいグリップ力、安定感はレース入門にも良いのではなかろうか。回転性も優れており、日本特有な軟雪にも対応力が高く、軸で滑るという表現力も得られ、滑り手のレベルアップに最適な一台(村松)

REDSTER G9i　抜群の安定感と推進力を兼ね備えた競技志向の大まわり系モデル

X14TL RS　¥142,000+税
X12TL R　¥139,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
165	16.8	108-68-94.5
171	17.6	109-68-95.5
177	18.4	110-68-96.5
183	19.4	111-68-97.5

171cm＝3,025g(1/2セット)

ターンサイズ	小				大
スピードレンジ	低				速
安定感	普通				高
操作性	普通				高
おすすめ度	★	★	★	★	

●競技志向のロング系スキー。スキーの長さを感じさせないほど、回転力が非常に優れている。現在のアトミックスキーの代名詞とも言える〈サーボテック〉搭載により、抜群の安定感とスピードを生み出す推進力を兼ね備えた良いとこ取りの一台だ。少しの荷重をかけるだけで簡単にスキーのたわみを引き出すことができ、なめらかでスムーズなターンが実現する。おそらく苦手と感じる方はほとんどいないだろう。トップの角づけのしやすさから、テールにかけてのスキーの抜けが非常にスムーズなところも魅力的(永坂)

●171cm、R17mのロングターンベースのスキーだが、非常に乗り心地がマイルドな印象を受けた。マイルドなのにバイブレーションが少なく、加圧すればじっくりとまわってきてくれるので、スピード域が高い状態になくてもしっかりと反応してくれる。これは〈サーボテック〉の効果によるものだと思う。165～183cmまで4サイズラインナップされているので、基礎の大まわりはもちろん、ジュニアレーサーからマスターズレーサーまで幅広い層のスキーヤーにお薦めできる(藤本)

ATOMIC

REDSTER G9 FIS M&W
前半のとらえの良さと後半の走りが光る“速い”GSモデル

●相変わらずポテンシャルが高く、滑走時の安定性が抜群だ。ターン前半からスキーのトップが少ない力で動き、早い段階からトップがたわんで滑走ラインを上げてくれるから、安心してゲートに侵入できる。しかも、外力が強くなってきてもスキーのばたつきが少ないからポジションもぐらつきにくく、まるで雪面に足がくっついてるのではないかと思うほど、スキーが雪面から離れない感覚が伝わってくる。ハードバーンはもちろん、どんな状況でも対応できるスキーだと思う(富井)
●ワールドカップのスーパースター、マルセル・ヒルシャーに代表されるアトミックレーサーの活躍を支えているモデル。ターン前半のとらえが抜群で、トップからテールまでしなやかに雪面をとらえることができるので、ハイスピードの中でも抜群の安定感を誇る。〈サーボテック〉の効果によりターンを自在にコントロールできる高い汎用性を持ち、ターン後半から切りかえでの走りがターンスピードを加速させる。間違いなく「速い」スキーだと感じた。ディスタンスプレートは、装着することで支点が上がりエッジグリップが良くなるだけではなく、可動域も多く取れるので必須アイテムだろう(上野)
●〈サーボテック〉の効果であるトップのとらえ、ターン中の安定感やグリップ力、ターン後半から切りかえにかけての推進力を感じることができた。特にターン中盤から後半にかけてしっかりたわませることが、切りかえ時の走り、加速につながっていく。ライン取りに注意して、ターン前半からスキーに加圧し、たわませることを意識すると、比較的安定して滑ることができるだろう。パワーのあるスキーヤーにお薦めの一台(久保)

X19MOD
¥180,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
183	30	100-65-80.5
188	30	100.5-65-82
193	30	101.5-65-83.5

188cm = 3,745g(1/2セット)

グリップ力	普通				高
安定感	普通				高
操作性	普通				高
回転性	普通				高
おすすめ度	★	★	★	★	

REDSTER G9 RS
よくたわみ、よくまわり、よく走る。ターンスピードの速い一台

●はっきりとした雪面のとらえとシャープなエッジグリップで、ターンスピードが非常に速く感じられた。〈サーボテック〉の効果でターン中に集めた圧が、ターン終了から切りかえにかけて推進力に変わり、クイックでスムーズに次のターンへと力を伝えることができる。「オートマチックに」と言えるくらいにターン後半から前半への移行をスムーズに行なうことができる。コースコンディションにあまり左右されず、安定したスキーコントロールが可能なスキーだと感じた(可児)
●昨年登場して爆発的な人気を博したユース/マスターズモデル。フリーでもゲートでも少ない力で効率良く切れのあるターンを導いてくれる<サーボテック>など、今季もアトミックにしかできないオリジナルの性能を引き継いでいる。使用するスキーの長さや、3種類ある金具のチョイスにより乗り味が変わることも、このモデルの特性のひとつ。このように幅広く活用できる性能は、各年代のレーサーのレベルアップにつながり、大きな武器になること間違いなし(松浦)
●トップからテールまでスキー全体で雪面をとらえる。少ない力でもよくたわみ、よくまわり、そしてよく走る好印象のフィーリングでした! 〈サーボテック〉の効果でスキーのレスポンスが良く、切りかえ時にオートマチックに入れかえられる。昨年から変わっていませんが、完成度の高いモデルなので18/19シーズンも十分戦っていけるモデルです。バインディングのチョイスしだいでより強く攻撃的なスキーに変わります(高橋)

X19MOD
¥160,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
176	21	106.5-67-90
183	24	105-67.5-89
190	27.5	104-68-89

183cm = 3,770g(1/2セット)

グリップ力	普通				高
安定感	普通				高
操作性	普通				高
回転性	普通				高
おすすめ度	★	★	★	★	

REDSTER S9 FIS M
M・ヒルシャー使用モデルの血を引く走りと切れが特徴のSLモデル

●昨年に引き続き、総合力、完成度が非常に高いモデル。ターン始動から終わりまで安定していて、ゲートの中でも落ち着いて動作を起こすことができる。雪面コンタクトやグリップ力も高く、ターン後半にきっちり乗り込んでいくと鋭い切れを発揮し、ターン後半の滑走スピードが飛躍的に上昇するのではないだろうか。あらゆる雪面コンディションに万能に対応できる一台。シーズンをとおして好タイムを維持できるものに仕上がっている(君島)
●ワールドカップで男子総合7連覇をしたマルセル・ヒルシャーの使用ブランドということで、常に注目のスキーである。雪面のグリップ力が非常に高く、圧倒的な走りは群を抜いている。スキーを下に向け、タイムアップをめざして攻撃的に滑るためには、気持ちも身体もスーパーでなければならない。いや、その気にさせるスキーなのだ(宮下)

X19MOD
¥180,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
165	12.5	117.5-65.5-101.5

165cm = 3,570g(1/2セット)

グリップ力	普通				高
安定感	普通				高
操作性	普通				高
回転性	普通				高
おすすめ度	★	★	★	★	

REDSTER TR
ターンサイズをコントロールしやすく圧雪から悪雪、コブまで、幅広いシーンで使いやすい一台

●バランスの取れた、マイルドでしっとりとしたスキー。全体的にきれいなたわみを少ない力で引き出すことができる、ショートターンベースのオールラウンドモデル。テスト時は春の重い雪での試乗だったが、それほどスキーのバタつきやブレは感じられなかった。スウィートスポットも広めで、バランスを崩しても助けてくれるオートマチックなやさしい一台。小まわりやカービングターンの習得、不整地での滑走など、幅広く対応してくれそうな癖のないモデルだと感じた。今季のジーガーテストの中でのいち押しモデル。これから検定をめざす方や、体力に自信のない方、女性にもお薦め!(佐々木)
●〈レッドスター〉シーズの中でも非常に軽量感もありつつ、操作性、安定感を併せ持ったオールラウンドスキー。スキー自体のフットワークが非常に良いため、自分の思い描いたラインどりにターンサイズを調節することができる。また、軟らかいバーンからハードなバーンまですべてを網羅することができ、クイックな動きにも柔軟に対応してくれる。これからのステップアップに使うも良し、扱いやすさを重視して乗りかえるも良しと、乗り手を選ばず、老若男女すべての方に満足していただける一台に仕上がっているのではないだろうか(君島)
●昨シーズンと同様のモデルではあるが、あらためてこのスキーの良さ、ポテンシャルの高さを感じた。アトミックの上級機種ではめずらしいフラットスキーであるため、少ない力やスピードが出ていない状況でもスキーのたわみを簡単に引き出せる。単にソフトなスキーではなく、ターン中のコントロール性も高く、自分の行きたい方向へスキーを導きやすい。常に自分の真下にスキーの良い位置があるイメージで、落下していく運動の中ではすごく安心感があり、幅広いスキーヤーに対応する。このスキーのしなりやすさとコントロール性の高さは、コブが苦手な方にとっても安全にコブを滑れるイメージが湧きやすいはずです(藤澤)

X12 TL R
¥114,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
158	13.3	113-70-100.5
165	14	114.5-70-102

165cm = 2,890g(1/2セット)

ターンサイズ	小					大
スピードレンジ	低					速
安定感	普通					高
操作性	普通					高
おすすめ度	★	★	★	★		

赤い流星REDSTER。
昨年からの継続性は100%の仕上がりの実証。
温度変化でシェル硬度がほとんど変わらないのがアトミックの特性

96mmラストとメモリーフィットによる快適エキスパートブーツ

REDSTER CLUBSPORT 130
¥79,000+税
サイズ:23/23.5~29/29.5cm
ラスト:96mm
フレックス:130
*メモリーフィット成形対応

REDSTER CLUBSPORT 110
¥69,000+税
サイズ:21/21.5~29/29.5cm
ラスト:96mm
フレックス:110
*メモリーフィット成形対応

REDSTER WORDCUP 130
¥87,000+税
サイズ:22/22.5~28/28.5cm
ラスト:92mm
フレックス:130
*メモリーフィット成形対応

REDSTER WORDCUP 110
¥79,000+税
サイズ:21/21.5~27/27.5cm
ラスト:92mm
フレックス:110
*メモリーフィット成形対応

NORDICA

DOBERMANN SLR RB FDT

安定した小まわりが得意。プレートの変更で乗りやすさUP

XCELL14 FDT　¥136,000+税

●少し重いイメージを持っていたが、手に持った感じは意外と軽い。全体的にスキーの硬さはあまり感じずにターン弧を描くことができた。安定感は十分にあるが、操作性も非常に高く、ザラメの雪や不整地でもスキーが綺麗にたわんでくれる。ターン後半から切りかえの局面で、軽快でありながら無駄にスキーがすっぽ抜けることもなく、しっかりコントロールできる印象があった。スキー全体が強すぎず、弱すぎず、中級者からエキスパートのスキーヤーに、特にお薦めしたいスキー。トップシーズンのハードバーンでもきっと安定した滑りができると期待させてくれる一台（佐々木）

●新型の〈FDT〉プレートにより、足元のたわみと安定感のバランスが飛躍的に上がり、重さも軽くなっている。ただ軽いだけではなく、トップとテールの剛性も上がっているので素早いとらえと鋭い抜けが特徴的で、ショートターンのみならずミドルターンまで安心して引っ張ることが可能。リズム変化もスムーズに行なうことができるので、プライズテストに挑戦するスキーヤー、整地されたバーンを好むエキスパートスキーヤーにお薦めの一台（橋山）

●試乗会を行なうとかならず人気ランキング上位に食い込むノルディカの〈SLR〉。言わずと知れた基礎系の小まわり用モデルだ。SLという文字からむずしいという先入観を持ちやすいが、実際には構造も素材もまったくSLとは異なるものを採用しているため、一度乗るとすぐにその魅力に取り付かれること間違いなし。ぜひ食わず嫌いをせずに挑戦していただきたい。昨年よりもプレートの仕様を一新し、軽量化とたわみやすさをプレートで演出している。ハイスピード時の安定感を残しつつ、操作性が格段にアップしているのが印象的だ。小まわり専用のスキーを用意したいと考えているスキーヤーにお薦め。プライズテストでも役に立つことだろう（吉田）

Top Skier's Voice

井山敬介

〈SLR〉が大好物。前後バランスが良く質の高いターンが可能

今季のノルディカスキーでは〈ドーベルマンSLR RB FDT〉が大好物です。技術選は〈ワールドカップ〉シリーズを使っていますが、普段、レッスンをするときなどは〈SLR〉を使っています。一般的なゲレンデのスピードレンジでは〈SLR〉のほうがマッチしますし、クオリティ的にも質の高いターンを描けることが気に入っています。ターンに合わせて前から後ろへとポジションを変えますが、前後のバランスがとても良いことも魅力です。1級をめざす方からクラウンレベルまで、幅広いスキーヤーに満足してもらえる一台です

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
155	11.5	119-69-103
160	12.5	119-69-103
165	13	120-69-104
170	14	120-69-104

165cm＝3,030g（1/2セット）

動画もCheck!

ターンサイズ	小				大
スピードレンジ	低				速
安定感	普通				高
操作性	普通				高
おすすめ度	★	★	★	★	

DOBERMANN SPITFIRE PRO FDT

ミドル〜ロングターンが得意なロングクルージングに適したモデル

TPX12 FDT　¥118,000+税

●スキーのたわみを使ってしっかりグリップさせて滑るというよりも、サイドカーブをうまく使って滑るととてもおもしろい。俊敏に動くというよりはマイルドに動いてくれるので、スキーを押さえにいったり、反発を押さえたりなどの力も少なく済み、長い距離を一気に滑り降りていきたいロングクルージングに適したスキー。センター幅が広いので硬い雪質からフワフワな雪質まで、いろいろな雪質に対応して楽しませてくれる一台となっている（久保田）

●装着時は軽いスキーでスピードを上げても大丈夫かと心配になるが、滑走時にはその不安が解消され、むしろグリップ力の良さに面食らうほど切れ味抜群のスキー。ターン前半でトップが雪面をつかんでしっかりとターンを導いてくれ、なおかつたわみすぎず、大まわり系のスキーの抜けも感じられる。このスキーはグリップ力と走り、軽快さを兼ね備えている。対象スキーヤーとしては、検定や大会といったことを目標にしている方ではなく、ゲレンデなどでミドルターン、ロングターンを気持ち良く滑りたいという人にお薦めしたい（村松）

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
156	13.5	120-72-100
162	14.5	120-72-100
168	15	122-72-102
174	16	122-72-102
180	17	122-72-102

168cm＝3,220g（1/2セット）

ターンサイズ	小				大
スピードレンジ	低				速
安定感	普通				高
操作性	普通				高
おすすめ度	★	★	★		

GT SPEEDMACHINE 80 FDT

パウダーからアイスバーンまでシチュエーションを選ばずに遊びたい人に

●乗ったその瞬間から、スキーの軟らかさと軽さを感じるスキーである。そして滑り始めると、その幅の広さとは裏腹に、いろいろな種類の雪でカービング〜ずらしのターンをコントロールしてくれるので、安心して乗りこなせる。これはトーションが軟らかいものになっているお蔭である。しかも、ショートターンをするときには、プレートの恩恵で、スキーのたわみを生かしたリバウンドが発生し、小刻みなリズムにも対応してくれる。この幅の広さを生かして、パウダー〜アイスバーンまでの各雪質を一台で遊びたいというスキーヤーにお薦めしたい（伊東）

●見た目からは想像もつかないシャープなターンとエッジホールド感が、このスキーにインパクトを与えてくれた。センター幅80mmという太めの設定は、深雪やザラメ雪での浮遊感を味わえるのはもちろんだが、整地バーンで切れのあるショートターンも可能にしてくれるグリップ力と、軽快さを併せ持つ魅力的な一台だ。スキーのフレックスとトーションのバランスが良く、とにかく滑っていて気持ちがいい。乗り手やシュチュエーションを選ばない、まさに名前のとおりのグランドツーリングスキーだ（須川）

抜群のグリップ力や切れ、走りを持つ攻撃的な滑りに合うGSスキー

グリップ力	普通				高
安定感	普通				高
操作性	普通				高
回転性	普通				高
おすすめ度	★	★	★		

●昨年のモデルとスキー内部の構造に若干変更があり、今までのフィーリングよりもターンのしやすさの向上がうかがえる。ターン前半のトップの動きや雪面のとらえは、今までどおりグリップもしっかりして雪面のとらえが早く、ターンのマキシマムを早く作ることができる。昨年とは違う感じがしたのは後半のスキーの動きで、従来のモデルよりもよりスキーが曲がっていく方向にトップが向いていく感じが出た。これによってラインが下に落ちにくくなり、次のターンへ高い位置から侵入していけるようになったので、より攻めていけるスキーになった（富井）

●履いた感じは重量感があり、黒ベースのデザインも合わさりむずかしさを感じさせるスキーだが、実際に滑り出すと良い意味で印象を裏切るスキー。トップからしなやかにたわんで雪面をとらえ、面全体で雪面をホールドするのでハイスピードの中でも安定感があった。トップからセンター、センターからテールというより、面全体でとらえる感じ。スキーがたわむことで十分にサイドカーブが引き出され、確実にターンを連続できるという点も魅力。ラインが遅れた際の修正能力にも長けているので、攻撃的に滑りたい選手には味方になってくれるだろう（上野）

ターンサイズ	小				大
スピードレンジ	低				速
安定感	普通				高
操作性	普通				高
おすすめ度	★	★	★	★	

RACE XCELL 18　¥174,000+税
RACE XCELL 16　¥155,000+税

DOBERMANN GS WC PLATE

重厚感と操作性を併せ持ち速さを約束するマスターズモデル

●体感の重量はどっしりと重くノルディカらしい印象だが、ターン前半は非常にしなやかな印象を受けた。しなやかに雪面をとらえた後は一気にグリップが高まり、どんどんターンスピードが上がっていった。横方向よりも縦方向への加速感が強いが、しっかりと身体の下にスキーが返ってくる。ハイスピードでの安定感が強いと思いがちなスキーだが、トップスピードに入る前の操作性も非常に良い。重厚な中にもしっかりとたわみと操作性が感じられ「硬いスキー」という印象はまったく受けなかった。操作性が良い＝軽快なスキーと思いがちだが、重厚でありながら操作性の良いスキーだった。　このスキーは「速い」と感じた（可児）

●ターン前半から外力を受け止めながら、スキー全体を使って気持ち良く切れ味鋭いターンを、さまざまな局面で表現できる。スキーに重量感があり、特にハードバックなバーンでの安定感が抜群。マスターズモデルの中ではスキーのねじれ剛性が強く感じられたが、スキーの形状により次元の高い操作性も持ち合わせている。さらにR25mとは思えないくらいの高い回転性能を持ち合わせ、タイムアップにつながる穴がない力強いモデル（松浦）

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
156	SECRET	SECRET
165	SECRET	SECRET

165cm＝3,540g（1/2セット）

グリップ力	普通				高
安定感	普通				高
操作性	普通				高
回転性	普通				高
おすすめ度	★	★	★	★	

DOBERMANN GS WC DEPT PLATE

RACE XCELL 18　¥179,000+税
RACE XCELL 16　¥160,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
188	≧30	SECRET
193	≧30	SECRET

193cm＝4,010g（1/2セット）

XCELL14 FDT　¥129,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
156	13	128-80-108
162	14	128-80-108
168	14.5	130-80-110
174	15.5	130-80-110
180	16.5	130-80-110

168cm＝3,255g（1/2セット）

DOBERMANN SL WC PLATE

雪面に張り付き、操作に敏感に反応。タイムアップを期待できるSLモデル

RACE XCELL 18　¥174,000+税
RACE XCELL 16　¥155,000+税

●例年どおり、ノルディカ特有のエッジグリップの強さは全スキーの中でも群を抜いている。装着時はスキー全体にかかるフレックスも他のスキーと比べて張りがあり、力強さを感じる。滑走してみるとエッジグリップの強さに加えて、高い回転性も併せ持っており、弧を描くというよりも、縦に切り込んでいくという印象を受ける。今年もこのスキーのキーポイントになるのは、軟らかい雪面コンディションと低速時だろう。スキーにかける圧のスウィートスポットが短い印象があるため、正確なポジショニングと荷重のタイミングが必要だ。だが、このふたつを正確にこなすことができれば、昨年に引き続き大幅なタイム更新に近づけるだろう（君島）

●スキー全体のフレックスおよびトーションが強く、高いグリップ感を持っているスキー。重心移動時にエッジを少し立てただけでも鋭く反応し、スキーは下方向にグングン向かってくる。雪面に張り付き、吸い込まれるような強いグリップ感があるので、前後左右にバランスを取った正確なポジション、そして正確なタイミングを滑り手自身でつかむことが、このスキーのポテンシャルを十分に引き出すポイントである!!　滑り手のシチュエーションに合わせた調整力がタイムを左右するだろう（丸山）

BLIZZARD

FIREBIRD SL FIS

トータルバランスの良さが乗りやすさをUP。タイムアップ確実な一台

動画もCheck!

グリップ力	普通				高
安定感	普通				高
操作性	普通				高
回転性	普通				高
おすすめ度	★	★	★	★	★

RACE XCELL 18　¥174,000+税
RACE XCELL 16　¥155,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
156	>13	114.5-66- 98.5
165	>13	116.5-65-101.5

165cm＝3,530g(1/2セット)

●今季デザインを〈ファイヤーバード〉に一新したブリザード。持ち味であるエッジグリップの強さとターン後半での力強さは今年も健在である。一度雪面をつかんだら離さない強いエッジグリップで、ハードバーンの状況下でも弾き返されることなく、鋭いカービングをすることができる。しかし、軟らかい雪面コンディションでもハードバーンと同じエッジングをしてしまうと、雪面にスキーが食い込んで失速の原因になってしまうので注意が必要だ。滑る状況を確認しながら、適材適所で滑りをコントロールすることができると、好タイムが期待できるのではないだろうか(君島)

●今回のテストの中で一番変化を感じたスキー。重厚感や直進性能が強くハードな印象をここ数年持っていたが、軽快さおよび回転力が増してややマイルドになり、スキー全体のバランスの良さを強く感じた。ターン前半は雪面への強いグリップを作り、ゲート通過時にはすぐに雪面グリップを容易になくすことが可能。「しっかりと乗りこなせれば!!」という言葉が例年出ていたが、体格や体力に左右されずに履きこなせるスキーに仕上がっている(丸山)

●ややセンター位置が前にあることも影響してか、高い回転性能を感じた。高いカービング性能の中に安定性があり、SLスキーに必要な要素を持ち合わせている。イメージはハードな印象だが、高い回転力がそれを感じさせない。軽くまわしやすいというよりも、どっしりとした中にまわしやすさとグリップ力を感じる(宮下)

●まず第一印象は非常に剛性感の強いスキー!　ターン前半からガッチリ雪面をとらえてどんどん内側にスキーが入り込んでくる。攻撃的なライン取りが可能な反面、コンパクトにターンを終わらせることができる技術と筋力も必要だろう。自らの運動でスキーをたわませていくというより、高いグリップ力でサイドカーブを生かしてターンが始まってくる。フレックス、トーションの強さは、ハードなコンディションの中でこそ高いパフォーマンスにつながるだろう(可児)

●独特のトップ形状の効果により、ターン前半トップ部から雪面をガッチリとらえる感じはNo.1!　またスキー全体がドシッとしていることによる高速安定性、そして硬いバーンでのグリップ感がレースシーンでは強い味方になってくれるだろう。このスキーのポイントはしっかり動いて、攻めていくこと!　これができればタイムアップ間違いなし!(高橋)

FIREBIRD GS FIS

ハードなコンディションで高いパフォーマンスを可能にするGSマスターズモデル

Top Skier's Voice

武田竜

〈FIREBIRD SL FIS〉の特徴は トップからすばやく切り込んでくること

技術選の小まわり系種目で使った〈FIREBIRD SL FIS〉は、トップからテールまでエッジ全体を使えるスキーだということです。レーシングモデルなのである程度力は必要ですが、そのぶんスキーの反発が返ってくるので、速さや切れ味は非常に良いです。ターン始動期にトップから雪面をとらえていけば、すばやく切り込んで入ってくることが特徴です。そこがうまくできれば、そのままオートマチックにレールターンのように使えて、縦にもいけるし、深い弧も描けます。それを生かしてタイムアップをめざしてください

動画もCheck!

RACE XCELL 18　¥174,000+税
RACE XCELL 16　¥155,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
184	>25	102-65-87
188	>27	100.5-65-87

184cm＝3,710g(1/2セット)

グリップ力	普通				高
安定感	普通				高
操作性	普通				高
回転性	普通				高
おすすめ度	★	★	★		

FIREBIRD GS RD

パワーのあるレーサーに向く一台。操作のポイントは縦への推進力を生かすこと

RACE XCELL 18　¥179,000+税
RACE XCELL 16　¥160,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
188	>30	R.D
193	>30	R.D

193cm＝4,010g(1/2セット)

グリップ力	普通				高
安定感	普通				高
操作性	普通				高
回転性	普通				高
おすすめ度	★	★	★		

●トップの形状が潰れていて、ターン前半にスキーのコントロールができない人には非常に安心感のある形状。実際に滑走してみてもターン前半のトップの食いつきが非常に良く、食いついてからすぐにスキー全体に外力がかかり、ターンの仕上げを早くすることができる。FIS規格のスキーにはターン前半に遊びのあるスキーとないスキーがあるが、このスキーは後者の遊びがないスキーになるので、テクニックで滑るレーサーよりはパワーや直線的にねらって滑るレーサーのほうが相性が良いと思う(富井)

●テストサイズが193cmと他のスキーよりもワンサイズ長かったせいもありむずかしさを感じた。トップのとらえは良いが、真っ直ぐ走る傾向が強い。しっかりとたわませることで良さを引き出すことができるだろう。スキーの厚みもあり、比較的硬さも感じられるので、パワーに自信のある選手でないと193cmはむずかしいのかもしれない。昨年までの印象で言うと188cmであれば扱いやすいモデルにがらりと変わると思うので、自身のレベルに合わせてサイズ選択をすると良いだろう(上野)

●〈ドーベルマン〉と同じ形状のスキーだが、色味のせいか〈ファイヤーバード〉のほうが少しやさしそうなイメージを感じた。しかし試乗してみると、〈ドーベルマン〉よりもスキー全体のフレックスが硬く感じた。トップのとらえは良いが、縦に向かう推進力が強いので、早いタイミングからスキーに対して加圧し、たわませることができるパワーのあるスキーヤーにお薦め。ハードバックされたバーンでは、抜群の安定感でトップからテールまでスキーのたわみを感じて滑ることができるだろう(久保)

FIREBIRD SRC

軽さととらえの強さを両立!斜面を選ばないコントロール性の高さが魅力

XCELL12 DEMO　¥120,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
155	11	120-68-104
160	12	120-68-104
165	12.5	121-68-105
170	13.5	121-68-105

165cm＝3,030g(1/2セット)

ターンサイズ	小					大
スピードレンジ	低					速
安定感	普通					高
操作性	普通					高
おすすめ度	★	★	★			

●今季フルモデルチェンジで注目のコンフォートモデル。昨年までの〈SRC〉と比べてとにかく軽い!　軽さからくる操作性の高さと快適度はもちろんだが、程よいフレックスとトーションがしっかりと雪面をとらえ、たわみを引き出し、スピードにも対応してくれる。直進性と回転性のバランスが非常に優れていて、確実にスキーをコントロールしたまま推進力のあるターンを描くことが可能となった。その要因は新しくなったプレート部分のカーボンシートだ。カーボン素材特有の「軽さ」と「強さ」がスキーの構造にうまくマッチしているため、グリップ力、走り、コントロールの3要素を高いレベルで実現している。検定受検者から快適志向の方まで幅広く使える一台だ(須川)

●SLモデルとオールラウンドモデルのテクノロジーを拡張してフルモデルチェンジした一台。フレックスとトーションのバランスは、トップとテールはスキーが薄く、足元はたわみを効率良く引き出すプレートを搭載しグリップ力の強さを実現しています。カーボンシートと組み合わせた構造が抜群の雪面コンタクトとスムーズなターンを導いてくれます。乗り味も心地よく、ハイレベルなターンを一発で決めてくれます。コントロール性と走りを両立し、前後バランスが取りやすいところから、クイックからスローまでのコントロール性に優れ、不整地でも力を発揮できるモデルです。余計なリスクも少なく、雪面コンディションを選ばず、確実に円いターン弧を描けることが魅力です。指導員検定やプライズテストにも最適です(斉藤)

NORDICA

普遍的なブーツ性能。抜群のレスポンスとダイレクトな雪面への働きかけを可能にした〈EDT〉システム搭載

PROMACHINE 130 GW

¥87,000+税
サイズ：24.5~30.5cm
ラスト：98mm
フレックス：130

伊東秀人プロ

久保美海甲府店

ISGプロスタッフが語るノルディカ〈PROMACHINE〉シリーズの魅力

軽さと快適な操作性が特徴の新しいタイプのブーツ

久保　秀人さんは〈PROMACHINE 130 GW〉をシーズン中からを履かれていますが、実際に使ってみた印象はどうですか?

伊東　軽さの中に強さを取り入れられるような素材革命が、今、ブーツ開発の現場で起きているんだろうなと感じています。今までも軽いブーツはありましたが、〈PROMACHINE 130 GW〉は、軽い、イコール弱いとか、物足りないというイメージを超越したブーツだと思います。

久保　今回、私も初めて履きましたが、まず持って軽いということと、履いたときにしっかりしていて、反応が速そうな感じが印象的でした。滑ってみるのが楽しみになる一足でしたね。

伊東　実際に滑った印象は、どうでしたか。

久保　このブーツは130というフレックスなんですけれど、全然軟らかくなくて、反応も良かったです。足首の前傾角度が立っていて、足が収まる位置は低い感じがしました。秀人さんは、どうでしたか。

伊東　滑ってみた印象は、快適に操作できるブーツだという感じです。快適性と操作性、このふたつの軸がブーツでは大事だと思っていて、前者は快適に足を包んでくれるという特性、後者は快適にスキー操作ができるという特性になります。〈PROMACHINE 130 GW〉は後者の快適にスキー操作ができるブーツで、エッジングがしっかりできます。ハイシーズンのよく締まった雪でも、とてもよくグリップしてくれるし、内スキーのアウトエッジの使い方を覚えるのにもとても良いブーツだと思います。

久保　内スキーのアウトエッジの使い方ですか?

伊東　そう。このブーツの特徴のひとつはヒンジの位置で、なかでもブーツのアウトサイドのヒンジの位置が、レーシングモデルと比べると後ろに設定されています。そのおかげで内スキーのアウトエッジの使い方をとても覚えやすい設定になっています。内脚操作はとても大切なので、それを覚えたいスキーヤーにはとても良いと思います。そうした、しっかりした操作ができる性能を持ったうえで、軽さと快適性も備えた一足ですね。

久保　快適性という意味では、〈カスタム・コルク・フィットテクノロジー〉を採用したインナーブーツが果たす役割も大きいですね。

伊東　そうですね。〈130〉はインナーブーツを熱成型できるし、フレックス違いのモデルも機能性の高いインナーブーツが使われていますからね。ソールには〈PROMACHINE〉シリーズのために開発された〈ミシュラン・グリップソール〉が採用されているから歩きやすいという特徴もあるし。

久保　〈PROMACHINE 130 GW〉は、軽さとしっかりとした機能性、そして快適性を融合させたノルディカの中でも新しいタイプのブーツだと言えそうですが、どんなスキーヤーにお薦めしますか。

伊東　メンズモデルとレディスモデルがフレックス違いで4タイプあるので、フレックスに合わせて選んでもらいたいですね。男性の場合、マスターズレーサーなら〈130〉が使えるし、1級を取りたいという方なら〈120〉が合うと思います。

久保　前傾角度が起きているので、レース、基礎を問わず、ターン中、前に前にと行くのがむずかしくなってきた年配の方にお薦めしたいですね。

伊東　コンセプトがとても新しいブーツなので、いろいろな人に履いてもらえると思います。軽さと高性能を両立させたこのブーツなら、今まで以上にスキーを楽しむことができると思います。

PROMACHINE 120 GW

¥77,000+税
サイズ：24.5~30.5cm
ラスト：98mm
フレックス：120

DOBERMANN WC EDT 130

¥93,000+税
サイズ：UK3~10
ラスト：93mm
フレックス：130

DOBERMANN WC 110

¥83,000+税
サイズ：UK3~10
ラスト：93mm
フレックス：110

TECNICA

カラーとネーミングを一新。テクニカとブリザードの組み合わせは従来のイメージを変える新ブランド元年

FIREBIRD WC 110

¥83,000+税
サイズ：UK3~10
ラスト：93mm
フレックス：110

FIREBIRD WC 130

¥93,000+税
サイズ：UK3~10
ラスト：93mm
フレックス：130

VÖLKL

RACETIGER SL DEMO

小まわりが得意な
ショートターンモデル。
軽量ながら抜群の安定感

動画もCheck!

rMOTION2 12 GW　¥140,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
160	11.8	127-68-103
165	12.6	127-68-103
170	13.4	127-68-103

165cm = 3,040g(1/2セット)

ターンサイズ	小					大
スピードレンジ	低					速
安定感	普通					高
操作性	普通					高
おすすめ度	★	★	★	★		

●SLデモモデル。新構造の〈3Dグラス〉採用で、SLスキー特有の「硬さ」をあまり感じない。少しの荷重でもたわみを引き出すことができ、実際に滑ってみると技術選対応のスキーとはそこまで感じないほど。また、重心移動を必要以上にしなくても勝手にスキーが返ってくるので、無理なくターンの導入ができ、なめらかで途切れのないターンを実現することができる。張りがあり、推進力に優れているのでスピードにも強い。中級モデルで物足りなさを感じている方にはぜひお薦めしたい(永坂)
●ターン時の雪面抵抗が少なくターンスピードが速いように感じた。トップ幅127mmとかなり太めで、プロポーションに特徴のあるショートターン専用マシン。トップをしっかりとグリップさせ、脚部や重心をターン内側へしっかりとシフトさせていくと、グイグイまわってくる。内傾角を深く取れるスキーヤーなら質の高いカービングターンターンを可能にしてくれる(藤本)

RACETIGER GS DEMO

〈UVO 3D〉による高い振動吸収性を生かし
スピード感ある滑りを可能にする大まわり系モデル

rMOTION2 12 GW　¥140,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
170	17.1	114-69-97
175	18.3	114-69-97
180	19.4	114-69-97

175cm = 3,165g(1/2セット)

ターンサイズ	小					大
スピードレンジ	低					速
安定感	普通					高
操作性	普通					高
おすすめ度	★	★	★	★		

●今季フルモデルチェンジしたフォルクル、このモデルはミドルターンからロングターンを得意としている。トップからテールの中で芯材を使い分けることにより、これまでよりも、より強いトーションとフレックスを実現することができた。そのため、どのシーンにおいてもスキー全体の足場のとらえが強く、切れ味の良いスキー操作が可能となった。さらに、今季新しくなった〈UVO 3D〉により、これまで以上の振動吸収が可能になったことで、「雪を切る」ことがものすごく感じられるだろう。「シャープ」という表現がものすごく似合う一台である(大場)
●レースシーンからのフィードバックで高い剛性を確保しつつ、軽量で新しくなった〈UVO 3D〉によって振動吸収性を高め、スピード感あるパフォーマンスを追求したモデル。低重心を感じさせ雪面に吸い付く感じがあり、ターン中の振動や斜面のうねりからくるストレスを感じることはありません。しなやかさが抜群で、スムーズな動きを幅広いスキーヤーが体感できます。ミドルターンからロングターンをベースに、自らの仕掛けに素直に応えてくれる印象が強いです。ハイスピードでもゆとりのあるスキー操作と、しっかりとたわみに結びつけるバランスがすばらしいです。トップからターン中の抵抗を感じやすく、足元で確実に強い抵抗を受け止められるので、余計なリスク、リバウンドが少なく、抜けの良いターンで積極的に円いターン弧を連続することができます。雪面コンタクトと操作性が最大の魅力です(斉藤)

RACETIGER SX DEMO

滑り手の意思で自由にコントロールできる
真のオールラウンドモデル

rMOTION2 12 GW　¥137,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
163	14	125-74-104
168	15	125-74-104
173	16	125-74-104

168cm = 3,195g(1/2セット)

ターンサイズ	小					大
スピードレンジ	低					速
安定感	普通					高
操作性	普通					高
おすすめ度	★	★	★			

●デザイン一新!　カラーも明るくポップに変更。手に持つと軽さを感じた。良いポジションのキープに若干むずかしさも感じたが、トップにしっかり乗り込んでいくことができれば、しっかり反応してくれるスキー。ハイシーズンのハードバーンで、ぜひチャレンジしたい。トップに標準装備されている振動吸収機能装置〈UVO 3D〉の効果からか、ターン時のブレやバタつきはあまり感じず、思い切ってトップに乗り込んでいくことができる印象の一台。ラディウスもそれほどきつくなく、スキーヤーの意思で、ターン弧、スピードを自由自在にコントロールできる真のオールラウンドスキー(佐々木)
●昨年まで非常に人気の高かった〈PLATINUM SW〉の進化版。ラディウスも14～16mとロングターンからショートターンまで一台で何でもこなすことができる、王道のオールラウンドスキーといった印象を受けた。またトップ&テールロッカーということで、実際の長さよりも短く感じ操作感が良いので、女性で163cm、男性で168cm、173cmでのチョイスがお勧め。長さに抵抗がある方は、チューンナップの際のビベルを少し多めに取ってあげると操作感が上がるので、ぜひ試していただきたい(橋山)
●今季のフォルクルはフルモデルチェンジを果たした。昨年のメーカーロゴの変更は記憶に新しいが、そこから乗り心地もまた負けじとパワーアップしている。これまでの魅力は軽快な操作性とハイスピード時の安定性だったが、今季はマイルドなフィーリングが印象的だ。トーションの剛性を保ちつつも、少ないパワーでたわみを作り出すことが可能になっている。スキーの抜けが非常にしなやかで、常に余裕をもった中でターンポジションを取ることができる。結果として美しいシルエットで滑ることができるので、1級テストやプライズテストはもちろんのこと、低速種目が多い指導員検定でも活躍するスキーだと言える。専門的なスキーではなく、オールラウンドのスキーを探しているスキーヤーはぜひともお試しいただきたい(吉田)

RACETIGER SC DEMO

雪質や斜面状況を選ばずオールマイティに楽しめる
コストパフォーマンスに優れた一台

vMOTION 12 GW　¥115,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
155	12.2	122-72-105
160	13.1	122-72-105
165	14	122-72-105

165cm = 2,980g(1/2セット)

ターンサイズ	小					大
スピードレンジ	低					速
安定感	普通					高
操作性	普通					高
おすすめ度	★	★	★	★		

●昨年より大変好評のこのスキーだが、やはりバランスの取れた「ちょうど良いスキー」であった。安定感と操作性のバランスが抜群で、軽すぎず、切れ味も鋭い。スキー全体がしっかりとたわんでくれるのがわかるので、オートマチックというよりはセミオートマ的な「操作している感」が心地よかった。雪質やバーンコンディションを選ばず、オールマイティに楽しめるスキーであることは間違いないでしょう(大越)
●基本的に構造は継続ではあるが、今回テストしたデモ・セカンドモデルの中では抜群の推進力、ターンの走りを感じた。スキー自体のフレックスはソフトなので、ターン導入時(谷まわり)には比較的容易に角づけできるやさしい操作性と、マキシマムでのしなり感、その後の加速力は、この価格帯のスキーではずば抜けているコストパフォーマンスなー台。スキーの走りを感じるには、スキーヤーが次のターン方向へ動けることが必要なので、ある程度のストレッチ感覚を持って滑るスキーヤーに特にお薦めなオールラウンドスキー(藤澤)

VÖLKL

RACETIGER GS WC
ターン前半、スキーをスウィングしやすく 振り幅のあるセットで力を発揮するGSモデル

WC PC INTERFACE
WC UVO 3D
XCELL16 ¥176,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
183	≧30	96.5-65.5-83
188	≧30	98-65.5-84

188cm = 3,660g(1/2セット)

グリップ力	普通				高
安定感	普通				高
操作性	普通				高
回転性	普通				高
おすすめ度	★	★	★		

●トップがロッカー形状なので、接地面積が短く操作性に優れている。そのため急斜面のゲートの振り幅のきつい場所などで、スキーをスウィングしなければならない場面やライン修正をしたいときに、無理なく操作をすることができるだろう。ロッカー形状なので操作性に重点を置きたい人は〈UVO 3D〉をつけなくてもいいが、高速ターンなどでバタツキを抑え安定感を出したい人は、オプションの〈UVO 3D〉をつけることで解消されるので、好みに合わせて選択すると良いだろう(富井)
●デザインでそう見えるのかもしれないが、トップ部がスマートで細く感じられ、「曲がらないのでは?」という印象を持つが、実際に履いてみると非常にしなやかで回転力が高いスキー。昨年も感じたが、ターン前半から強烈に食い付く感じではなく、コントローラブルに自発的にスキーの方向づけができるので、振り幅のあるようなセッティングでもさほどむずかしさは感じないだろう。そして、非常に軽量かつ軽快さがあるスキーでバランスが良い(上野)
●昨年との大きな差はないが〈UVO〉の形状が新しくなり、より安定感が増している。〈UVO 3D〉の効果でスキーのバタツキは感じず、スキー全体のグリップ力が強く、縦へ向かっていくので少しむずかしい印象を受けたが、センターからテールにかけてスキーのたわみ、そして次のターンへの走りを感じた。ハードなバーンコンディションではもっとターン前半からスキーのたわみやエッジグリップ、抜群の安定感を感じることができるだろう。スキーを身体から離さず、早い段階から雪面にコンタクトしていくスキーヤーにお薦めだ(久保)

RACETIGER SL WC
安心して攻められる操作性の高さと ターン後半の走りを持つSLモデル

WC PC INTERFACE
WC UVO 3D
XCELL16 ¥176,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
155	R.D	113-65.5-98.5
157	R.D	116-65.5-100
165	R.D	118-65.5-101

183cm = 3,500g(1/2セット)

グリップ力	普通				高
安定感	普通				高
操作性	普通				高
回転性	普通				高
おすすめ度	★	★	★	★	

●総合評価として操作性と回転性が非常に高い一台。ターン前半が作りやすいため、自身の動かしやすい位置にスキーを動かすことができ、高いラインどりからスキーに荷重できるので、ミスをするリスクが非常に少ない。また今季から新しくなった〈UVO 3D〉の効果で、荒れたコンディションでもスムーズなエッジングが可能だ! だが操作性が高いが故にターン後半までまわしすぎると、スキーが横を向いてしまうので、自身から縦にアクションをかけていく動きを意識することで、高い次元で好タイムをねらえるだろう(君島)
●サイドカットの変更で、スキートップ部の雪面コンタクトがより速く感じた。軽快にスキーを動かせる、スキーがちゃんとまわってくるという、レーサーには安心して攻めることができる特性を持ちつつ、後半はスキーが走りスピードが上がってくる。そんな総合力が高いスキーに仕上がっている。振動吸収の〈UVO〉もモデルチェンジして、硬く荒れたバーンへの対応も問題なし。スタート順に関わらずタイムアップが期待できる一台である。プレートや金具のセッティングも滑り手のタイプで調整していただきたい(丸山)
●フリーターンをするだけで、やさしく雪面をグリップする感覚は心地よい。ゲートの中で得られる適度なグリップ力と回転力は、試合においても自分自身の能力をそのままに表現してくれるだろう。扱いにくさなど、どこも感じないスキーだ。しいて言えば、もう少し強いグリップ力があってもいいかなと感じられるので、物足りない方は鋭角ぎみなエッジチューンをお薦めする(宮下)

UVO 3D

縦方向、横方向、ねじれ方向の雪面からの衝撃を吸収し、スキーのトップ部を雪面に張り付かせる〈UVO〉がさらに進化。縦方向(3D)の衝撃吸収性能を向上させながら、軽量化も果たしている。レースバーンでスムーズなコントロールに威力を発揮。

1.水平方向の衝撃吸収機能
水平方向の衝撃を吸収することでスキートップ部にすばやく正確にプレッシャーをかけることを可能に。
スキーがより速くスムーズにインサイドに入ってくるよう理想的な傾斜角に導く。

2.垂直方向の動きが 衝撃吸収効果をさらにアップ
〈WC UVO 3D〉の垂直方向の動きにより振動の振幅が減少。
極端なエッジアングルのシーンでも抜群の安定感を発揮。

RACETIGER GS WC MASTERS
高い操作性が一番の魅力。 軽快で乗り手を選ばないGSマスターズ

●カーブの強いスキーでありながら、ターン前半から雪面をとらえる印象は薄い。とらえるよりはしっかりとターン前半でトップを操作していくことで、ラインをコントロールしていくタイプのスキー。あまり身体からスキーを離さずに乗り込んでいくと、中盤以降はしっかりとスキーがたわみ、推進力に変わってくれる。グリップ力は軽めだが、そのぶん操作性が良く軽快なスキーコントロールができる。グリップが軽めなことはけっしてネガティブな要素ではなく、抵抗が少ないぶんスピード感が高まっていくと考えるのが良いだろう(可児)
●スキーのトップ部分が軟らかめで、ターン前半にトップから切れ込んでいく感じはないが、非常にソフトで全体的に操作性が高いことは好印象。個人的な感覚としては、プレートやディスタンスプレートとのセットアップにより高速ターン時の走り、抜けが変化するので、自分に合ったポイントが見つかるだろう。新しくなった〈UVO 3D〉が良い影響につながっているように感じる。軽快で乗り手を選ばず、万人受けするモデルだと感じた(松浦)

WC PC INTERFACE
WC UVO 3D
XCELL16 ¥176,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
174	≧21	102-65-88
178	≧23	102-65-87
183	≧25	101-65-87
188	≧27.5	100-65-87

183cm = 3,605g(1/2セット)

グリップ力	普通				高
安定感	普通				高
操作性	普通				高
回転性	普通				高
おすすめ度	★	★	★		

DALBELLO
究極のスキーフレックスを追求。 センターバランススタンスで 荷重ポジションを的確にする 最新テクノロジーが特徴

DRS WC SS

¥100,000+税
サイズ:22.0~27.0cm(1cm刻み)
ラスト:93mm
フレックス:110

ISC SIEGER AWARD SKI CUSTOM FAIR

独特のシェル素材が 新しい技術に対応!

DRS 130

¥83,000+税
サイズ:22.5~29.5cm(1cm刻み)
ラスト:98mm
フレックス:130
*マイフィット成形対応

HEAD

WC REBELS i. GS RD

好評のGSモデルがプレートの変更でパワーUP

FF EVO 20X　¥176,000+税
FF EVO 16X　¥172,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
193	30.5	103-65-83
188	30.0	101-65-82
183	30.5	99-65-81

188cm＝3,765g(1/2セット)

グリップ力	普通				高
安定感	普通				高
操作性	普通				高
回転性	普通				高
おすすめ度	★	★	★	★	★

●ワールドカップで活躍する選手を多く輩出しているとおり、ポテンシャルにはすばらしいものがある。ターン前半はトップがかかりすぎず、徐々に雪面をとらえてグリップ力が強くなっていき、ターン中盤から後半にかけて一気に推進力に変わっていく。外力が徐々に強くなるため、力が雪面と喧嘩をせず推進力に変わっていくのだ。そのため、しっかりコントロールできれば、ターンとターンのつながりのあるスムーズな動きが得られるだろう。テッド・リゲティやアレクシー・パントュローのような柔らかいタッチが理想の人はぜひ履いてほしい(富井)
●フレックスとトーションが絶妙なバランスで、ターン中のスキーの挙動が少なく、安定性能が高い。自分が思うヘッドの良さはこのバランス性能の高さであり、癖のない素直なスキーという印象を受ける。もともとヘッドスキーに対してむずかしいブランドという印象はないが、テストサイズの188cmに関しては、プレートの長さが昨年度よりショートになり、より足元が素直に沈み、雪面グリップを強くしているので高速安定性能も高いし、「曲がらない」というネガティブな印象も抱かなかった。トップ選手が集まる理由がわかる気がする(上野)
●硬くて重い印象を持たれがちなヘッドだが、183cmと188cmは昨年よりもプレートが短くなり、よりスキー全体のたわみを感じやすく、ポジションをキープしやすくなった。少し広めのトップがターンのきっかけをつかみやすくして、操作性、回転性の向上、また張り付くようなフィーリングで、足元のグリップ力、抜群の安定感につながっている。あらゆるバーンコンディションに対応できて、タイムアップをめざすレーサーにお薦め(久保)

WC REBELS i. GS RD PRO

テスターの評価が好評のマスターズモデル

FF EVO 16X　¥172,000+税
FF EVO 16　¥161,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
176	23.0	102-65-87
181	25.0	102-65-86
183	25.4	104-68-89
186	25	104-65-87

181cm＝3,630g(1/2セット)

グリップ力	普通				高
安定感	普通				高
操作性	普通				高
回転性	普通				高
おすすめ度	★	★	★	★	

●世界でも国内でも使用率が高いヘッド。近年プレートの性能が左右する現状を考えれば、スキーとのマッチングは素晴らしい。それにより、あらゆる局面でスキーの挙動や雪面コンタクトは抜群だと感じた。反応が素早いスキーを好むレーサーには鈍く感じられるかもしれないが、推進力が高いので間違いなくタイムに直結するはず(松浦)
●ターン前半からどっしりと雪面をとらえて、中盤からはグイグイ加速していくスキー。スキーの操作性も高く、ミスが少なく滑れるのでタイムアップも期待できる。ここ数年、ワールドカップでヘッドスキーで活躍する選手が多いのも納得できる。昨年モデルと変わらないが、切れ・抜け・操作性が抜群で完成度の高いモデル(高橋)

WC REBELS i. SL RD

雪面をグリップする力が強く高い安定感と鋭い抜けを実現するSLモデル

FF EVO 20X　¥176,000+税
FF EVO 16X　¥172,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
156	10.7	118-66-102
158	11.0	117-67-104
165	12.3	117-67-103

165cm＝3,560g(1/2セット)

グリップ力	普通				高
安定感	普通				高
操作性	普通				高
回転性	普通				高
おすすめ度	★	★	★	★	

●グリップの良さとスキーの安定感はヘッドの最大の魅力であろう。アルペンレースの大会の中でも、特にタイム差のつきやすい中斜面、緩斜面での性能は随一。昨年同様、重心の位置がやや後ろに感じるため、ターンの始動はまったりとしているが、このタイミングでしっかりとスキーに荷重を加えていくと、安定感を持ちながら鋭い抜けを感じることができる。急斜面などのクイックな動きが必要なシュチュエーションで、いかにターン前半を高い位置から正しいポジショニングで始動できるかが、このスキーの魅力を最大限に引き出すためのキーポイントになるのではないだろうか(君島)
●GS、高速系では定評があったが、ワールドカップのみならず、オリンピックでもゴールドメダルにたどり着いた。まず、スキーの剛性の高さを感じ、エッジグリップも強く、回転力も徐々に増してきている。かなり強めのエッジングをしても、スキーはびくともしない。体格、パワーのある方には信頼できるスキーなのではないだろうか(宮下)

WC REBELS i. RACE PRO

抜群の安定感と俊敏な操作性を両立。安心してスピードを出せるエキスパートモデル

FF EVO14　¥150,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
160	12.7	121-67-101
165	13.6	121-68-101
170	14.4	122-68-102
175	15.3	123-68-103

165cm＝3,550g(1/2セット)

ターンサイズ	小				大
スピードレンジ	低				速
安定感	普通				高
操作性	普通				高
おすすめ度	★	★	★		

●スキー全部を使って雪面をとらえていく一台。足元の安定感は抜群で、安心してスピードを上げていける。プレートの効果なのか、反応がとても良くなったように思える。しなやかにとらえていきながらも、しっかりと反応が返ってくるので、ターン後半から切りかえにかけての動きをオートマチックに行なえる(久保田)
●スキーを履いた重量感と滑走フィーリングの違いにインパクトを感じた。ヘッド特有の雪面に張り付くターンをしっかりと描き続け、なおかつ俊敏な反応も兼ね備えている一台。ターンサイズとしてはミドルターンでの滑走感覚が良く、加えてショートターンでもスキーの抜けの速さを感じられる。今までにないヘッドスキーで、従来の良さを継承しつつも、新しいものがバランス良く融合しており、今後の進化に期待感を膨らませてもらえる。対象としては、エキスパートスキーヤーの方にぜひ履いてもらいたい(村松)

SUPERSHAPE i. MAGNUM

シチュエーションを選ばない軽量オールラウンド。軽快な乗り味でスムーズに円い弧を描ける

PRD12 GW　¥128,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
156	11.2	129-71-109
163	12.2	130-72-110
170	13.1	131-72-110

163cm＝3,095g(1/2セット)

ターンサイズ	小				大
スピードレンジ	低				速
安定感	普通				高
操作性	普通				高
おすすめ度	★	★	★		

●全体的な幅の広さがチャームポイントの軽量オールラウンドスキー。ひときわ目立つ幅の広いトップと、〈グラフィン〉を使用することにより、雪質を選ばず高い安定感をもたらしている。また、これだけの幅にも関わらずクイックな動きも可能。ターン前半のとらえがとても早く、ターン中は常にトップからテールまで滑走面全体がまるで雪面に張り付いているような低重心の感覚が安定と安心を生み出してくれるので、どんな斜面にも思い切って飛び込んでいけそう(大場)
●シチュエーションを選ばないスキーという印象です。幅広なサイドカーブと剛性を確保しながら、軽量を追求したモデル。超低重心の滑走感は、コンフォートの新しい感覚を生み出してくれます。雪面とのコンタクトが高く、スムーズで深く円いターン弧を一番に考えた小まわりモデルとも言えます。コンフォートな走りは、中級者からエキスパートレベルと幅広い層へ対応します。(斉藤)

V-SHAPE V11

一度体感する価値のある「軽さ」1日中、楽しく、楽に滑りたいスキーヤーに

PR11 GW　¥102,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
158	11.2	119-65-100
163	11.9	120-65-100
168	12.7	121-65-101

163cm＝2,285g(1/2セット)

ターンサイズ	小				大
スピードレンジ	低				速
安定感	普通				高
操作性	普通				高
おすすめ度	★	★	★		

●持っても！　履いても！　滑っても！　とにかく軽いのひとこと。エッジの切れやグリップはそこそこなレベルなので、硬いバーンなどでのグリップ力やハイスピードでの滑りを求めてはいけないスキーだ。トップとテール幅の比率"テーパーレシオ"で表わし、スキーの操作感を調整している。対象としてはシニア世代等の楽で軽快、そして「軽量」のスキーを探している方へぜひお薦めしたい(大場)
●来季から新登場の〈V〉シリーズ。まずは手に取ってその軽さを体感していただきたい。この〈V11〉は、芯材に炭素系粉末素材の〈グラフィン〉を採用しているので、軽量ながらも安定感を実現。形状がV型になっているので、ターン始動を簡単に行なうことができ、後半の抜けも引っかかりすぎることがなく、スムーズに抜けていくので身体にかかる負担も少なくなっている。中高年のレジャースキーヤーにも安心して楽しんでいただける一台ではないだろうか(大越)

レーシングブーツに新モールド。〈ラプター〉シリーズは次のステージに。ヘッドスキーとの同時開発でまさに猛禽類の滑走を生み出す

RAPTOR R2 RD

¥106,000+税
サイズ:22.5~27.5cm
ラスト:1500cc/93mm(26.5cm)
フレックス:160/150/140

NEWモールドにより従来のしっかり感+操作性抜群

NEXO LYT 130G

¥88,000+税
サイズ:25.0~28.0cm
ラスト:1850cc
フレックス:130/120
*リキッドフィット
画期的なカスタマイズシステム採用

ROSSIGNOL

HERO ATHLETE FIS GS FACTORY

フルモデルチェンジで最強の戦闘力。タイムUP確実

SPX 15　¥157,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
185	27	102-65-84
188	30	102-65-84
193	30	102-65-84

193cm = 3,740g(1/2セット)

グリップ力	普通				高
安定感	普通				高
操作性	普通				高
回転性	普通				高
おすすめ度	★	★	★	★	

●デザインも構造も一新して注目の一台。本来ロシニョールスキーのイメージは、他のスキーよりもターン前半縦めにトップが向いていき、フォールラインにかかるぐらいからスキーのたわみが出始め、一気にターンを仕上げるという印象だった。だが、このスキーに関しては、今まで以上により曲線に近い弧を描くことができ、R30ながらスムーズなターンを連続できた。もちろん、ある程度の技術レベルが必要だが、少し個性的で好き嫌いが分かれるスキーから、より幅広い選手に好印象を抱かせるスキーに仕上がっている(上野)

●メタルとラバーによるロシニョールの新システム〈LCT〉(ラインコントロールテクノロジー)と、昨年までのセパレートプレート〈R21〉から1枚タイプのニュープレート〈R22〉への変更により、すべてにおいて格段にアップしている。トップからテールまでメタルが入っていることで硬くなりすぎるのではと思っていたが、程よいたわみと安定感、走りにつながっていて、あらゆるコースコンディション、テクニカルなセットにも対応できるスキーに仕上がっている。レスポンス、操作性、安定感と抜群で滑走フィーリング、タイムとのリンクも良く、完成度の高いいち押しの一台(久保)

HERO ATHLETE FIS SL

動画もCheck!

ねらったラインを通り ねらった場所でターンを仕上げられるSLモデル

SPX15　¥157,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
157	12	116-66-102
165	13	116-67-103

165cm = 3,495g(1/2セット)

グリップ力	普通				高
安定感	普通				高
操作性	普通				高
回転性	普通				高
おすすめ度	★	★	★	★	

●ファーストインプレッションは、とにかく速いエッジングで縦に走るスキーということである。今季のロシニョールは新しく〈DLC〉という、スキーに付いたサスペンションバーにより、余計な振動を吸収してくれるシステムを搭載しているが、このSLモデルではスキー内部に装着している機能〈LCT〉を採用している。そのため、安定性が高い中での速い切り返しが可能になっている。従来どおりターン後半にスキーに乗り込んでいくという感覚ではなく、高い位置から縦に荷重していくことによって、このスキーの最大限の魅力を引き出すことができるのではないか(君島)

●バインディングのポジションが他メーカーに比べてややセンターよりにセットされているため、スキー全体の長さはまったく感じない一台。スキーとプレートの相性が良く、ターン前半はかなり直線的にゲートに向かうが、やや遅れて鋭く内側に回転してきてコンパクトな弧を描ける。ねらったラインを通り、ねらった場所でターンを仕上げることが容易にできる。近年の変化が多いスラロームにしっかりと対応してくれるし、スラロームをうまく、そして速く滑れるように導いてくれるスキーである(丸山)

HERO MASTER

群を抜いた回転性の高さを持つ 軽量マスターズモデル

SPX14　¥149,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
170	16	114-71-97
175	18	114-71-97
180	21	116-70-98
185	23	113-71-96

180cm = 3,480g(1/2セット)

グリップ力	普通				高
安定感	普通				高
操作性	普通				高
回転性	普通				高
おすすめ度	★	★	★	★	

●とにかく良くまわる!　回転性は同じカテゴリーのスキーの中では群を抜いている。中斜面から緩斜面でのシンプルなセットの中では、簡単に連続したターンを体感できるだろう。昨年までのモデルは、センター幅の広さのため少し切りかえでの操作がゆっくりとしたタイミングになってしまいやすかったが、プレートが変更されたことでスキー操作がクイックに行なえるようになり、急斜面での操作感も向上した。マスターズレーサーや競技入門者はもちろん、多くのスキーヤーが高速でのカービングターンを体感するのに持って来いのスキー(可児)

●近年、マスターズ選手で男女の隔たりなく使用率が高いロシニョールの定番モデル。ターン後半でタイミングが遅れたとしても、素早くスキーが身体の下に戻ってくる。その感覚は他のモデルにはなくすばらしいと感じた。トップ形状が広く、安定感もかなり高い。ハイスピード時には少し物足りなく感じるかもしれないが、軽量で高い回転性能を求めるのであれば間違いなくこのモデル(松浦)

DEMO ALPHA TI

新システム〈LCT〉で軽さと安定感を両立。プライズテストをめざすスキーヤーに!

SPX12 KONECT　¥135,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
161	13	122-68-104
166	13	122-68-104
171	13	122-68-104

166cm = 3,305g(1/2セット)

ターンサイズ	小				大
スピードレンジ	低				速
安定感	普通				高
操作性	普通				高
おすすめ度	★	★	★	★	

●今季から搭載の〈LCT〉により雪面が荒れた際の振動吸収が増し、前モデルに比べて走破性の高さを感じた。昨シーズンも高評価を受けた〈コネクト〉システムによって、軽いながらもしっかりとしたグリップがあり、軽い操作性の中に安定感という相反する特徴が同居したスキー。重さと操作感のバランスが非常に良いので、体重の軽い男性や女性の上級スキーヤー、プライズテストに挑戦するスキーヤーに安心してお薦めできる一台(橋山)

●今季のロシニョールは見た目も構造もフルモデルチェンジし、満足度たっぷりの一台となっている。〈DLC〉(ダイレクトラインコントロール)というチタンナルとラバーを棒状にしたものをスキーに内蔵させることで、振動吸収の役割を果たし、ハイスピード時にも安定して思いどおりのラインを描くことが可能となっている。この構造を〈LCT〉と言う。また、プレートの改良を施したことにより、フレックスの引き出しが容易になり、さまざまなシチュエーションに対応可能となっている。スキーを常に支配化に置くことができるので、イメージどおりの滑りが可能となるため、特に検定志向のスキーヤーにお薦めの一台となっている(吉田)

DEMO ALPHA TI LTD

動画もCheck!

ねらいどおりのラインをトレースできる 操作性抜群のオールラウンドモデル

SPX12　¥143,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
161	13	122-68-104
166	13	122-68-104
171	13	122-68-104

166cm = 3,305g(1/2セット)

ターンサイズ	小				大
スピードレンジ	低				速
安定感	普通				高
操作性	普通				高
おすすめ度	★	★	★		

●操作性抜群のオールラウンドモデル。ターンスピードもけっして劣ってはいず、程よい張りで操作がしやすく、推進力も引き出せる。次のターンへのつなぎが非常にしやすかったのが印象的で、なめらかで途切れないスキーの動きは内倒するリスクが少なく、安定感も抜群。これほどまでに非の打ちどころのないオールマイティなスキーはあまりないのではないかと思うほど。スピードも重視しているが操作の技術をもっと磨きたい、これからもっと上をめざしたいという方には、間違いなくこちらの一台をお薦めしたい(永坂)

●〈LCT〉搭載で昨年に比べ、フレックスとトーションのバランスがマイルドになった感じがした。過剰なリバウンドがなく、乗り手の思いどおりにラインをトレースできる。さらにこのモデルは〈R22〉プレート搭載で、センター付近の強さが際立っている。硬いバーンではしっかりと食いつき、軟らかいバーンでは深層部までエッジが届くようなエッジングが可能になっている。オーバースペックにならないように〈アルファTI〉との選択をスタッフに相談しよう(藤本)

DEMO BETA TI

バランスに優れ高い操作性を持つ一台。スムーズなターン習得をめざすスキーヤーに!

NX12 KONECT　¥123,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
159	14	121-72-107
167	14	121-72-107
173	14	121-72-107

167cm = 2,925g(1/2セット)

ターンサイズ	小				大
スピードレンジ	低				速
安定感	普通				高
操作性	普通				高
おすすめ度	★	★	★	★	

●第一印象は"軽快なスキー"。全体的なバランスに優れ、非常に高い操作性を持ったオールラウンドモデル。ポジションが多少遅れても、円くきれいなターン弧が描ける。上位機種同様、ターン中の推進力も感じられるが、スキーに置いていかれる感じは少なく、軽快さの中に切れと安定性も兼ね備えている。ラディウスが14mで回転性も高く、ターンの導入も容易で、余裕を持って次のターンへ身体を運んでいくイメージをつかみやすい。スムーズなターンの習得や、レベルアップをめざす幅広いレベルのスキーヤーにお薦めしたい一台(佐々木)

●今季のロシニョールはモデルチェンジされているため、昨年とは少し違う乗り味を感じることができた。このモデルは〈LCT〉を採用している。そのため、ターンサイズを小さくしてクイックな動きをしてもスキーがまったくバタつかず、なめらかにターンを描くことができる。またエッジングに関しても、ハードバーン時に瞬発的にかけても跳ねることがなく、推進力に変えていくことができるので、非常に高いパフォーマンスを発揮することできる(君島)

異なる硬さの素材を同時に注入する〈デュアルコア〉がワールドカップブーツにも採用。パワー伝達、軽さ、粘り感をさらに向上した第2ステージのラング

快適性と操作性を両立したエキスパートブーツ

WORLD CUP ZJ+

¥97,000+税
サイズ:22.5~29.5cm(1cm刻み)
ラスト:92mm+
フレックス:130

WORLD CUP ZA+

¥97,000+税
サイズ:22.5~29.5cm(1cm刻み)
ラスト:92mm+
フレックス:140

WORLD CUP ZA

¥97,000+税
サイズ:22.5~29.5cm(1cm刻み)
ラスト:92mm
フレックス:140

RS 120 S.C.

¥78,000+税
サイズ:21.0~28.5cm(0.5cm刻み)
ラスト:97mm
フレックス:120

RS 110 S.C.

¥70,000+税
サイズ:21.0~28.5cm(0.5cm刻み)
ラスト:97mm
フレックス:110

FISCHER

RC4 W.C. SL CURV BOOSTER M&W

SLスキーで定評のFISCHER。あらゆるテスターに支持された最速スキー

RC4 Z18 FF　¥180,000+税
RC4 Z17 FF　¥166,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
155	SECRET	SECRET
158	SECRET	SECRET
165	SECRET	SECRET

165cm＝3,480g(1/2セット)

グリップ力	普通				高
安定感	普通				高
操作性	普通				高
回転性	普通				高
おすすめ度	★	★	★	★	★

●今季のフィッシャーは、持ち味である操作性の高さとスムーズな回転性を強く感じる。ターン始動から切りかえるまでなめらかに移行することができるため、スキーを過度にずらしたりする必要がなく、ミスのリスクも少ない。操作性、回転性だけでなく、なめらかに滑ることができるため、安定感もしっかりとある。しかし、乗りやすいが故に緩斜面、急斜面を同じ雪面コンタクト、ボジションで滑ってしまうとタイムロスにつながるので、状況に応じての対応が必要になってくるのではないだろうか。滑りにしっかりとメリハリをつけて滑ると、コンスタントに好タイムを記録することができるだろう(君島)

●毎年安定して高評価のフィッシャースキー。一番の持ち味は「ターン前半の雪面に対する張り付き」。個人的にも他メーカーと比べてもその部分は推している部分で、しっかりとSLゲートの中で、ずらさないターンを自動的に導いてくれる。乗り手の舵とりも楽で、ターン弧の調整もしやすく、インターバルや振り幅の変化にも対応しやすい万能スキー。失敗を恐れずに思い切ってゲートアタックできる一台である(丸山)

●エッジグリップと回転力の良さ、バランスがとても優れているので、非常に簡単にターンができる。操作性の軽さはテストスキーの中で一番であり、リカバリー動作もする必要がないほど簡単に滑ることができる。むずしいセッティング、急斜面など、困難なシチュエーションほど頼りになるのではないだろうか。これでうまく滑れないのは問題あり?(宮下)

RC4 W.C. GS CURV BOOSTER MASTERS

昨年好評のマスターズスキー。今季もタイムアップ確実なスキー

RC4 Z18 FF　¥180,000+税
RC4 Z17 FF　¥166,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
183	23	SECRET
189	27	SECRET

183cm＝3,845g(1/2セット)

グリップ力	普通				高
安定感	普通				高
操作性	普通				高
回転性	普通				高
おすすめ度	★	★	★	★	★

●とにかく癖がなく、スピードを上げていくことのできるスキーだった。回転力の高いスキーは、比較的横方向への移動がスムーズなことが多いが、しっかり縦方向にも力が集まってくる。ターン前半の操作性がとにかく軽快で、大きなミスも比較的簡単にリカバリーができた。クイックな操作からゆったりした操作まで、乗り手の意のままにコントロールすることができる。リカバリーも容易だが、何よりミスを減らしてくれるだろう。マスターズレーサー、レベルアップをめざすジュニアレーサーの最高の武器になること間違いなし!(可児)

●フィッシャーの大きな特性である癖のない「トータルバランスの良さ」は、今季モデルも受け継いでいる。乗り手を選ばず、幅広いレーサーに受け入れられる、さすがフィッシャーというモデル。内部構造の変化により単純に硬くなったというより、足元のグリップ感やエッジングのシャープな感じなどスキー全体の強さ。安心して身を任せていけるモデルで、個人的にマスターズモデルの中ではサロモンと同様にNo.1である(松浦)

●回転性・安定感・グリップ力・操作性など、どれを取っても高評価のマスターモデル!　構造変更によりフレックスが昨年モデルより少し強くなり、よりレーシングモデルとして進化した。滑走中にライン修正も容易にでき、自在にコントロールできるので、完走率が上がることは間違いなし。普段からフィッシャースキーを履き、今回いろいろなスキーをテストしたが、あらためて癖のないバランスの取れた素直なスキーに感じた(高橋)

RC4 W.C. GS CURV BOOSTER M&W

高い回転性と安定性を併せ持ち安定したタイムを出せる女子GSモデル

RC4 Z18 FF　¥180,000+税
RC4 Z17 FF　¥166,000+税

MEN

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
188	30	SECRET
193	30	SECRET

WOMEN

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
183	30	SECRET
188	30	SECRET

188cm＝3,690g(1/2セット)

グリップ力	普通				高
安定感	普通				高
操作性	普通				高
回転性	普通				高
おすすめ度	★	★	★	★	

●女子用のGSスキーなので、男子のGSスキーより若干フレックスが軟らかく、操作性やスキーの柔軟性がやさしく感じ、非常にイメージどおりにターンが作りやすい。スキーの動きがアグレッシブではないので、当然、身体のバランスや操作が安定し、余裕を持った状態で常にターンできる感覚は秀でていると思う。これならハイスペックであってもレース初心者から上級者のレーサーまで幅広く対応でき、安定したタイムをたたき出せると思う。特に非力な方やR30に自信がない方にお薦めしたい(富井)

●テストモデルは188cmの女子用だったが、ファーストインプレッションはすごく軽快で、R30と思えないほどの回転力を感じた。構造の変更によりスキーが硬くなったようだが、それがスキーの強さになり、安定性能も増したように感じた。高い回転力に安定性能がプラスされ、まさに良いとこ取りのパーフェクトなスキー。188cmに関してはボリュームサイズになると思われるが、男性だからメンズモデル、女性だからウーマンズモデルと区切るのではなく、自身のレベルに合わせてそれらをチョイスできるのも魅力のひとつである(上野)

RC4 THE CURV DTX

乗りやすさと安定感の融合。幅広いテスターから支持

RC4 Z12 GW ¥128,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
157	12	122-70-103
164	14	121-70-106
171	16	121-72-106
178	17	120-72-104

164cm＝2,940g(1/2セット)

ターンサイズ	小				大
スピードレンジ	低				速
安定感	普通				高
操作性	普通				高
おすすめ度	★	★	★	★	

●重量のみならず、操作性においても非常に軽く感じるこのスキーは、安定感もあり、バランスの良い作りとなっている。特に操作性の軽さを感じるのは、荷重してスキー自体がたわんでから、そのたわみを生かしてターン後半にスキーが戻ってくる運動である。その戻りの運動が強くもなく、弱くもなく、心地よいタイミングと強さなので、切りかえ動作もしやすいものとなり、ゆえに軽快さを感じる。165cmのサイズでも、小まわりから中まわりのターンサイズコントロールができ、非力なスキーヤーでも扱いこなせる一台となっている(伊東)

●エッジグリップ力、スキーの抜け、安定感と、どれを取っても万能なオールラウンドモデル。ロングからショートまで、どんなターンサイズでも常にスキーが仕事をしてくれるオートマチック感を味わうことができる。スキーを履いた瞬間は軽さが印象的で、テストをする前はスピードへの不安感があったが、いざ滑ってみると素早い反応とハイスピードでもブレないグリップ力の高さが非常に好印象となった。ズレや切れのコントロールもしやすく、幅広いスピードレンジにも対応してくれる。一台でいろいろなターンを楽しみたい方にはもってこいのスキーとなっている(須川)

RC4 THE CURV CURV BOOSTER

プレートの変更で操作性がアップ!軽快な動きがしやすく小まわりやコブで性能を発揮

RC4 Z13 FF　¥150,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
164	13	124-72-109
171	15.5	121-72-106
178	18	120-74-104
185	21	118-74-102

164cm＝3,405g(1/2セット)

ターンサイズ	小				大
スピードレンジ	低				速
安定感	普通				高
操作性	普通				高
おすすめ度	★	★	★	★	

●プレートが新しくなりオールラウンド性が非常に広くなったように思える。滑っていく中でのオールラウンドという点はもちろん、乗り手の対象の幅も広がったというところも含め、そう思える。昨年のモデルはグリップが良く、どっしりとした印象だったが、プレートの変更により、スキーを動かす操作がとてもしやすく軽く感じられるものになり、軽快な動きにも対応してくれるようになった(久保田)

●全体的な滑走フィーリングは軽快に滑れる一台。低速域から中速域までの取り扱いは非常に良い。若干トップ部分が軟らかく、スキーが抜けていくときのポジションをひと工夫すると、しっかりと回転スピードが上がってシャープなターンが仕上がるだろう。プレート変更のためセンターからテールまでグリップ感が感じられるが、逆に対象レベルの幅は広がったと思われる。特にショートターンが苦手な方や、コブに苦手意識を持っている方に試してもらいたい(村松)

RC4 THE CURV TI

さまざまなコンディションのなかで安定したなめらかなターンを楽しめる軽量な一台

RC4 Z11 GW　¥100,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
150	11.1	119-68-100
157	12.4	120-68-101
164	13	121-68-102.5
171	15	120-70-103
178	17	119-70-102

164cm＝2,885g(1/2セット)

ターンサイズ	小				大
スピードレンジ	低				速
安定感	普通				高
操作性	普通				高
おすすめ度	★	★	★	★	

●終始軽さが感じられる、コストパフォーマンスに優れたオールラウンドモデル。非常に少ない力で簡単に綺麗なターン弧をつなぐことができ、雪面状況を選ばず、安定感のあるなめらかなターンがなんとも心地よい。斜面や雪質に合わせてターンサイズやスピードの調整も可能なので、終始力まず楽しめる。ズレの多いターンでは高い操作性を発揮し、カービングターンでは安心してたわませられる安定感を感じられる。華麗に滑りたい方、検定をめざす方にお薦め(大場)

●ショートターンからオールラウンドに対応でき、イージードライブでターンを楽しめるスキーです。自らの仕掛けに素直に応えてくれ、癖がありません。ハイスピードでもゆとりのあるスキー操作と、しっかりとたわみに結びつけるバランスがすばらしい。オンピステを中心にオフピステやコブ斜面にも対応できるマルチなタイプ。安定した技術習得、準指・指導員を受検される方にもお薦めです。(斉藤)

国内外で実証されたレーシング性能。このブーツの基本はカスタマイズを施すこと。トップレーサーのリクエストに応えるためのレーシングブーツ

RC4 PODIUM 130

¥105,000+税
サイズ:22.5~28.5cm(1cm刻み)
ラスト:92mm
フレックス:130

上質素材のインナーが抜群のフィット感を可能に

RC4 PODIUM 110

¥92,000+税
サイズ:22.5~28.5cm(1cm刻み)
ラスト:92mm
フレックス:110

OGASAKA

TC-SA　小まわりから大まわりまで対応。幅広い層に幅広いターン弧を可能に

●非常に重たい雪質だったが、やはりバタつかず、スピードにも強いスキーだった。ターン中から切りかえ時まで、全体的になめらかで、しっとりとした乗り心地のスキー。スウィートスポットが広い印象があり、ポジションがずれても助けてくれる、強さの中に優しさを持っている一台。サイズレンジ、プレートの種類も豊富で、チョイスしだいで幅広いスキーヤーのニーズに応えてくれる。良い意味での適度な張り感があり、硬いバーンでもその威力を発揮してくれそう。パワーに自信のない方にもお薦めしたい（佐々木）

●芯材の軽量化により、昨年モデルのむずかしいスキーのイメージを一新、軽さはあるが戦闘力の高いスキーに仕上がっている。ショートターンはもちろん、リズム変化のスムーズさが秀逸。マテリアル規制の種目にもしっかり対応しているところが、まさに日本のメーカーの強みなのではないだろうか。オガサカスキーの特徴のひとつ、プレートを選択することができるので、女性や体重の軽いスキーヤーは〈FL〉プレート、競技志向の強いスキーヤーには〈GR〉プレートがお薦め（橋山）

●操作性や回転力は健在、昨年からのフルサンドイッチ構造でグリップ力や抜け出しの良さが際立つ。昨年の〈SC〉に比べ、芯材を軽量化したことで少しマイルドになった。対象スキーヤーの幅が広がり、完成度の高いショートターンベースのスキーに仕上がっている。さらにロング、ミドルでもスキーがたたかれることなく、ターン弧の変化や調整がしやすいので、総合滑降（フリー）の滑りの質をワンランク上のものにしてくれる（藤本）

動画もCheck!

GR585　¥124,000+税
FL585　¥120,000+税
FM600　¥113,800+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
155	11.3	120-67-101
160	12.1	120-67-101
165	12.9	120-67-101
170	13.8	120-67-101

165cm＝3,415g（1/2セット）

ターンサイズ	小				大
スピードレンジ	低				速
安定感	普通				高
操作性	普通				高
おすすめ度	★	★	★	★	

TC-LA

ターンサイズを自由自在にコントロールできさらにスピード性能がアップした大まわり専用モデル

GR585　¥129,000+税
FL585　¥125,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
177	21.7	108-67-89.5
182	23.0	108-67-89.5
187	24.4	108-67-89.5

182cm＝3,715g（1/2セット）

ターンサイズ	小				大
スピードレンジ	低				速
安定感	普通				高
操作性	普通				高
おすすめ度	★	★	★	★	

●足元のバランスが非常に取りやすい。スキー全体がたわむような感覚で、ターン始動がしやすく、スキーが抜けるまで癖のないなめらかな動きをしてくれる。ロング系のスキーといえど、さまざまなターンサイズを自由自在にできるかのような回転力だ。多様な雪面でも対応できるその安定さは、滑っていて安心感が生まれる。なめらかでスムーズにターンをつなげられるスキーというのが一番の印象。全体的にマイルドな感じの中に、切れの良い走りもあるので、スピードと操作性、スピードコントロールが求められる総合滑降をするには絶対にお薦めの一台（永坂）

●全日本スキー技術選でオガサカチームの足元を支えた大まわり専用のスキー。前年度モデルに引き続き高評価である。今季はバランス、ブーツセンター、構成材の配置、アーチベンド、強化材の厚さを変更し、乗りやすさとターン後半の走り、ターンスピードがさらに向上。大まわり専用のスキーはむずかしいイメージが強いが、今季のこのスキーは扱いやすさも付け加えられ、大会などに参戦する方には強力な武器になること間違いなし!（村松）

KS-RT

定評の操作性と安定感に軽さをプラス。さまざまな条件で高いパフォーマンスを可能にする

FL585　¥115,000+税
FM600　¥108,800+税
TYROLIA PRD12　¥125,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
155	13.1	118-69-99
160	14	118-69-99
165	15	118-69-99
170	16	118-69-99

165cm＝3,445g（1/2セット）

ターンサイズ	小				大
スピードレンジ	低				速
安定感	普通				高
操作性	普通				高
おすすめ度	★	★	★	★	★

●今季の〈ケオッズ〉シリーズは「軽い」「なめらか」「軟らかい」が第一印象。もともと操作性に長けていたスキーだが、今季さらに軽量化することにより、より扱いやすさが増した。軽い中でもこれまで同様の安定感があり、重心の落下に確実についてきてくれるところや、失敗が少なく、流れのあるターンを連続して行なうことができる〈ケオッズ〉の良さは健在である。これまでの操作性と安定感に加えて軽さが出たことで、雪面条件が悪くなればなるほど力を発揮する仕上がりとなった。競技、検定での活躍は間違いないだろう（大場）

●上位モデルのテクノロジーをフィードバックした拡張性に優れたオールラウンドモデル。雪面抵抗の感じ方はとてもソフトで、操作性に優れていて、コントロールやターンサイズの調整がとてもやさしいです。効率良くパワー伝達を確実なものにし、粘りあるシャープな雪面コンタクトで、しっかりと円いターン弧を連続させてくれます。ターンが一発で決まるイメージは抜群と言えます。乗り味も心地よく、軽快な滑りを生み出します。スウィートスポットが広く、さまざまなコンディションの中でも高いパフォーマンスを実現するための対応力があり、ターン前半の雪面コンタクトがとてもやさしく行なえることが特徴です。クイックからスローまでコントロールが容易なので、不整地でも力を発揮できるモデルです（斉藤）

U-OS/2　軽さと操作性、そして安定感がバランスしたコンフォートモデル

●驚かされるのはその軽さ。手に持っても軽く、滑走時は操作性バツグン。特にソフトな雪質のときに力を発揮してくれそう。やさしい乗り心地のスキーで、癖もなく、初心者や初級者、女性でも安心。サイズレンジも150cmから170cmまで、5cm刻みと豊富で、スキーヤーに合わせた長さをチョイスできる。強烈なスキーの走りや切れの感覚は弱めだが、コントロール性が非常に高く、確実で快適な操作性が最大の魅力。新たなレベルへのチャレンジや、新しい技術の習得をめざすスキーヤーにお薦めしたい、バランスに優れたコンフォート・オールラウンドモデル（佐々木）

●オガサカのスキーの中でも一番軽量感と操作性、安定感が両立しているモデルのように感じた。軽量でありながら高速域に達した際もバタつくことがなく、なめらかにスキーが進んでくれる。また幅も〈ケオッズ〉などと比べて広いので、スキーを面で踏む感覚が非常につかみやすい。したがって自身が思い描いたタイミングでスキーをずらすことができたり、基礎技術の向上につなげることができるのではないだろうか。これから先、まだまだ技術を向上させたい方や女性の上級者などにぜひ乗っていただきたい一台（君島）

動画もCheck!

FDT TP10　¥90,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
150	12.1	119.5-73.5-103.5
155	13.4	119.5-74.5-103.5
160	14.8	119.5-75.5-103.5
165	16.3	119.5-76.5-103.5
170	17.9	119.5-77.5-103.5

160cm＝2,340g（1/2セット）

ターンサイズ	小				大
スピードレンジ	低				速
安定感	普通				高
操作性	普通				高
おすすめ度	★	★	★		

KS-CT　中低速域で抜群の操作性を発揮する軽量オールラウンドスキー

●履いた瞬間、軽い！　という印象を強く受けた。ノンメタルのスキーだが、足元がしっかりしているので悪雪でも安心してターンを描くことができ、繊維素材の特性である心地よいスキーの跳ね返りを感じることができるので、ショートターンが苦手な中級スキーヤーにお薦め。ずらし、切れのバランスが良いスキーなので、プライズテストでは他と差をつけるための強い武器になるだろう（橋山）

●今季新しくなった〈ツインキール〉構造の〈ケオッズ〉シリーズ。とにかく持った瞬間に「軽い！」とつい言ってしまうほどの軽量スキーで、滑走時の安定感など不安な印象を受けたが、実際に滑ってみるとトップからテールまでスキーのたわみを感じられ、中低速では抜群の操作性。〈KS-RT〉のメタルなし軽量モデルというだけではなく、テール幅を広くしていることで、ターン後半の雪面のとらえ、グリップ性をアップさせていて、小まわりが苦手な中上級スキーヤー、特に女性やパワーに自信のないスキーヤーにお薦めの一台。もっと軽量なスキーを求められる方、ジュニアで大人の級別検定をめざす方は、軽量ウッドコアを使用した〈KS-CT〉をどうぞ（久保）

PRD11 GW　¥97,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
155	12.3	117-68-102
160	13.1	117-68-102
165	14.1	117-68-102
170	15	117-68-102

165cm＝3,415g（1/2セット）

ターンサイズ	小				大
スピードレンジ	低				速
安定感	普通				高
操作性	普通				高
おすすめ度	★	★	★		

VECTOR GLIDE

MAXI M25 日本の雪質にマッチした乗りやすくてタイムアップ確実なマスターズモデル

動画も Check!

スキーのみ ¥120,000+税
WC PCIF+XCELL 16 ¥165,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
186	25	102-67-89

186cm = 3,625g(1/2セット)

グリップ力	普通				高
安定感	普通				高
操作性	普通				高
回転性	普通				高
おすすめ度	★	★	★	★	★

●レーシングスキーとしてはあまり馴染みのないブランドかもしれないが、BCやフリースタイルでは老舗ブランド。国産ならではの乗りやすさはレーシングスキーとしてのポテンシャルも高い。縦、横どちらの方向に対してもスキーがよく動き、乗り手主体でコントロールし続けられる。滑った印象があまりに簡単だったのでタイムは期待しなかったが、海外ブランドと同等、それ以上のタイムで滑ることができたのは驚いた。ライバルに差をつけたい方はぜひ一度試していただきたいスキーです。

あまり市場に出まわらないスキーですが、間違いなく今季注目のスキーです(可児)

●186cmという長さをまったく感じなく、回転性能も充分、高速ターン中のゲートも縦方向へ安心して攻めていけるハイモデルである。他のブランドと比較しても総合的に高く、スキーとバインディングのマッチング、スキーの長さとRのバランスがすばらしく絶妙だと感じた。先入観なくテストができたことで、新たな発見ができた(松浦)

MAXI G30 高い回転性と軽快な操作性が魅力。人とは違う一台を求めるレーサーに

スキーのみ ¥120,000+税
WC PCIF+XCELL 16 ¥165,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
193	30	102-65-82

193cm = 3,845g(1/2セット)

グリップ力	普通				高
安定感	普通				高
操作性	普通				高
回転性	普通				高
おすすめ度	★	★	★		

●シンプルなデザインがレースラインナップの中で際立ち、格好良い印象を受ける。ターン前半は程よく雪面をとらえ、外力が強くなってきてもグリップもしっかりあり、たわみも綺麗に出る。変な癖もなく、非常に軽快で、素直な動きにストレスを感じない。BCブランドではあるがレースに必要な要素をしっかり組み込み、他社にけっして引けを取らないレベルのスキーに仕上がっている。ビギナーでもちゃんと扱えるし、人と違ったスキーを履きたい人にはぜひベクターを推したい(富井)

●ファットスキーやバックカントリーシーンの有名ブランドが本気で作ったR30対応スキー。どんなスキーだろうと半信半疑で乗ったが、非常に軽快で、高い回転力で、戦闘能力の高さを感じた。少しハイスピードでスキーがバタつく場面があったが、それでも足場が安定に崩れることもなかった。爆発的な速さは感じないが、癖がなく非常にバランス性能が高いスキー。後発ブランドとは思えないスキーなので、ひと味違ったものを求めているスキーヤーにお勧めの一台(上野)

●昨年からの継続モデル。軟らかそうなフレックスが不安な印象を受けたが、滑り出すと非常に高い回転性と軽快な操作性で、ライン取りが自由自在。若干前よりなセッティングでテールが長く感じるが、ターン後半のグリップ力、切れ、ターン中の安定感も抜群。リカバリーもしやすいので、いろいろなコースセット、あらゆるレベルのレーサーが日本の独特なバーンコンディションに対応しやすいジャパンメイドスキー。爆発的なタイムはむずしいかもしれないが、トータルで安定した滑りを求めるレーサーにお薦め(久保)

MAXI S13 コンスタントにタイムがねらえる扱いやすさが特徴のSLモデル

スキーのみ ¥120,000+税
WC PCIF+XCELL 16 ¥165,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
165	13	111.5-66-103

165cm = 3,495g(1/2セット)

グリップ力	普通				高
安定感	普通				高
操作性	普通				高
回転性	普通				高
おすすめ度	★	★	★	★	

●ヴェクターグライドからのSL対応モデル。さまざまな状況下において、理想の滑りに導くというコンセプトのもと制作されたこのモデルは、最初の印象としてはとても扱いやすい。自然を相手に戦わなければいけないスキー競技において、扱いやすいということはとても重要なファクターである。扱いやすければ自身で思い描くラインに入ることができ、正しい位置からスキーを踏むことができる。それによりミスをするリスクを回避することができ、コンスタントにタイムを出すことにつながる。

扱いやすいSL対応のスキーが欲しいという方にぜひ乗っていただきたい一台!(君島)

●このスキーのサイドカットは、他メーカーとちょっと異なり独特の印象を受けた。全体的にしなやかで、デモモデルのように強い反応を適度に吸収してくれる性能を持っている。スキーが暴れることなく、落ち着いてアタックしていくことができ、パワーがないレーサーにも適したスキーである。国内のレーサーの意見を取り入れ、日本の雪との相性も絶妙(丸山)

ELAN

SLX FUSION スキーヤーの動きに素直に対応。何でもこなせる万能スキー

動画も Check!

ELX12.0 ¥130,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
155	11.1	119-68-102
160	12.1	120-68-103
165	12.8	121-68-104
170	13.5	122-69-105

165cm = 3,455g(1/2セット)

ターンサイズ	小				大
スピードレンジ	低				速
安定感	普通				高
操作性	普通				高
おすすめ度	★	★	★	★	

●まわりすぎる、反応が良すぎる、強すぎるなどといったことがなく、自分がしたいことを素直にさせてくれる癖の少ないモデル。スキーの上での前後左右へのバランスのスポットが広く、少々ポジションが崩れてもスキーはしっかりと反応してくれる。ショートターンベースのスキーで小まわり専用としてはもちろん、オールラウンドスキーとしても十分に満足できるスキーとなっている(久保田)

●第一印象は、まず癖がない素直なスキー! 他の同等クラスのスキーに比べてプレートが薄く感じるが、〈キャンバーカーボンプレート〉を配することにより、しっかりとしたグリップとレスポンスを感じることができる。それに加えトップ部の厚さを変えている〈アローテクノロジー〉によりしっかりとらえてターンに入るが、後半部でエッジが噛みすぎることがなく、ターン弧の調整が非常にしやすくなっている上級以上のスキーヤーにお薦めしたい一台(橋山)

AMPHIBIO 14 Ti FUSION エッジグリップの高さと抜群の操作性を持つ取り扱いやすいスキー

ELX11.0 ¥100,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
160	13.3	121-73-104
166	14.5	121-73-104
172	15.7	121-73-104
178	17.0	121-73-104

166cm = 2,995g(1/2セット)

ターンサイズ	小				大
スピードレンジ	低				速
安定感	普通				高
操作性	普通				高
おすすめ度	★	★	★		

●ターンのきっかけを作るのが、本当にやさしいスキーというのが第一印象。軽いスキーという印象もあり、取り扱いやすいスキーである。また、ターンのクオリティでも多面性を持っている。ずらしたり、カービングしたりというコントロールにも長けており、1本でコブ〜ミドルターンまでしっかりとコントロールできる。高速安定性よりも低速からの操作性を重視したようなフィーリングもあり、検定種目に挑戦する方々にも最適な1本となるだろう(伊東)

●インエッジにキャンバー、アウトエッジにロッカーという左右非対称の〈アンフィビオ〉構造を取り入れることによって、ターン中、外足は雪面をしっかりととらえ、内足は舵とりを自在にしている。乗った印象としてもエッジグリップの高さと抜群の操作性を感じることができる。スキー自体のウェイトの軽さも操作性を上げているひとつの要因だ。一定の乗り位置でもスキーがオートマチックにターンを始めてくれるため、ポジションを改善できずに悩んでいる方や重心移動が苦手な方にはお薦めの一台だ(須川)

GSX WC PLATE 幅広いレベルのレーサーに合う操作性の高いGSモデル

ER 17.0FF ¥155,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
188	≧30	SECRET
193	≧30	SECRET

193cm = 3,800g(1/2セット)

グリップ力	普通				高
安定感	普通				高
操作性	普通				高
回転性	普通				高
おすすめ度	★	★	★		

●ここ数年で一番良い印象を持った一台。以前は初速がないと曲がりづらかったり、雪質がソフトだとスキーが逃げてしまう感じだったが、このモデルは初速がない場面でも曲がりやすく、操作性がとても良く感じられる。トップの遊びも程よく、グリップさせたいタイミングに身体のアクションを起こせば素直に反応してくれるので、非常に良い印象だ。わりとレベルが高くなくてもコントロールでき、幅広いレベルのレーサーに対応できるスキーだ(富井)

●第一印象は重厚感があり張り付くスキーだと思っていたが、滑り出したら193cmとは思えないほど回転性が良く、操作性、安定感、エッジグリップが高い次元でバランスが取れている。昨年よりもスキーのたわみ、弧を感じやすく、ターン後半から切りかえ、そして次のターン前半に向けての走りが良く、次のターンのとらえも早い。バーン状況が多少悪くても、まったく感じさせないほどの安定感で、下へ下へとスキーを向けていくことができる。今回試乗した中で上位に入る一台(久保)

SLX WC PLATE 積極的なスキー操作がタイムにつながるSLモデル

ER17.0FF ¥155,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
157	≧11.5	SECRET
165	≧12.6	SECRET

165cm = 3,475g(1/2セット)

グリップ力	普通				高
安定感	普通				高
操作性	普通				高
回転性	普通				高
おすすめ度	★	★	★	★	

●すべての項目において高い次元で整った一台。特にターン後半の安定感には目を見張るものがある。ターン前半に強いエッジングをしてしまっても、雪面から飛ばされることがなく、始動から終わりまで安定したターンに導いてくれる。自身からアクションを起こしていかないとタイムの向上にはつながらないので、ターン前半、自身からしっかり乗り込んでいくように意識していくと、完成度が高いターンに仕上がるのではないだろうか(君島)

●本気の一台。車で言えばマニュアル車という印象で、滑り手の積極的なスキー操作がタイムの良し悪しに影響する印象を受けた。ややラインが下に落ちていくので、深いターンや細かいセッティングには自身のコントロールが求められる。タイミング、リズムが取りやすいので、余裕をもってゲートを滑れることがこのスキーの強み。動きの大きいレーサーにマッチしそうなスキー。シビアさはあるがぜひチャレンジしていただきたい(丸山)

REXXAM

マットなデザインに変更され軽量化にも成功。〈パワーレックス〉シリーズがいよいよ熟成度を増して登場

インナーの変更で履きやすさがアップした上級ブーツ

PowerREX M110

¥82,000+税
サイズ：22.0~28.5cm
ラスト：98mm
フレックス：110

PowerREX M120

¥88,000 +税
サイズ：22.0~28.5cm
ラスト：98mm
フレックス：120

PowerREX M100

¥76,000+税
サイズ：22.0~28.5cm
ラスト：98mm
フレックス：100

PowerMAX 100

¥72,000+税
サイズ：22.0~28.5cm
ラスト：98mm
フレックス：100

PowerMAX 95

¥66,000+税
サイズ：22.0~28.5cm
ラスト：98mm
フレックス：95

SAJ30承認第00766号

Point.1 樹脂

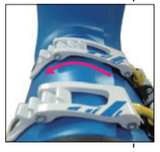
金型改造で樹脂の流動性がアップして樹脂本来の粘りを発揮

レクザム・スキーブーツがシェル素材に使用しているエーテル系ポリウレタン、本来は粘りがあり、しなやかな弾性と優れた低温特性をもつ樹脂です。この本来の樹脂の特性を最大限に発揮させるため、樹脂のブレンドを見直すとともに、成型時における樹脂の流動性を高めるために、金型表面の全体にヘアライン加工を施すとともに、エア抜きのより適切な配置などの金型修正を実施しました。

開発テストに参加した選手のコメント

竹田征吾　SAJ ナショナルデモンストレーター
しなやかさが増して、スムーズな動きができる。

徳竹　剛　SAJ ナショナルデモンストレーター
シェルにすごく粘りを感じる。



Point.2 バックル

新型フックでシェルの巻き込みバランスがアップ

甲部分を締める第2フックに、甲の形状に合わせた曲率の新形状を採用。シェルがスムーズに巻き込むことで、より良好なフィットが得られます。またFLEX110 以上のモデルにおいては、樹脂のしなやかさがアップしたことに合わせて、ブーツの剛性を高めるコルサ型のRX-B バックルを採用。

開発テストに参加した選手のコメント

佐藤久哉　SAJ ユースチームコーチ
インサイドの壁を保持できるため、しっかりと踏み込める。

武田　力　SAJ ナショナルデモンストレーター
甲の高さを維持しながらバックルを締めることができる。

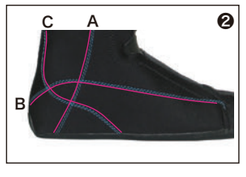
Point.3 インナーブーツ

BX-H inner
カカトの収まりとパワー伝達の向上を追求

❶カカト部インナー形状をより足型に忠実に再現。足がしっかりとインナーに収まります。
❷タング部にコシのあるパッドを追加。パワー伝達をよりダイレクトかつスムーズにします。
❸インナーツマ先部分にワイズ調整機能を高めるスリットを採用。

BX-S inner
軽量で快適で暖かい JUST FIT インナー

❶インナー外皮に軽量で伸縮性のある素材を採用。
❷インナー外皮にミシンのステッチラインを施し、インナーの自然な巻き込みを誘導。
A. 甲から屈部にかけての巻き込みを誘導するステッチ
B. 足首からスネにかけての巻き込みを誘導するステッチ
C. アキレスから足首部分のホールドをサポートするステッチ
❸インナーツマ先部分にワイズ調整機能を高めるスリットを採用。



CX-SS inner
ツマ先に余裕を設定、熱成形も可能な快適CONFO-REX インナー

❶ツマ先部の親指部分を伸ばし、人間の足型に近いオブリーク形状を採用。
❷ツマ先上部をより鋭角な形状で仕上げ、爪部分の当たりを解消。

ISG石井スポーツグループ × SIDAS

ウェブ上でフィッティングを確認。〈FEETBOX® 3D〉がもたらす近未来のスキーブーツ選びとは?

スキーのもっとも重要なマテリアルと言っても過言ではないスキーブーツ。だから、ブーツを選ぶ際には、ブランドやモデル、サイズ違いのものを履き比べるのが一般的だ。だが、そんなブーツ選びを一変させるものが登場した。今季からシダスが取り扱うコーパス社の〈FEETBOX 3D〉が、それだ。ISG石井スポーツグループがシダスとコラボした結果見えてきたブーツ選びの近未来の姿を探る。

確かなパワー伝達性や俊敏な反応、快適性など、ブーツに求める性能は、スキーヤーの志向や目的によってさまざま。だが、その前提となるのは、長時間履いていても特定の箇所が当たって痛みが出たりしないフィッティングの良さと言えるだろう。だが、人の足の形は100人いれば100とおりあると言えるほど多種多様。その一方でブーツは平均的な足型をベースに作られている。そのため、店頭でブーツを選ぶ際には、いくつものブランドやモデルのブーツを、場合によってはサイズ違いで履き比べることが普通になっている。そして、自分に合う一足を見つけたあとでも、特定の箇所が当たる場合は、シェル出しや削りなどのチューンナップを施すことが必要になる。そうして手間暇をかけて選んだ一足だからこそ、かけがえのないブーツになるとも言えるが、そこに煩雑さを感じる方も少なくないはずだ。

その煩雑さを軽減してくれるのが、インソールやソックスブランドとしておなじみのシダスが取り扱うコーパス(Corpus-e)の〈フィートボックス3D〉(FEETBOX 3D)とそれを元にする仮想フィッティングシステムだ。

佐藤孝幸
ICI石井スポーツカンダコンペカン

〈フィートボックス3D〉は、足のあらゆる情報を統合させるプラットフォームを備えた精密なスキャナー。それを取り扱うシダスの吉田朋泰は、その特徴を次のように語る。

「〈フィートボックス3D〉の特徴は、足のデータを3D画像にして見せてくれることと、足圧を測ってくれることです。そして、その足のデータを元に、コーパスの中に取り込んでいるブーツをウェブ上で履かせて、フィッティングの具合をみることができることです」

足の測定は非常に簡単だ。専用のソックスを履いて〈フィートボックス3D〉の上に立てば、スキャナーが台の周りを1周して足の写真を撮影。それを統合することで、足からスネにかけての形状を3D画像として見せてくれる。通信環境にもよるが、そのために必要な時間はほんの数分。パソコンの画面上とはいえ、自分の足やスネの形状をリアルな3D画像として見られるのは、それだけでもちょっとした驚き。この時点で足幅やスネ周りの太さなど、足とスネの正確な数値を知ることもできる。

スキーヤーにとって注目すべきは、その次のステージ、ウェブ上でのブーツフィッティングだ。まず、コーパスに記録されているブーツの中から好みのブランド、モデルを選択、そしてサイズを選べば、そのブーツを履いたときの足の状態が画面上に表われてくる。面圧の強い部分は赤や黄色で、面圧の弱い部分は青く表示されるので、そのブーツを履いたときのフィッティングを視覚的に確認することができる。ブランドやモデルによる面圧の差は明確にわかるので、ブーツ選びは格段に簡単になるはずだ。ICI石井スポーツ・カンダコンペカンの佐藤孝幸は、このコーパス社のシステムについて、こう語る。

吉田朋泰 SIDAS JAPAN

「今まで私たちはISGフィットという形で、お客様の足を測って、どこが、どれぐらい当たりそうですねということをやってきました。コーパスのシステムを使うことで、それをしっかりと目に見える形で視覚化できます。そしてチューンナップが必要な場合、ここを重点的に直していきましょうということを、今まで以上にお客様とコミュニケート を取りながら進めていくことができる。このように、今まで感覚でしかなかったものを視覚化できること、そして、お客様とスタッフとの非常に有効なコミュニケーションツールとなることが、このシステムの大きな特徴と言えると思います」

*

コーパス社のこのシステムを使って実際にブーツ選びをするとき、その第一歩となるのはインソール作りだ。人間の足は多くの場合、もともとのナチュラルな状態から外れ、内反したり、回外した状態になっている。その足の状態をインソールを使ってナチュラルな状態に戻してからブーツの中に収めることが、ブーツが本来持っている性能を発揮したり、ブーツの中で足を正確にフィットさせるために必要になるからだ。

実際にどのブランドの、どのモデルにするのかは、コーパスのシステムの仮想フィッティングを元にして選んでいけば良いだろう。主要ブランドのモデルはほぼ網羅されているので、特定の箇所の面圧が強く当たりが出てしまったり、逆に緩すぎてしまうことがない、適正なサイズ、フィッティングの一足を見つけることができるはずだ。

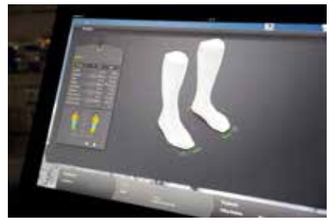
面白いのは、特定のブランドやモデルを決め打ちで購入する場合にも、このシステムが効果的に働くと佐藤が話していることだ。

「たとえばAというブーツだと90%、Bというブーツだと75%、Cというブーツだと60%のフィッティングになるお客様がいるとします。でも、そのお客様の滑りや目的、ブーツの構造などを考えると、Cというブーツがベストな選択になる。そんな場合も、コーパスのシステムでフィッティングした状態を見ることで、ブーツのどの箇所を、どういうふうに直していくのか、チューンナップの方向性をしっかりと理解してもらい、納得してもらったうえで進めていくことができるようになります。それは今までと変わらない部分なのですが、視覚的に目に見えることで、よりその精度が高くなりますし、そのブーツを使ったときのメリットもデメリットも理解したうえで使ってもらうことができるのは大きいと思います」

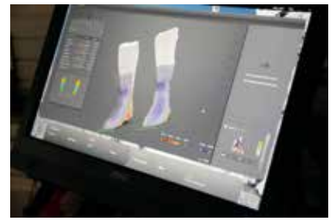
一足のブーツを選ぶために、店頭で何時間もかけて、いくつものブーツを履き比べたりする時代は、コーパスのこのシステムが登場することによって終わりを迎えつつある。驚くべきは、このシステムは今もなお進化を続けているということだ。今はまだ静止した状態でのフィッティングだが、近い将来、ブーツを履いて動いたときにフィッティングがどうなるのかをシステム上で見ることも可能になるという。

近未来のブーツ選びとも言えるこのシステムは、今季、ISG石井グループのみが導入予定。直近では、カスタムフェア有明会場に登場するので、ぜひ体験してもらいたい。

①専用のソックスを履き、〈フィートボックス3D〉で脚の形を測定。ここにかかる時間は数十秒

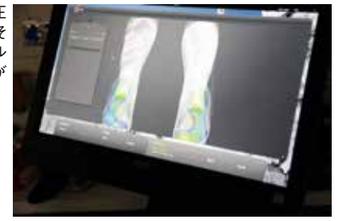


②足のボリュームやレッグアライメントなど、足と脚の正確なデータが表示される



④〈コーパスE〉に搭載されたスキーブーツのデータにアクセスすると、選んだブーツとの相性をパソコン内で視覚化してくれる。赤い部分が圧が強くかかっている場所で、紫色の部分が圧が弱い部分になる

近未来のブーツフィッティングはカスタムフェア有明会場で体験可能!



③足の裏にかかる圧を正確に測定でき、そのデータはインソール作りに活用することができる

SKI

SALOMON S/RACE GS FIS JR

X12 TL　¥107,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
159	18	105-65-87
166	17	106-65-88

レースプレートを搭載した、FIS規格適合モデル！ サロモンらしい扱いやすさと反応の良さで、さらなるレベルアップとライバルを引き離すタイムアップを実現します!

GS

ATOMIC REDSTER G9 FIS J　X12 TL R　¥93,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
152	17	102.5-65-84.5
159	17.3	104.5-65-86.5
166	18.1	106-65-88

FISCHER RC4 W.C. GS JR.　RC4 Z11FF　¥84,000+税　RC4 Z11FF　¥130,000(175/180cm)

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
130	NO DATA	
｝		
180	NO DATA	

NORDICA DOBERMANN GSJ PLATE　RACE10　¥73,000+税　RACE8　¥72,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
135	≧14	102-65-87
142	≧14	102-65-87
149	≧14	103-65-88.5

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
156	≧14	103-65-88.5
163	≧17	105-65-90
170	≧17	105-65-90

HEAD WORLD CUP iGS RD TEAM + Jr.RACE PLATE　FF EVO 11　¥75,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
131	14.2	97-63-80
138	14.2	101-64-84
145	14.2	104-64-87
152	17.2	101-64-85

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
159	17.2	104-64-87
166	18.5	105-65-89
173	21.0	104-65-88

SL

SALOMON S/RACE SL FIS JR　X12 TL　¥107,000+税

X12 TL　¥107,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
152	12	116-65-97

ROSSIGNOL HERO ATHLETE SL PRO (R20 PRO)　NX JR 10　¥74,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
142	10	114-65-99
149	11	115-65-100

ATOMIC REDSTER S9 FIS　X12 TL R　¥93,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
152	11	115.5-65-96.5

VÖLKL RACETIGER SL SPEEDWALL JR.WC + PLATE　*推奨 XCELL12　¥85,000+税　RACE 10 TCX　¥82,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
145	——	113-65-95
150	——	113-65-95

OGASAKA TC-JS　スキーのみ　¥62,000+税　*推奨　SX10+RACE PLATE Jr.　¥79,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
135	8.9	114-64-87
140	9.7	114-64-87
145	10.5	114-64-87
150	11.3	114-64-87

JR.EXPERT

ROSSIGNOL HERO ATHLETE MULTIEVENT OPEN　NX JR 7　¥59,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
125	8	101-64-93
132	9	101-64-93
139	10	101-64-93
146	11	101-64-93

BLIZZARD FIREBIRD SL JR RACING　*推奨　RACE10　¥73,000+税　RACE8　¥72,000+税

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
122	≧9	105-64-90
129	≧9	109-64-94
136	≧10	109-64-94

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
143	≧10	112-65-97
150	≧12	113-65-98

VECTOR GLIDE NANO & NANA

サイズ(cm)	ラディウス(m)	サイドカット(mm)
118	10.4	94-64-84
130	10.1	112-76-102
150	12.5	115-75-105
160	15	125-85-110

*160cm以外、バインディングセット
¥21,500(M4.5)+税(118cm)
¥25,500(M7.0)+税(130cm)
¥26,000(M7.0)+税(150cm)
¥50,000(スキーのみ)+税(160cm)

BOOTS

Junior Sieger

Jr.RACING

ATOMIC REDSTER CLUB SPORTS 90LC

¥59,900+税
サイズ:21.0／21.5～27.0／27.5cm
(1cm刻み／サイズダウンアジャスター付き)
フレックス:90

NORDICA DOBERMANN GP90

¥53,000+税
サイズ:21.5～27.5cm(1cm刻み)
フレックス:90

SALOMON S/RACE 90

¥60,000+税
サイズ:22.5-26.5cm(1cm刻み)
フレックス:90

細めのラストでしっかり足をホールド。しなやかなフレックスが 動きを妨げない、まさにジュニアレーサーを足元から支えます

LANGE RS90 S.C.

¥51,000+税
サイズ:21.0～28.5cm(0.5cm刻み)
フレックス:90

HEAD RAPTOR 90

¥58,000+税
サイズ:22.0～26.0cm(1cm刻み)
フレックス:90／80

TECNICA FIREBIRD 90

¥53,000+税
サイズ:UK 3 1/2～8 1/2
フレックス:90

DALBELLO DRS 80 LC

¥50,000+税
サイズ:22.5～27.5cm
フレックス:80

Jr.EXPERT

ATOMIC REDSTER CLUB SPORTS 70LC

¥49,900+税
サイズ:21.0／21.5～26.0／26.5cm(1cm刻み/サイズダウンアジャスター付き)
フレックス:70

REXXAM LIVE'70

¥36,000+税
サイズ:22.0～24.5cm
フレックス:70

NORDICA DOBERMANN GP 60

¥30,000+税
サイズ:18.5～27.5cm
フレックス:60

LANGE RSJ65

¥28,000+税
サイズ:19.0～27.5cm(0.5cm刻み)
フレックス:65

石井スポーツの ジュニアスキーへの取り組み

岡部哲也&石井スポーツ ジュニアアルペンカップ

元アルペンナショナルチーム、岡部哲也がプロデュースするジュニアナスターレース。年々白熱するレース展開、その中でも親子が熱い！　親の格好良いところを見せるチャンス!!　来年も白熱したレースを期待しています。

ICIチルドレン育成プログラム

たくさんの子供たちに、スキーの楽しさ、自然のすばらしさをもっと知ってもらいたいと考え、「チルドレン育成プログラム」を実施しています。おもな内容はレーシングキャンプや大会、陸上トレーニングキャンプの開催とサポート。計画的に1年をとおして開催していますので、詳細は石井スポーツグループのホームページをご覧ください。

●問い合わせ
ICIカンダコンペカン
TEL:03-3295-6060
*メールでの情報配信もあり／登録制／無料

SIA公認「ISG Ski Academy SUGADAIRA」

多くのスキーヤーに「スキーの面白さ」「競う楽しさ」を知ってもらいたいとの願いから、スノースポーツの普及活動の一環として「ISG Ski Academy SUGADAIRA」を開校しました。年間をとおしたトレーニングプログラムでジュニア選手はもちろん、マスターズ選手まで、幅広いスキーヤーのサポートと育成、マテリアルに関する情報などをISG PRO STAFFがサポート。くわしくは「ISG Ski Academy SUGADAIRA」で検索を!

WEARS

Schöffel 200年の歴史あるブランドウェアをお子様にも

ISG SIEGER AWARD SKI CUSTOM FAIR

0001

Race Suit K RT
¥50,000+税
サイズ:140/152/164

0002

2040

Ski Jacket Arlberg2 K RT
¥30,000+税
サイズ:128/140/152/164

9990

Stretchpants Zip K RT
¥30,000+税
サイズ:128/140/152/164

2070

Vntlft Hoody Adamont1 K RT
¥21,000+税
サイズ:128/140/152/164

9035

Softshell Jacket Tomsk K RT
¥19,500+税
サイズ:128/140/152/164

9007

Pleece Hoody Nizza K RT
¥12,000+税
サイズ:128/140/152/164

GOLDWIN

DR

AB MG NB

Jr. Tellus Jacket
¥26,000+税
サイズ:130~160

NB

K TB

Jr. Tellus Jacket (GBR Replica)
¥28,000+税
サイズ:130~160

NB

K CB FR LG LH

Jr. Tellus Pants
¥17,000+税
サイズ:130~160

CB

K FR

Jr. GS Suit
¥42,000+税
サイズ:130~160

FR

K TB OP

Jr. Softshell Jacket
¥20,000+税
サイズ:130~160

NB

K TB

Jr. Softshell Half Pants
¥14,000+税
サイズ:130~160

K

TB FR OP

Jr. Tellus Side Open Pants
¥23,000+税
サイズ:130~160

PROTECTOR

SALOMON FLEXCELL JUNIOR
¥12,000+税
サイズ:JS(117-128cm)/JM(129-140cm)/JL(141-152cm)/JXL(153-164cm)
カラー:Black/Red

POC SPINE VPD AIR VEST JUNIOR
¥18,000+税
サイズ:S/M/L
カラー:CUBANE BLUE

UVEX back pure jr m
¥14,000+税
サイズ:116-122/128-134/140-146/152-158
カラー:ブルー

UVEX back pure jr w
¥14,000+税
サイズ:116-122/128-134/140-146/152-158
カラー:ピンク

PHENIX

Norway Alpine Team Jr.Jacket
¥30,000+税
サイズ:120~160

GN

DN NAB RD

Norway Alpine Team Jr. Full Zipped Salopette
¥26,000+税
サイズ:120~160

GN

DN NAB RD

phenix Team Jr. GS Suit
¥49,000+税
サイズ:120~160

NV

MA

Norway Alpine Team Jr. Soft Shell Jacket
¥18,000+税
サイズ:120~160

RD

phenix Team Jr. Half Pants
¥12,000+税
サイズ:120~160

BK

GR MA

Demo Team Pro Jr. Salopette
¥24,000+税
サイズ:120~160

GR

DN RB

PU

PU

Demo Team Pro Jr. Jacket
¥28,000+税
サイズ:120~160

DESCENTE

IOG

LGN

SNY

IBL IWT

JUNIOR GS ONEPIECE
¥40,000+税
サイズ:130~160

SNY

JUNIOR SALOPETTE 40
¥27,000+税
サイズ:130~160

JUNIOR S.I.O JACKET 60
¥30,000+税
サイズ:130~160

ERD

JUNIOR JETBARRIER JACKET
¥19,000+税
サイズ:130~160

LGR MTQ BLK

LGR MTQ BLK

JUNIOR JETBARRIER VEST
¥17,000+税
サイズ:130~160

ERD

MIZUNO

Jr GS ONE-PIECE
(ミズノチームレプリカモデル レーシングスーツ)
¥49,000+税
サイズ:130~160

ホワイト

インディゴ レッド ブラック スモーキーピンク

ウェーバーグレー

ウェーバーグレー

ネイビー ターコイズ イエロー トリコロール

MIZUNO TEAM Jr JACKET
¥31,000+税
サイズ:130~160

MIZUNO TEAM Jr PANTS
¥25,000+税
サイズ:130~160

ONYONE

BLACK

RED BLACK PINK WHITE

STONE WHITE GRAY

BLUE

Jr. BONDING JACKET
¥18,000+税
サイズ:130~160

BLACK

Jr. SHORT PANTS
¥15,000+税
サイズ:130~160

STONE WHITE GRAY

Jr. GS RACING SUIT (Not FIS)
¥49,000+税
サイズ:130~160

HELMET

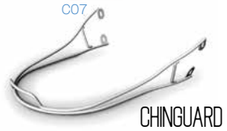
RACE FIS

BRIKO VULCANO "FIS6.8" JR
¥24,000+税
サイズ:XS(48~52cm)/
S/M53~56cm)

C07

C08 C04 C11

C06 C10


CHINGUARD VULCANO
¥4,000+税
サイズ:M(52~58cm)

ISG SIEGER AWARD

初!! ジュニアFISヘルメット
SWANS H-70FIS
¥16,000+税
サイズ:ONE(51~54cm)

ブラック
HA-23 チンガード
¥5,000+税

ブラック×シルバー

ホワイト×レッド

ライム

RACE NO FIS

BLUE

SALOMON S RACE JR
¥13,000+税
サイズ:JRS(51~55cm)/
JRM(55~58cm)

FLUORESCENT BLUE

POC POCITO SKULL
¥20,000+税
サイズ:ONE(51~54cm)

FLUORESCENT LIME GREEN

Jr.FREE

ブラックレッドマット

ナイトブルー
デニムマット

ホワイトシルバーブルー

ALPINA
CARAT LE VISOR HM
¥22,000+税
サイズ:51~55cm/54~58cm

チタニウム
オレンジマット

UVEX airwing 2 pro
¥9,200+税
サイズ:ONE(54~58cm)

アップル
グリーンマット
ライトブルー
ホワイトマット
ピンクマット

ALPINA
GRAP 2.0 JUNIOR
¥14,000+税
サイズ:ONE
(54~57cm)

ブラック・ランバージャック
ネオンレッド
ホワイトフラミンゴ

グロスブラック

SWANS H-41
¥9,000+税
サイズ:ONE
(54~58cm)

ブルー
ホワイト×ピンク

Matte Black
GIRO NINE JR
¥14,000+税
サイズ:S(52~55.5cm)
/M(55.5~59cm)

Matte Midnight
Matte Bright Red Zoom
Matte Bright Green Zoom
Matte Bright Pink
Matte Glacier
Matte White

Kids FREE

ブラックレッド

ALPINA CARAT
¥11,000+税
サイズ:51~55cm/54~58cm

ホワイトハーツ

Matte Black
Bright Green Alien

GIRO LAUNCH
¥10,000+税
サイズ:XS(48.5~52cm)/
S(52~55.5cm)

Matte Bright Green Tagazoo
Matte Bright Red
Matte Bright Pink Daizee
Matte Glacier Rock
Matte Vermillion Rock
Matte Purple
Matte White

GOGGLE

Mirror

ホワイト
ALPINA SPICE MM
¥9,000+税

ブラック

ホワイト
ALPINA PHEOS JR MM
¥9,000+税

ブラック
ディープパープル

眼鏡対応!
ライトグリーン
UVEX Slider FM
¥8,900+税

ブルー

アンスラサイト

·ホワイト

ピンク

No Mirror

ISG SIEGER AWARD

NEWカラーがついに登場♪
POC POCITO IRIS
¥10,000+税

FLUORESCENT BLUE

FLUORESCENT GREEN

眼鏡対応!
Black Wordmark
GIRO GRADE
¥8,000+税

Red/Black Zoom
Psych Blossom
Bright Green/Black Zoom
Pink Tile
Olive Dye Line
Glacier Stripes
Blue Rock
Electric Rhythm

Black Zoom
GIRO REV
¥6,000+税

White Zoom
Red/Black Zoom
Blue Rock
Glacier Rock
Psych Blossom
Olive Dye Line
Blue Tagazoo
Daizee
Alien

ネイビー

グロス
ホワイト

ブラック×ピンク

SWANS 140-DH
¥4,800+税

ライトブルー
ALPINA SCARABEO JUNIOR DH
眼鏡対応!
¥5,900+税

ホワイト
ローズ
ブラック

ブラック
SWANS JUNPIN-DH
眼鏡対応!
¥5,000+税

ホワイト
ブラック×ライム

GLOVE

Race

速い、強いスキーヤーになれる!!

イエロー
ISG SIEGER AWARD
LEVEL WORLDCUP CF
¥22,800+税
サイズ:XXS-4XL

ブラック×レッド×ホワイト
LEKI WORLDCUP RACE FLEX S JUNIOR
¥16,000+税
サイズ:4.0-7.0

ホワイト
REUSCH RJ GS
¥16,000+税
サイズ:5.0-7.0

REUSCH RACE TRAINING R-TEX TX JR
¥12,500+税
サイズ:4.0-6.0
ブラック×ホワイト×ネオングリーン

ホワイト
REUSCH RS JUNIOR
¥11,500+税
サイズ:4.0-6.0

ホワイト
ブラック
REUSCH RJ LOBSTER
¥11,500+税
サイズ:4.0-6.0

ブラック
ホワイト
GOLDWIN Jr.Racing Glove
¥9,800+税
サイズ:JS/JM/JL

Free

BlackGraphite

HESTRA CZONE 3-FINGER JR
¥7,000+税
サイズ:3.0-7.0

NavyTurquoise
RedBlack
EarthBlack
Fuchsialvory

ダズリングブルー×
オレンジポプシクル

REUSCH TORBEIOUS R-TEX®XT JR.LOBSTER
¥5,500+税
サイズ:4.0-6.0

ネオングリーン×
インペリアルブルー

ブラックメランジ×セーフティイエロー×
ブリリアントブルー

タンゴレッド×
ピンクグローブ

石井スポーツの取り組み

ISGアスリート基金

子供たちの健全な育成活動をサポート

**憧れのスキーヤーに一歩でも近づくために練習するなど
スキーに真剣に取り組むためのモチベーションのひとつは
スキーをとおして格好良い存在になることだ。
佐々木明、井山敬介、武田竜、佐藤栄一という
ISGアスリート基金のサポート受けて活動する4人が
それぞれの考える格好良さについて語り合う。**

世界との距離を近づけるために
明や湯浅に子供と一緒に滑ってもらいたい

井山敬介

SAJナショナルデモンストレーター。アルペンレーサーとしてナショナルチームで活躍後、全日本スキー技術選手権大会へ。過去3回の総合優勝を果たし、今年の第55回大会でも総合3位となっている。雪をとおして子供たちの成長をうながす「雪育」活動を、地元・札幌を中心に行なっている

井山　みんな小さい頃からずっとスキーを続けてきているけれど、今までに格好良いなと思ったウェアはある?

佐々木　小学校のときにサロモンチームに入ったんだけど、そのときのチームウェアがゴールドウイン・メイトで、ピンク、オレンジ、黄色の花柄のウェアだった。そのデザインがどうというのではなく、チームとしてウェアを着ることがすごく格好良かった。子供ながらにそう思った。

佐藤　そういうのはあったね。

佐々木　Aチームはこのカラー、Bチームはこのカラーと分かれていたから、Aチームのウェアを着るためにすごく頑張った。強い人が着ると、それが格好良いウェアになるんだなとすごく感じたことを覚えている。

武田　身近に強い人たちがたくさんいて、その人たちが着ているウェアが絶対的に格好良く見えた。だから、そこに入るにはどうしたら良いかと、常にそこをめざしていた。

佐藤　メイト、イコール選手用のウェアだからね。来季のウェアにはすごく憧れました。

佐々木　今も各社にメイトウェアがあるから、それに憧れている人や子供も多いんじゃないかな。

井山　ひとつ不思議なのは、ミズノの場合、シーズン初めに来季のウェアがこないこと。ほかのトップスキーヤーは新しいウェアを着ているのに、僕たちは去年のウェアを1月中旬ぐらいまで着なければならない。でも、それでお客さんは喜ぶんです。

佐藤　そう。同じウェアを着る期間があるから。トップスキーヤーと同じウェアで滑ったり、写真を撮ったりできる。

佐々木　そういう意味では、良いユーザーサービスになっている。

井山　そうだね。今、初めて気づいた。

佐々木　強い選手が着ているウェアが、格好良く見えて、憧れの対象になる。それは今も変わらないことなんですね。ところで、井山君はウェアの開発にも携わっているけれど、自分なりのこだわりというのはある?

井山　やはり、機能的な部分。逆に、デザインなどに対してはあまりリクエストを言いません。

佐々木　機能的な部分というのは?

井山　シルエットはこうしたいとか、着たときのごわつきとか、カットとか。たとえばパンツの場合、太ももが太くて、膝が細くて、裾に向かって広がっていると、スネの角度がすごくついて見えてしまう。実際はスネを平行に使っているのに、X脚に見えてしまったりするので、そういう部分はものすごくこだわる。

佐々木　竜は、今季、竜モデルを作っているけれど、そのときのこだわりは?

武田　ゲレンデにいっぱい人がいる中で、パッと目立つ色にしてください、そうリクエストしたんです。結果的に、白と緑というカラーリングになったんだけれど、緑を強くして、より雪山でわかるように。

佐藤　いろいろな人を見ていて思うのは、サイズ感が大事だということ。僕が着ているウェアはレーシングのラインなので、去年まではジャケットがゆったりとしたシルエットだった。でも、今着ているモデルは身幅を絞ってくれたので、シルエットもすっきりと出るし、これで技術選に出ても良いかなという感じになった。裾の長さとか、ちょっとしたことなんだけれど、見た目は結構変わると思わない?

井山　すごく変わる。特にカットで変わると思うよ。

武田　技術選で着るウェアはストレッチ性がすごく高いし、実は綿が入っている量も少なくなっている。それはやっぱり綺麗なシルエットを出すための工夫なんだと思う。

佐々木　みんな技術選に出ているわけだけれど、みんなが着ているウェアは格好良いと思っている?

武田　思っているよ。

井山　格好良いでしょ。

ジャパンチームのウェアに憧れる
子供が増えてもらいたい

佐々木明

ISG石井スポーツグループ所属。2003年にウェンゲン(スイス)のスラロームで、65番スタートから2位を記録。スラロームを中心に、世界のトップレーサーとして活躍。4回のオリンピック出場を果たす。現在はビッグマウンテンスキーヤーとして「こだわり」のある活動を続けている

佐々木　本当?

井山　格好良いウェアというと、それを街で着られないみたいな話をする人がよくいるんだけれど、それは少し違うと思う。野球選手がユニフォームのまま街に出ていかないのと同じで、僕らがやっている技術選というフィールドのゲームウェアとしては、今、みんなが着ているようなウェアが一番マッチすると思う。

佐藤　インポートのウェアを着て技術選に出たとしても、シルエット的にそれが映えるかという問題は実際にあるし。

佐々木　自分の場合はみんなと違って、街でも着られるものを作るというのが根本にあるんだけれど、ウェアを開発するうえで徹底しているのは、やっぱり機能なんです。たとえば山で爆風のなかで何かをするときに、少しでも手がかじかまないように短時間でポケットにアプローチできたり、ザックを背負ってもポケットに干渉しなかったり。普通、フロントジッパーは引っかかりやすくて、首のあたりはゴワつきやすいんだけれど、俺のウェアは縫い方も全部違って、スッと引くだけでスムーズにジッパーが上がる。

井山　シルエット的な部分は?

佐々木　もちろん。俺の場合はスピードを出して縦のラインで滑っていくから、パンツひとつとっても風を計算した太さにしている。綿が入っていないシェルは身体に巻きつくので、巻きついたときのシルエットを考えてサイズ感を出しています。そんなふうにこだわっているんだけれど、色は街でも着られるカラーバリエーションで。みんなとはジャンルが違うから、そういう違いがありますね。

井山　今、僕らは技術選、明はビッグマウンテンとジャンルは違うけれどスキーを続けている。今、子供たちがスキーを始めるとしたら、どんなジャンルから始めるべきだと思う?

佐々木　一番最初はアルペンをやるべきだと思う。速く滑るにはうまくなければならないし、力をちゃんと伝えなければ、スキーをコントロールできないから。スキーを覚えるのにアルペンが一番手っ取り早いと思う。

井山　そうだよね。ジュニアのアルペンの練習を見ていて思うことはある?

佐々木　アメリカのやり方が面白い。たとえばアスペンのスキークラブは、朝パークがオープンすると、子供たちがレースの格好をしてツインチップのスキーを履いてやってくる。そして、1時間ぐらいコーチと一緒に遊んだら、スキーを変えてアルペンの練習にいく。パイプもポールもスキーは遊びだという意識を植えつけているのが、とても面白いと思う。

武田　僕らが子供の頃は遊びも多かったですね。メインはポールなんだけれど、ジャンプを跳びにいったり、コブの中にポールを立てて滑ったりと、遊びの中でいろいろな技術が入ってきたのかもしれない。

佐藤　先輩たちとジャンプ台を作ったり、下山のときに誰が一番速く滑り降りるか、クローチングレースをしたり。

井山　そうやって遊びながら練習していくなかで強くなって、周りから格好良いと見てもらえるようになる。そういう子供たちを増やすために、明とか湯淺(直樹)にはもっと子供たちと一緒に滑る機会を作ってもらいたい。子供の頃、富良野でワールドカップをやっていたから、僕にとって世界との距離は近かった。今、その距離感がだいぶ離れてしまった感じがするので、そのへんは期待したいし、僕らも協力してそういう機会を作っていかないとと思う。

佐々木　ジャパンチームのウェアを欲しがるキッズが増えてほしいという思いが強くある。自分自身、ジャパンチームのウェアを着るということにすごくプライドを持っていて、1年間、着られなかったときに、すごく悔しい思いをした。だから、子供たちにはジャパンのウェアを着ることに憧れを持ってほしいし、そういうプライドを持ってジャパンのウェアを着る選手が増えたときに、そのウェアが格好良いと言って着たがる子供たちが増えると思う。ぜひ、そうなってもらいたいですね。

強い選手が絶対的に格好良く見えて
常にそこに入ることをめざしていた

武田竜

SAJナショナルデモンストレーター。レーサーとして国内外のレースで活躍。2014年にはワールドカップ出場も果たす。2014年に競技から引退した後は、コーチとしてジュニアを中心にサポートするかたわら全日本スキー技術選手権大会へも出場、トップ選手として活躍している

選手用のウェアにはすごく憧れ
それを着るために練習した

佐藤栄一

日本のトップランカーとしてレースで活躍した後、2008年から全日本スキー技術選手権に出場。2015年第52回大会で総合6位となったのをきっかけに上位に定着。今年行なわれた第55回大会では自己最高位の5位を記録している。それと並行して国体への挑戦も続け、複数回の優勝を記録している

より美しく、カッコよく!
女性のためのスキーウェア選び

ゲレンデで目を惹くのは、滑りのうまさだけでなく、
凛とした立ち居振る舞いのカッコ美しい女性。
滑っていても、立っていてもサマになる。
女性らしい美しさも、ダイナミックなカッコよさも追求したい
欲ばりな女性に贈る、スキーウェア選びのポイントとは?

ICI石井スポーツ
佐々木菜津美
(盛岡店)

ICI石井スポーツ
大場 朱莉 プロ
(仙台泉店)

ICI石井スポーツ
永坂 綾香
(宮の沢店)

レディスモデルならではのシルエットとカッティングの良さに注目!

大場　私は基本的に男子のようなダイナミックな滑りをめざしているのですが、小学生の頃はスイスのソニア・ネフ選手に憧れていた時期がありました。見た目はすごく美人で女性らしい感じなのに、いざスキーを履くと女性の枠を超えてカッコよくて、あんなふうになりたいなって本気で練習したのを覚えています。

佐々木　私も現役時代は男子の滑りをめざしていましたけど、いま参考にしやすいのは朱莉さんのような女子トップ選手ですね。もちろん技術的には届かないんですが、女性らしさの中にも力強さがある滑りに惹かれます。

永坂　私も最終的に理想とするのは男子の滑りなんですが、女子なりの身体の使い方やポジションの位置は、やはり女性の滑りが参考になりますよね。トップ選手はもちろん魅力的ですが、所属チームの女子選手など、近い存在をつねに目標にしてきました。

佐々木　見た目は美しく、滑りは男子のようにダイナミックにというのが、共通してめざすところですね。そこに近づくには、どんなウェアを選ぶかも重要な要素ですよね。

永坂　スキーウェアに関して最近店頭で感じるのは、男女ともにルーズなサイズを選ぶ方が少なくなっているということ。シルエットが綺麗に見えることを重視して、ウェアを選んでいる方が多い気がします。

佐々木　これまではどのブランドもユニセックスモデルが多かったので、女性が着ると必然的にルーズでシルエットが太めになっていたのですが、やはり最近は形が綺麗なもの、それから色も綺麗なものを着たいという方が増えていますね。

永坂　とくに女性は、細めなシルエットのウェアのほうが動きが顕著に表われるので、ルーズなウェアを着て滑るよりも、逆に滑りがダイナミックに見えるのではないかなと思います。

大場　私がいま着ているゴールドウインのウェアは、細身ではあるんですが、スキー特有の動きを妨げないカッティングを採用しているので、滑走時のストレスが一切ないんです。女性らしいカッティングで細身なウェアの中には、立ち姿はすっきりしていい感じなんだけれど、いざ滑ってみると妙に女性っぽさばかりが強調される……というものもあるので、滑ってカッコいいウェアを選ぶことがひとつのポイントだと思います。技術選はもちろん、基礎スキーではとくに、女性らしさ全開の滑りでは高い点数が出ないという傾向がありますから。

佐々木　カッティングが重要ということですよね。ただ細いのではなくて、ゆとりもありつつ綺麗に見える形が理想です。その点で言うと、ミズノのウェアはアスリートに向けたカッティングになっていますね。

大場　それからゴールドウインも、着て美しく、滑ると動きやすくてカッコいいというウェアをラインナップしています。

佐々木　朱莉さんは、ゴールドウインのウェア開発にも関わっているんですよね?

大場　そうですね。実際に着用して滑って、フィーリングなどをレポートしています。身体を傾けたときのシルエットがどうなっているかをチェックしたり、ポケットの位置はこうしたほうがいいと要望を出したり、ただタイトなだけでなく、着心地や動きやすさについてもリクエストしていますね。

佐々木　女性のほうが、滑ったときの見え方は気にしますよね。

大場　すごくこだわりますよね。まずはスタイルを良く見せたい。でも、スキーを履いたら綺麗な滑りやカッコいい滑りをしたい。さらに言うと、女性のほうが寒さを防ぎたい、濡れたくないという気持ちも強いですよね。欲ばりなリクエストが多いと思います。

佐々木　では実際にウェア選ぶときに気をつけたいポイントはどんなところでしょう?

選び方のポイントは、立ち姿だけでなく滑りもイメージすること

大場　技術選で着ることを考えると、細すぎるパンツはあまり良くないと思います。とくに脚の内側が絞られすぎていて、普段着のパンツのようなカッティングになっていると、膝が開いたり腰が外れるのが目立ってしまうんです。立ち姿はかわいいんですが、滑ると女性っぽい華奢な感じが際立ってしまうので、とくにパンツ内側のカッティングは気にしますね。

永坂　パンツは丈感も重要ですよね。

大場　そうそう。丈に関しては、滑りで膝を倒したときにバックルが見えない長さがいいですね。膝に少し余裕がある作りで、滑ったときにカッコいいシルエットが出るウェアが理想です。

佐々木　店頭でお客様に薦めるとすれば、ユニセックスのパンツだとどうしても太くて野暮ったい感じになるので、やはりレディスモデルで、少しすらっと見えるパンツがいいですね。丈については、ブーツ上部のバックルがしっかり隠れる長さがあると、立ち姿はもちろん、滑りでも綺麗に見えます。

大場　ウェアのスタイルを見ると、海外ブランドのほうがデザインに敏感な感じがしますが、国産ブランドでも日本人の骨格を考慮して設計したり、ユーザーや選手と一緒に開発をしているウェアは、着やすいし綺麗ですよね。

佐々木　そうですよね。ヨーロッパブランドで女性向けの綺麗な形のものもあるんですが、ネックになるのが、パンツの丈が合わない点。その点国産ブランドで、選手のフィードバックを生かして作られたパンツだと、実際の履き心地もシェイプもほどよい感じで、お客様にも薦めやすいです。

永坂　最近はストレッチ素材も出てきていていですよね。

大場　防水性や耐水性も高くなっていて、機能性も充実していますね。

佐々木　ジャケットに関してはどうですか?

大場　あまりに絞られすぎたカッティングは避けたいですね。それから、前丈は短めで、後ろはお尻が少し隠れるくらいのシルエットだと、滑っていても背中が出ないし、前から見るとスタイルが良く見えます。こういう作りだと、滑っていても着崩れしないですしね。

佐々木　絞られすぎると中に重ね着ができないですよね。寒がりの女性も多いから、中にしっかりと着たうえで、ある程度お尻が隠れるものを探している人が多いです。

大場　私は毎日何枚も着るのがストレスなので、ジャケット1枚でパッと出かけられるのが理想ですね。

佐々木　最近はレイヤリングで暖かさを調整する着方が主流になっていますが、朱莉さんは1枚で着られるジャケットがいい感じ?

大場　寒がりだから、たくさん着込むとその重さで肩がこったり疲れたりするので、いま着ているような中綿入りのゴアテックスジャケットがストレスなくていいですね。あとは、背中にダウンを入れて保温性を高めたものとか、とにかく軽くて暖かいものがいいです。

永坂　デザインで言うと、ファーが付くとちょっとテンションが上がりますね。

大場　いま着ているジャケットのファーは、昨年私がリクエストしたんです。基礎スキーだから、技術選だからフードは取ったほうがいい、ファーはないほうがいいという風潮もありますけど、それはちょっと違うなと感じているので。

永坂　女性らしい見た目で滑りがカッコよかったら、そのギャップがまた魅力になりますよね。

大場　技術選はファッションショー的な要素もあると思っているので、カタログに載っているウェアが、実際の滑りの中で一番カッコよく見えるのがいいなと思うんです。だからサイズ選びも大切で、いつも滑走シーンをイメージしながらサイズを選んでいます。

佐々木　一般ユーザーにも、サイズの選択方法は重要なポイントですよね。普段着と同じだからと、安易に上下同じサイズにするのではなくて、動きを考慮して選ぶことが大切です。私も滑りでのバランスを考えて、ジャケットはS、パンツはMを選んでいます。

大場　私もジャケットをワンサイズ小さくしていますね。試着して鏡に映る姿だけでなく、滑りをイメージすることを大切にすると、よりカッコいいスタイルに仕上がると思います。

UVEX

LOOK FOR A
WINNER

ブラックゴールドクローム

race+ chrome
¥46,000+税
55-56,56-57,58-59
数量限定

ブラックゴールドクローム

JAKK+sl chrome
¥52,000+税
55-59,59-62
チンガード付属
数量限定

ゴールドクローム

contest FM chrome
¥35,000+税

イエロークローム

downhill 2000 FM chrome
¥30,000+税

ゴールドクローム

athletic FM chrome
¥27,000+税

ブラックマット

ホワイト

downhill 2000 VP X
¥34,000+税
調光偏光の機能はもちろん、〈NXTレンズ〉なので軽量かつ耐衝撃にも強い。目の安全を光と衝撃のダブルで保護。視認性も良くクリアな視界が特徴。
調光レンズ / 偏光レンズ

ブラックマット

compact VP X
¥34,000+税
視界の広さが特徴のUVEXからさらなるワイドゴーグルが登場。可視透過率(VLT)も《downhill2000 VP X》同様11%~45%と晴天から曇天まで対応天候幅も広く、多少の降雪時でも視界を確保する。
調光レンズ / 偏光レンズ

variomatic® / polavision®
調光・偏光機能が融合

アウターレンズの調光機能とインナーレンズの偏光機能を組み合わせ、ふたつのテクノロジーが融合したUVEXの最先端技術。レンズカラーは天候の変化に反応し、かつ乱反射を抑え、ぎらつきを取り除いてくれる。

スタッフコメント：新宿西口店　甘利

薄いスモークレンズだがクリアに近い。「クリアに近いのに、眩しくなく、ギラギラしない!」調光機能の色変化も自然でありながら、偏光機能は光の乱反射をカットする。調光×偏光の組み合わせはすごい。

プロセッコメタリックマット

ブラックピンクマット

ストラトメタリックマット

ブラックマット

primo
¥23,000+税
52-55,55-59,59-62
※カラーによりサイズが異なります
インモールド構造

洗練された近代的なデザインと快適なインナーライニングが特徴のニューモデル。ハードシェル構造で安全性も高く、スタイリッシュにコーディネートしたい女性スキーヤーにお薦め。

GIRO

Matte Midnight Bronze Peak

Matte Light Grey Glacier Peak
Matte Blue POW

Jackson MIPS
¥28,000+税
全8色
S(52-55.5),M(55.5-59),L(59-62.5),XL(62.5-65)
※S、XLはカラー限定
新ベンチレーションシステムを搭載。快適性とデザイン性のバランスが良い。GIROゴーグルとの相性も完璧。
インモールド構造 MIPS

Matte Black Peach

Matte Frost
Matte Graphite/Mint

Terra MIPS
¥28,000+税
全6色
S(52-55.5),M(55.5-59)
《Jackson MIPS》のレディースタイプ。モダンなデザインと快適・軽量の構造で人気の予感。
インモールド構造 MIPS

Silicone Vermillion/Vivid Royal

Storm DyeLine/Vivid Royal
CampOut/Vivid Ember

Agent
¥36,000+税
全12色
マグネットによるクイックチェンジシステムで、レンズ交換のストレスを解消したニューモデル。
コントラストレンズ / マグネット脱着
スペアレンズ付き / 眼鏡対応

Midnight Red Throwback/Vivid Copper

Dark Red Sierra/Vivid Ember
Midnight Peak/Vivid Copper

Axis
¥29,000+税
全12色
昨年人気で即完売状態だったモデル。レンズ交換の早さはぜひ体感してほしい!!
コントラストレンズ / マグネット脱着
スペアレンズ付き / 眼鏡対応

Passive Aggressive Venting System

正面のプリムベントが空気の取り入れ口となり、ヘルメット内部に空気の流れを作り出す。効率良く後方へ暖かい空気と湿気を排出し、内部の快適性を確保する。

Quick Change

《クイックチェンジ》レンズ交換システムは、2か所のマグネットと4つのピンでレンズをしっかりと固定。素早くレンズ交換ができる。スペアレンズ付属モデルにはうれしい機能だ。

VIVID Optics by ZEISS

VIVID LENS

新たなコントラストレンズの定番となり得る《VIVID LENS》。中間色のEmberやCopperレンズは晴天から曇天まで幅広い天候に対応。VIVID Infraredのスペアレンズ付属モデルにいたっては、ガスが出てきてもレンズ交換ひとつで明るさを提供してくれる優れもの。

OAKLEY

MOD5 ハイブリッド構造
99430 ¥27,000+税 全7色 S,M,L
99430MP（MIPS仕様モデル） ¥31,000+税 全3色 S,M,L
99430FP（PREMIUM COLLECTIONS） ¥27,000+税 全2色 S,M,L

前方のプリムをゴーグルに合わせて変更も可能。ゴーグルとのフィッティングのこだわりの表れ。

MOD3 インモールド構造
99474 ¥19,000+税 全7色 S,M,L
99474MP（MIPS仕様モデル） ¥21,000+税 全3色 S,M,L
99474FP（PREMIUM COLLECTIONS） ¥19,000+税 全2色 S,M,L

軽量化されたOAKLEYヘルメットのスタンダードモデル。

SWEET PROTECTION

TROOPER II SL
¥40,000+税
全1色
S/M(53-56)，M/L(56-59)，L/XL(59-61)
クリストファーセンが使用している話題のヘルメット。
チンガード付属 カスタム限定
ハードシェル構造

SWITCHER
¥34,000+税
全6色
S/M(53-56)，M/L(56-59)，L/XL(59-61)
日本人にも被りやすい横幅広めの形状。
ハイブリッド構造

SMITH

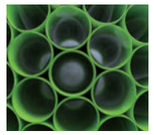
MISSION
¥19,500+税
全5色 450g
S(51-55)，M(55-59)，L(59-63)，
XL(63-67) ※S,XLはカラー限定
軽量 インモールド構造

コロイドシステムを採用したニューモデル。軽量でかぶりやすいヘルメット。レディスモデルは《MIRAGE》に名前が変わり、カラーデザインが華やかに。

MIRAGE WOMEN'S
¥19,500+税
全2色 450g
S(51-55)，M(55-59)，L(59-63)
※Lはカラー限定

エアロコア構造
円柱型のコロイドパネルが衝撃吸収から換気機能までこなすSMITHの新テクノロジー。

ヘルメットに衝撃が加えられたとき、コロイドパネルは衝撃を吸収してその部分がクラッシュし、頭部へのダメージを極限まで減少させる。



コロイドパネルはひとつひとつ寸分の狂いもないポリマーのチューブから成り、最適な厚さに熱圧着されパネルに成形される。

POC

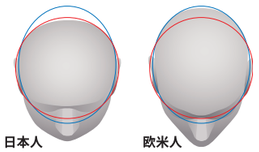
OBEX SPIN
¥25,000+税
全7色
XS-S，M-L，XL-XXL
久々のPOCニュースタイルヘルメット。
〈SPIN〉搭載で衝撃緩和力も備えている。
インモールド構造

SPIN
〈SPIN〉(Shearing Pad Inside)はヘルメット内部に独自開発のインナーを配置し、斜め方向からの衝撃を軽減。従来のローテーションプロテクションと異なり、間接的なパッドをなくすことでよりシンプルで軽量に。

SWANS

HSF-230
¥20,000+税
全4色
M(53-58cm)，L(58-62cm)
一般スタイルからバックカントリーなど幅広く使えるスタイリッシュなモデル。ベンチレーションも多く、通気性抜群。
ハイブリッド構造

ジャパンフィットテクノロジー
日本人の平均的な頭部形状をもとに設計。各種調整機能を含め、日本人の頭に合い、なおかつ快適に被れるようフィッティングを提供。



■ 国内・ジャパンフィットモデル
■ 海外モデル

ALPINA

MAROI
¥15,700+税
全6色
53-57，58-61，61-64 ※61-64はカラー限定
人気の《GRAP》がベースの新モデル。イヤーの素材もおしゃれでALPINAゴーグルに合うデザイン。
インモールド構造

HI-EPS
インナーシェルは、高度に膨らませた発泡スチレン樹脂素材からなり、粒状素材により衝撃を吸収・減衰させる。

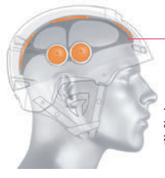
INMOLD
丈夫なポリカーボネイト素材のシェルと衝撃吸収性に優れた〈HI-EPS〉素材を圧着するインモールド製法で、強度と軽量化を実現。

BRIKO

VULCANO "RB LVF FIS 6.8"
¥42,000+税
全1色
54，56，58，60，62，64
リンゼイ・ボンのレッドブルヘルメット。
インパクトの強さは間違いなし!
数量限定 ハードシェル構造

VULCANO "FIS 6.8" FLUID INSIDE
¥42,000+税
全4色
54，56，58，60，62，64
脳への衝撃を解析した、安全性の高い衝撃吸収のFLUIDパッドを内蔵。
ハードシェル構造

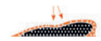
FLUID INSIDE テクノロジー



ヘルメットインナーに配置された衝撃吸収パッドが衝撃を分散

気体を含むゲルフォームが注入されたパッド

▶



衝撃がかかるとフォームが圧縮され、ゲルが分散して衝撃を緩和

ATOMIC

COUNT AMID RS
¥19,900+税
全4色
S(51-55)，M(55-59)，L(59-63)，XL(63-65)
※XLはカラー限定
〈AMIDパッド〉がレースなどの過酷な状況下でも安全保護性能を発揮。SL競技用。
ハイブリッド構造

CHIN GUARD
¥4,000+税

AMID TECHNOLOGY

「AMID」の「A」はまさしくATOMICのA。自社開発した高密度発泡ウレタン〈AMIDパット〉が頭に密着しながらも衝撃に合わせフリーに動き、分散・吸収するシステム。衝撃保護率が最大40%アップ。

SALOMON

STONE

STONE

S/MAX SIGMA
¥30,000+税
全1色
ニューレンズとフレームが
最大限の視野と
鮮明さを提供してくれる。
コントラストレンズ

XT ONE SIGMA
¥26,000+税
全1色
ややコンパクトに見える
外観とは違い、
視界の広さが特徴なフレーム。
コントラストレンズ

SIGMA
サロモンが独自に開発した新レンズシステム。光のコントラストを大幅に増幅することで、雪面コンディションの違いをひと目で見分けることができるというもの。曇り空から快晴まで、あらゆる天候下において威力を発揮する。

SMITH

Austin Smith x The North Face

Cloudgrey

I/O MAG
¥35,000~38,500+税
全6色
マグネットを採用したニューフレームが登場。
より素早いレンズ交換を可能に!!
マグネット脱着 スペアレンズ付き
コントラストレンズ

デュアルロッキングメカニズム
マグネットの磁力でレンズをフレームへ自動的にガイドし、独自のロッキングシステムで外部からの衝撃や捻れに対応しレンズを完全固定。転倒時も両サイドのレンズロックが完全にレンズを固定。レンズ交換時にはどちらか片方のロックをつまむだけで開放できる。

POC

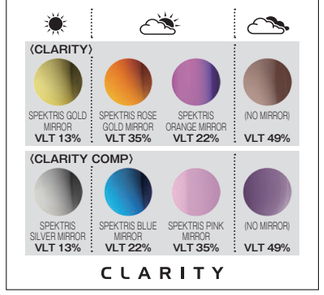
Lactose Red

Polydenium Green

Tin Blue

FOVEA CLARITY
¥25,000~¥27,000+税
全7色
いまやPOCの定番フレーム。
シンプルなデザインとレンズが好評。
コントラストレンズ

CLARITY LENS
POCでは、老舗レンズメーカーZEISSによるCLARITYレンズを採用。山のあらゆる天候に対応するレンズカラーがそろっている。



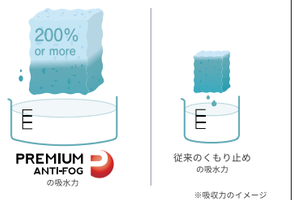
SWANS

ホワイト

ネイビーブルー

RIDGELINE-CU/MDH-SC-PAF
¥28,000+税
全4色
[ROV]Oの進化型ゴーグル。換気システムが新しくなり、開閉がワンタッチに。ハイブリッドフレームでフィッティングが向上し、大型設計で眼鏡併用も可能。ワイドビューで約20%視界が広がった。
眼鏡対応 コントラストレンズ 調光レンズ

PAFテクノロジー
ゴーグルレンズはゴーグル内の飽和水蒸気をレンズ表面が吸収することで曇りを抑制。〈PREMIUM ANTI-FOG〉は従来の2倍の吸収力。高いくもり止め効果を発揮する。



ATOMIC

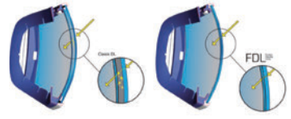
ブラックホワイト

グリーン

COUNT 360° HD RS
¥33,900+税
コントラストレンズ 特殊レンズ

COUNT 360°HD
¥24,900+税
全4色
レンズの構造で視野角も従来よりアップ。
よりシャープな視界も確保。
コントラストレンズ 特殊レンズ

FDL LENS
「FUSION DOUBLE LENS」の略のこのレンズは、まさにダブルレンズがFUSION! 1枚に合わさった画期的なダブルレンズ構造。ラミネートでつなぎ合わせたレンズはダブルレンズ内の反射を防ぎ、クリアな視界は当然のこと、レンズ曇りも気にならない。まさに驚きのレンズ!



MARKER

Petrol Green Plasma

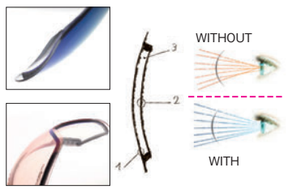
Infrared Red Plasma

PERSPECTIVE+
¥16,000+税
全6色
大きめなレンズが左右の視界の広さも確保。
フラットレンズのような装着感。
スペアレンズ付き ゴーグルケース付き

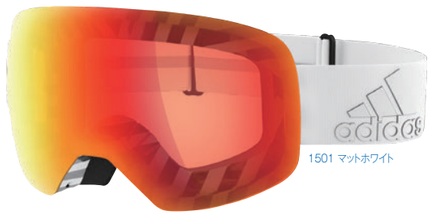
クラリティーミラー付き
(悪天候用レンズ)

ネオプレーンボックス付き

デュアルバイオノミック球面レンズ
温度変化を防ぐダブルレンズ構造で、見る物がありのままに見えるように人の眼のカーブに対応。〈バイオノミックカーブレンズテクノロジー〉を採用し、レンズの厚さが中心から外側に向かって薄くなっているので、光をより直接的に届け、眼を疲れさせず自然で精密な視界を確保。



adidas

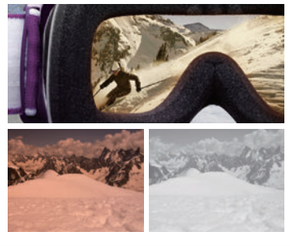

1501 マットホワイト

6073マットホワイト

AD86 BACKLAND SPHERICAL
¥13,000~14,000+税(調光レンズ ¥18,000+税)
全9色
フォームパットは着け心地が優しく、レンズも日本人向けに開発。
平面タイプの《AD80》もお薦め。
アジアンフィット コントラストレンズ

AD80 BACKLAND
¥12,000~13,000+税(調光レンズ ¥17,000+税)
全11色
アジアンフィット コントラストレンズ

ハイコントラストレンズテクノロジー〈LST〉
コントラストを高め、雪面をより見やすくする〈LST〉レンズを採用。雪山でのあらゆる天候に対応可能。



GLOVE

REUSCH

RACE-TEC 18 GS MITTEN
¥34,000+税
全1色
7.0~9.0
ブラック/ホワイト/ネオングリーン

WORLD CHAMP
¥23,000+税
全1色
6.5~9.0
ブラック/ホワイト

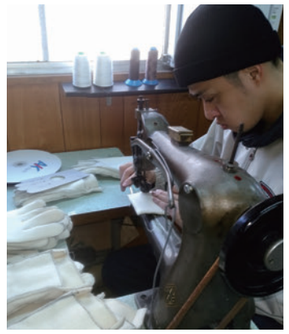
RACING SPIRIT
¥23,000+税
全5色
6.5~9.0
ブラック/ゴールド

RACING SPIRIT DRIVE
¥24,000+税
全1色
6.5~9.0
ホワイト

RELATION
¥16,000+税
全4色
6.5~9.0
ホワイト/ネイビー
ホワイト/レッド

Made in Japan
素材と縫製にこだわり抜いた、高級グローブ

素材は厳選されたキメの細かい高級カウレザー（牛革）を使用。カウレザーは柔らかく、厚手で保温性の高い素材で、同じ一枚の革の中でもお腹やお尻などの部分により、伸縮性や柔軟性、強度が異なる。この素材の特性を活かし、適材を適所に使用する。職人が一双一双丁寧に仕上げるこだわりのグローブだ。



LEVEL

標高5,000m対応モデルもあるなど、ヨーロッパにて一番暖かいグローブをめざすイタリアのブランド、LEVEL。華やかなデザインもイタリアらしく、他には少ない個性あふれるブランド。SAJ公式用具登録済みなので、レース、デモの公認大会でも使用可能。

38 PK BROWN

PATROL TRIGGER
¥14,500+税
全2色
6.5（XS）~11（4XL）

43 PK BLACK

CRUISE
¥10,500+税
全5色
7（S）~10.5（3XL）

08 SILVER

SUNSHINE
¥13,500+税
全4色
6（XXS）~8.5（M-L）

07 YELLOW

WORLDCUP CF MITT
¥39,900+税
全1色
6（XXS）~10（XXL）

LEKI

WORLDCUP RACE TI. S LOBSTER SPEED SYSTEM
¥32,000+税
全1色
7.5~9.0,10.0
ブラック/レッド/ホワイト

FORE ARM PROTECTOR CARBON
¥29,000+税
全1色

WORLDCUP RACE FLEX S SPEED SYSTEM
¥27,000+税
全2色
8.0~9.0
ブラック/レッド/ホワイト

ブラック/イエロー

HESTRA

ROYAL
RED/GREY

FALL LINE 3-FINGER
¥16,000+税
全7色
6~10

YELLOW/WHITE
GREY/TAN

3-FINGER FULL LEATHER SHORT
¥15,000+税
全5色
4~10

LT GREY/TAN
NAVY/TAN

ARMY LEATHER COULOIR
¥16,000+税
全4色
6~10

BLACK
LIGHT GREY

ARMY LEATHER PATROL 3-FINGER
¥15,000+税
全3色
6~10

BACK PROTECTOR

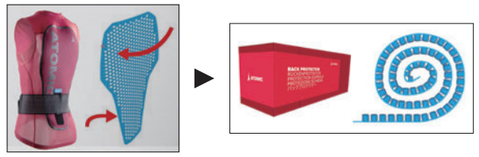
来季はバックプロテクターの機能もさらにアップ!

昨今バックプロテクターも必需品となり、衝撃の緩和・吸収・分散の機能は各ブランドともにかなりの向上を見せた。来季は軽量、また収納も可能など、従来の煩わしい要素をカット。“安全”の面(セルフセイフティー)からも技術に関係なくバックプロテクターを検討してみよう。

ATOMIC

LIVE SHIELD VEST AMID MEN
¥19,900+税
RED
S,M,L,XL
超軽量の高密度発泡ウレタン。丸めて折りたためるので荷物にもなりにくい。
AMID

LIVE SHIELD VEST AMID
アトミック史上最薄でありながらもっとも優れた耐衝撃性を完備。自社開発のデュアル高密度発泡ウレタンシステム〈AMID〉ボディの衝撃分散吸収機能により究極の薄さを実現。気温変化があるなかでも動きを妨げることなく、まるでベースレイヤーのような抜群の通気性を誇る。丸められるので、持ち運びも便利!



	SIZE	SAFTY TECHNOLOGY
LIVE SHIELD VEST AMID MEN	S, M, L, XL	AMID Body
LIVE SHIELD VEST MEN	S, M, L, XL	マルチデンシティ(密度の異なる)3層構造
LIVE SHIELD VEST WOMEN	XS, S, M, L	マルチデンシティ(密度の異なる)3層構造

LIVE SHIELD VEST MEN
¥16,900+税
BLACK/GREY
S,M,L,XL

LIVE SHIELD VEST WOMEN
¥16,900+税
BLACK/GREY
XS,S,M,L

MARKER

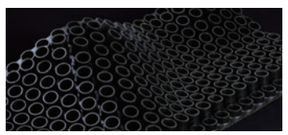
BODY VEST MAP 2.0
MEN/WOMEN ¥22,000+税
YOUTH ¥11,000+税
S,M,L

BP LIGHT MAP 2.0
MEN/WOMEN ¥18,000+税

フルモデルチェンジしたマーカープロテクター。プロテクション機能を向上させ、軽量かつ丸めて持ち運びも楽。

	MEN ベスト		WOMEN ベスト		YOUTH ベスト	
	身長(cm)	胴長(cm)	身長(cm)	胴長(cm)	身長(cm)	胴長(cm)
S	155~165	37~40	150~160	35~38	130~145	33~36
M	165~175	41~44	160~170	37~40	—	—
L	175~190	44~48	170~180	41~44	145~160	35~38

MAP (マルチ衝撃吸収ポリマー)
連続する衝撃から身体を保護する高機能プロテクション。衝撃を吸収した〈MAPフォーム〉は瞬時にもとのボリュームと形状に復元。素材が温度変化の影響を受けないので、他の素材より効果的に衝撃を吸収し、軽量なのも特徴。



- 超薄型MAP素材
- 超軽量
- 最高の柔軟性 身体にフィットして動きやすい
- マルチインパクト
- 温度変化に影響を受けない性能と柔軟性

SWANY

NV

SGL LDT

SHIRAKABA
¥17,000+税
全6色
MENS S,M,L(USサイズ)
WOMENS XS,S(USサイズ)
〈GORE-TEX〉を使用し防水性に優れたモデル。消臭効果にも優れた5フィンガーグローブ。
日本限定 ゴアテックス

SGL

MAR SG

KABOCHA
¥16,000+税
全6色
MENS S,M,L(USサイズ)
WOMENS XS,S(USサイズ)
アウターグローブを装着したまま指先を開放できる〈TOASTER〉採用。ベンチレーション付き。
日本限定 インナーグローブ付

BK

AV CRM

リーシュコード付きで紛失の心配もなし!

EBOSHI
¥15,000+税
全6色
MENS S,M,L(USサイズ)
WOMENS XS,S(USサイズ)
インナーグローブとリーシュコードが付いた2in1システムを採用。
日本限定 インナーグローブ付

7年連続アメリカのスノーグローブNO.1!
2009~2016年まで、7年連続アメリカのスノーグローブ市場でNO.1の座を維持し続けてきたスワニーが、ついに日本上陸! 北極や宇宙などの極地での使用を目的に開発された技術をスノーグローブに投入。透湿性に優れた防水フィルム〈DRYFINGERII〉、アウターグローブを装着したまま指先を開放し、細やかな作業を可能にした〈TOASTER〉など、独自のさまざまな技術を開発している。日本のトップライダー、秋庭将之氏が使用するなど、今後幅広いユーザーへと広まりそうだ。

THERM-IC

X-SOCKSテクノロジーにバッテリー型ヒーティングシステムがプラス。スポーツに必要なエネルギーを確保する。

THERM-IC パワーヒートソックス ユニ
¥12,500+税
35/38(22.5-23),39/41(24.5-26),42/44(26.5-28)
すね、足首、甲部分のパッド強化。

THERM-IC パワーヒートソックス レディ
¥14,500+税
35/36(21.5-23),37/38(23.5-25)
男性に比べて細い女性の足向きに設計。
メリノウール混合タイプで肌触りも良好。

S バッテリーパック700
¥19,000+税
最大8時間
USB充電器付属
3時間半充電
平均4~5時間

S バッテリーパック1200
¥23,000+税
最大14時間
USB充電器付属
5時間充電
平均5時間半~7時間半

足元を37℃に保つ熱伝導ソックス《THERM-IC》
人体は末端にいくほど、最適な体温である37℃より低くなってしまう。そこで開発されたのが、熱伝導技術を採用したスキー用ソックス《THERM-IC》。すねの外側に専用のバッテリーを装着し、体温をつねに37℃に保つというもの。足の冷えを防ぐとともに、左右非対称設計でフィッティングも完璧。ヒーティング機能とX-SOCKSの全機能を搭載した今季注目のアイテム!

DESCENTE

細部まで意図のあるデザインと機能美。強さと美しさを表現するために

1954年に本格的にスキーウェアの開発に着手して以来、基本に忠実であるとともに、時代のニーズを先取りしたモノづくりで日本のスノーシーンをリードしてきたデサント。「デモパン」、「マジックスーツ」、「S.I.Oコンセプト」など、デサントが世に送り出し、時代を象徴するアイテムとなったものも少なくない。デサントがもっとも大切にするのは、スポーツを愛する人々の気持ちを駆り立てること。モノ本来の魅力を、デザインによってカタチに置き換える。細部に至るまで、意図のあるデザインを追求し、機能美を創造する。それらを忠実に行なうことで、一歩先を見据えたモノづくりを可能にしているのだ。トップレベルでの実績と経験を持つデサントだから作れるウェア。そこには、期待を超えた発見と驚きが待っている。

シルエットを強く美しく表現するために

ジャケットは、胸から上が大きく見え、かつスマートに。そのために前後の身頃と袖をひとつのパーツに処理し、立体的に仕上げ、理想的な運動性・快適性・シルエットを実現。さらに、肩から上腕部にかけて施したエンボス加工により、さらに胸から上を大きく見せることに成功。レイヤリングしても着膨れせず、パフォーマンス低下を防ぐ〈デュアルジップアジャストメント〉機能も搭載しているので、廻り寸を半サイズ広げられる。パンツは、滑走中の脚ラインを直線に見せるため、ワタリから膝は細めではなくある程度ゆとりをもたせている。また、パターンで膝位置や脇線を調整し、膝下のバタツキをなくしている。内股部分のカラー切替によってターン中の脚が長く見える視覚的効果も追加。ストレッチ素材を使用し動きやすいので、検定など、技術志向の高いユーザーにお薦め。

DWUMJK53(S)
¥52,000+税
SSS~XXO
全4色

DWUMJD53
¥34,000+税
SSS~XO-77
全4色

DWUMJK54
¥38,000+税
SSS~XXO
全6色

DWUMJD54
¥31,000+税
SSS~XO-77
全6色

スピード感と存在感をアピールするプリント柄

雪の結晶をランダムに配置したプリント柄を採用することにより、スピード感を表現し、雪上での注目度もアップ。滑走時のシルエットを強く美しく表現することにもこだわり、ジャケットは、胸から上が大きく見え、かつスマートであること。そのため、前後の身頃と袖をひとつのパーツに処理しつつ、立体的に仕上げ、理想的な運動性・快適性・シルエットを実現。パンツは、滑走中の脚ラインを直線に見せるため、ワタリから膝は細めではなくある程度ゆとりを持たせ、膝下のバタツキをなくしている。パターンで膝位置や脇線を調整することにより、視覚的効果もプラス。パーソナルウェアとしてだけでなく、チームウェアとしても最適な一着。

武田竜

宮下征樹 × 武田竜

宮下征樹

ストレッチ性に優れ、本当に動きやすい細部までよく考えられていると実感

宮下　今年で4回目の技術選、終わってみてどうでしたか?

武田　2年連続表彰台を逃して、今年4回目を迎えて、この一年間優勝を目指してやってきたのですが、ずっと練習してきて、予選から色々考えすぎたりもあり、滑りとメンタルが少し噛み合わない部分があったかなと思います。ですが、徐々に調子は上がってはきて、最終的に、結果としては良かったかなと。最終日も種目別も取れたり、お客さんにもいいアピールができたし、自分なりにいい形で終われたので、全体的には良かったと思います。最後の最後、自分の思いどおりの滑りが、自分のスタイルでできたことが、すごく良かったと思います。

宮下　ジャッジ席から見ていて、武田選手がスタートして滑って来たときに、お客さんが注目して見ているのが伝わってきたので、技術選のなかでの存在感をしっかり築けているんだなと感じました。では、決勝で着ていたウェアについて聞かせてください。

DWUMJK51(S)
¥39,000+税
SSS~XXO
全7色

DWUMJD51
¥32,000+税
SSS~XO-77
全7色

※武田竜着用のカラー(グリーン×ホワイト)は、石井スポーツカスタムフェアでの限定販売カラー

ゲレンデからパウダーまで幅広く使える

コンペティションシーンにとらわれず、さまざまなスキーを楽しむことを考えたスキーウェア。滑り強く美しく表現するために、ジャケットは胸から上が大きく見え、かつスマートであるように、立体的に仕上げ、理想的な運動性・快適性・シルエットを実現。さらに、圧雪バーンだけでなくパウダースノーの滑走も考慮したハンドカフやパウダースカートを装備。レイヤリングしても着膨れずパフォーマンス低下を防ぐ〈デュアルジップアジャストメント〉機能も搭載。パンツでは、滑走中の脚ラインを直線に見せるため、ワタリから膝はある程度ゆとりをもたせ、膝下のバタツキもない。背裏から冷気がパンツ内に入らないよう、背裏スノーゲーターを装備。裾裏に配したパッドがリフトとブーツに挟まれた際の衝撃を緩和し、ウェアの損傷を軽減する。

武田　決勝の時に着ていたウェアは見ている側も着ている自分もいい印象だったように思ってます。

宮下　下で見ていても、スタートしたらすぐにわかるぐらい、緑とのコントラストがはっきりしていて、クリーンなイメージだったので、印象としてはすごく良かったよね。

武田　はい、僕もそう思いました。全体的に華やかで、色も鮮やかなグリーンなので、見ている方もはっきり見えたと思うし、着ていても、気分的にもすごくいい気分でスタートできました。

宮下　着心地や動きやすさはどうでしたか?

武田　僕はスタート前にかならず各種目ごとにウォーミングアップをするのですが、身体をクロスさせるような動きをしても、ストレッチがかなり効いてるように感じるし、滑っているときも、何のストレスもなく動かすことができて、すごくよかったです。

宮下　手を上げたときにジャケットの裾が引っ張られて上がったりしないように工夫されていたり、肩回りの動きが制限されないようなパターンで作られていたり、単純にデザインだけでなく動きやすさも、すごく考えられていますよね。

武田　パンツも、ちょうど膝や股関節などは、不整地になるとすごく違いを感じるところなのですが、その辺もスムーズにしなやかに動かせる感じだったので、すごく考えて作られているなと感じました。

宮下　気づかない人が多いんだけれど、リフトに乗るときに搬器がブーツとの間にあたって、後ろ側の表素材が傷んでしまわないようにクッションがつけられていたりするのですが、それは気づいてました?

武田　気づいてないです(笑)。

宮下　ふくらはぎあたりにパッドが入っていてあたって破けるのを軽減させたり、意外と気づかないけれど工夫をされていることも多いんですよ。

武田　そうですね、着てみてわかるとか、よく見るとわかるとか、そういうのも多いかもしれないですね。それだけうまく作られているんですね。

宮下　袖口も外側と内側と長さを変えてあるとか、細部が本当に凝っています。

武田　着用しているスキーヤーの意見を取り入れられている部分もあって、リクエストどおりにできているなと感じます。

宮下　たとえば検定を目指している人が、これからウェアを買うときに何かアドバイスできることは?

武田　それを着た自分が、どれだけゲレンデで楽しく滑れるかというのを想像しながら選ぶといいと思います。これを着てスキーをしたいなって思うものを着て、楽しく滑ってほしいですね。検定は、そのなかで気持ちさえうまく持っていければ、それが滑りになって表現できると思うので。

GOLDWIN

Goldwin

躍動感、スキーの軌跡、自然や山を表現。ロゴを一新し、新コレクションを発表

ブランドの中心は、今も昔もスキー。そのスキーを起点に、より魅力的な製品や世界観を提案するブランドをめざして、GOLDWINはこの度ロゴマークを一新した。3つのエレメントによって構成される新しいロゴマークは、躍動感やエネルギー、スキーの軌跡、そして自然や山のシルエットを表現。この新しいロゴの誕生とともに、今季、ウィンターマウンテンアクティビティの新コレクションをリリース。「滑りたい」と思うその瞬間、スキーヤーの傍にあり続けるブランドであること。そして、“DEDICATION TO DETAIL”。つまり、細部にまで敬意を払ったものづくりの精神を持ち続けること。素材選びから設計まで、一貫してブランドのこだわりを貫くことを大切に。新しいロゴとともに歩み始める、新たなGOLDWINブランドに、ますます注目が集まりそうだ。

Tellus Jacket
G11813P
¥54,000+税
XXS~XXL
全5色

“Streamline”がテーマの新コレクション

スピード感や流線形を想像させるデザインに、カーブ止水ファスナーを採用。雪やスキーから得たインスピレーションがベースとなっている。独自のテクノロジー〈3Dパターン〉と素材により、動きやすさと着心地の良さを実現。高い防水・透湿性を持つ〈GORE-TEX〉2レイヤーのなかでもソフトな風合いの生地を採用することにより、インナーに配した〈Primaloft black〉のかさ高性や風合いを最大限に活かした仕上がりに。脇下部分には〈GORE-TEX〉のニット素材を使用し、ジャケット裏側の肩甲骨付近の可動の多いエリアにはストレッチパネルを採用。ストレッチ性を持たせることがむずかしい〈GORE-TEX〉商品の動きやすさを実現した。リストカフにはフリースを採用。しっかりフィットし風・雪の侵入を防ぐだけでなく、肌あたりがよく快適。袖口のタブは、アジャスターの縫製を特殊裁断と接着技術により、フラットでミニマルな仕様。可動時にも引っかかりなくスムースな着心地。機能とデザインの融合によるオリジナリティあるカフ仕様に。

「〈GORE-TEX〉でありながらとても動きやすい。生地の硬さも感じられず、柔らかい感じがしてとても良い！　〈Primaloft black〉のインサレーションが入っているので暖かく、〈GORE-TEX〉だから風も通さないので保温性もあり、とても暖かい。カーディナルレッドのカラーも評判が良かったです。高級感があり、シルエットがきれいな点が気に入っています。縦にカットが入っているデザインも周囲からの評価が良く、作りも細かいところまでもかっこ良くできていると思います」（久保田知裕）

Athena Jacket
GL11853P
¥56,000+税
S~XL
全4色

シルエットや生地だけでなく、ポケットやチャックなどの細部にまで、女性らしさが追求されていると思います。なんといっても取り外しのできるファー。立ち姿は、誰が着てもリゾート感が漂い、滑り出せば、誰もが目を惹くエレガントな装いに。見た目だけではなく、〈GORE-TEX〉を使用することで濡れから身を守り、非常に軽量かつ抜群の保温性があるので、たくさん着込まなくても暖かく、着膨れすることなく雪上に立つことができます。また、伸縮性の良い素材を使用していることや、スキー特有の動きを妨げないカッティングから、動きを妨げることなく自然なままに着られると思います。私のお気に入りの勝負服になること間違いなし」（大場朱莉）

〈GORE-TEX〉の快適性をウィメンズコレクションに

2018年、シルエットとデザインにおいてコレクションを大きく刷新したウィメンズライン。なかでも代表モデルとなる《Athena Jacket》はアウトドアイメージの強い〈GORE-TEX〉の快適性を、スキーのフィールドで女性に体験してもらうことをコンセプトに、女性らしいデザイン、シルエット、素材、そして着心地に着目して開発した高機能高品質ジャケット。女性の身体に沿うように作られたシルエットは、独自の〈3Dパターン〉によるもの。遠赤外線による高い保温性、柔らかい着心地を持つ〈光電子ダウン〉を背中心部に、耐久性があり、水濡れにも強く保温性を損なわなずダウンに近い柔らかさを実現した〈Primaloft〉を動きの多い袖部分と水濡れしやすいフード部分に配置。身体の熱を外部に逃さず、身体にふく射することにより快適な暖かさを持続する。上品で控えめな光沢のジャガードやオリジナルのメタルボタン、ブラインドホック、シルバーの転写マークなど、ノーブルで高級感のあるディテールを採用。フード部分の取り外し可能なファーは環境に配慮したハイクオリティーなエコファーを使用している。

BULKY FLEECE HOODIE
G51823P
¥15,000+税
XS~XXL
全4色

「軽量なのに保温性があり、使い勝手が良いです。ストレッチ素材を使用しているので、ストレスなく着用することができて、フードはフィット感があり、首元も高いのでフェイスマスクのように口元を覆えるため、バラクラバのような使い方が可能です。左袖のGOLDWINのロゴがアクセントとなりカッコイイ」（深沢祐介）

暖く、軽く、柔らかい、新感覚ニットパーカー

かさ高性を持ちながら、驚くほど軽く、柔らかく、暖かい新感覚のニットパーカー。裏面の柔らかい起毛の糸が表に出ない特殊な編み組織を使用し、表面は耐摩耗性に優れている。かさ高な起毛により熱を閉じ込め、保温性、断熱性にも優れた素材を採用。ストレッチ性にも優れているので、激しい動きをともなうシーンにも最適な一着。

PHENIX

世界で戦うトップアスリートのパフォーマンスを頂へと導く最高峰ウェア

世界屈指の雪上パフォーマンスを支える。最先端技術による機能性と機能美

世界トップレベルのノルウェーアルペンスキーチーム着用モデル。最高峰のレーシングマシーンからインスパイアされたデザインがシャープな印象を与える。ディテールはさらに高機能に進化を遂げ、パウダータッチの4WAYストレッチ素材が抜群の快適性を実現した〈ORCA SHELL®〉ウェア。

Norway Alpine Team Jacket
PF8720T00
¥67,000+税
全3色
S~XXL

滑りを支え、技術を魅せる。闘いの頂点へと導く最先端ウェア

フェニックスの持つノウハウを結集し、技術選大会出場選手のために開発した〈ORCA SHELL®〉ウェア。レーシングマシンを想起させるカラーリングとカッティングが、滑りをより美しく迫力のあるものに魅せる。背中部分には、抜群の伸長力を持つ〈ライクラ®ファイバー〉を採用し、激しい身体の動きをサポートする。

Demo Game Pro Jacket
PF8720T10
¥56,000+税
全3色
S~XL

フェニックスがトップアスリートのために、独自に開発した〈ORCA SHELL®（オルカシェル®）〉は、縦横に伸びる4WAYストレッチ素材を採用。抜群の運動性と快適なフィット性により、アスリートのパフォーマンスを支える革新的なウェアである。

抜群の着心地と独創のカッティングデザイン。ハイスペックを搭載した最新鋭ウェア

レーシングマシンを彷彿とさせる大胆なカッティングが特徴の〈ORCA SHELL®〉ウェア。軽やかな着用感を実現する〈3-D AIR CUTTING〉と、4WAYストレッチ素材が、ハイレベルなパフォーマンスをサポートする。カラーは全6色、サイズ展開もXXS~XXLと、幅広いスキーヤーのニーズに対応する。

phenix Team Jacket
PF8720T03
¥48,000+税
全6色
XXS~XXL

MIZUNO

“REAL STORY”
本物への強いこだわりと誇り

Skier_Keisuke IYAMA

「その一瞬に、その0.01秒に、大きな違いをつくる」。総合スポーツメーカーとして、世界のトップアスリートたちの繊細な感覚に応えてきたミズノ。そのこだわりは、瞬間、瞬間に明確な差を生み出すこと。人体から発生する水分を吸収して発熱効果をもたらす保温メカニズム〈ブレスサーモ〉や、ウェア芯地にアルミニウム薄膜を特殊コーティングし、身体の熱を反射して保温効果を高める〈リフレクションギア〉など、ミズノが生み出した革新的なテクノロジーは数知れない。本物であることにこだわりと誇りを持つ。ミズノが描くビジョンはまだまだ進化しそうだ。

今すぐスキーに行きたくなる ポップなデザインのフリースキーモデル

見るたびにスキーに行きたくなるような楽しさ、高揚感を連想させるポップなデザインのフリースキーモデル。印象的なファスナーデザインにプリントモチーフは“MOSAIC & DRAWING”。奥行き感のある立体にドローイング調の草木をちりばめ、大人っぽいポップさを表現。ソリッドカラー、プリントカラーに加え、ウィメンズシルエットを展開。幅広いコーディネートから自分に合う一着を選べる。ウェア内の汗や湿気を吸湿し、発熱した空気を繊維間に取り込み、ドライで暖かな状態に保つ〈ブレスサーモ〉と、芯地にアルミニウム薄膜を特殊コーティングし、身体の熱（赤外線）を反射、適度な透湿性でムレを抑える〈リフレクションギア〉を採用。

個性的なカラーブロックプリントが 力強く斬新なレーシングモデル

デザインコンセプトは“TONAL BLOCK”。大胆な切り替えのように見えるブロックプリントのレーシングモデル。雪上で力強さと斬新さを感じられるアシンメトリーデザイン。カラーによって、同系色のグラデーションやレトロな雰囲気を感じさせるカラーなど、それぞれに個性的。ウェア内の汗や湿気を吸湿し、発熱した空気を繊維間に取り込み、ドライで暖かな状態に保つ〈ブレスサーモ〉と、芯地にアルミニウム薄膜を特殊コーティングし、身体の熱（赤外線）を反射、適度な透湿性でムレを抑える〈リフレクションギア〉を採用。パンツはレーシング対応のサイドフルオープンファスナー仕様。

Z2ME8340
¥44,000+税
2XS~2XL WS~WXL
全11色
※Women'sサイズは
02/14/44/70/71/74カラーのみの展開

Z2MF8340
¥33,000+税
2XS~2XL WS~WXL
全11色
※Women'sサイズは
02/14/44/70/71/74カラーのみの展開

Z2ME8310
¥44,000+税
2XS~2XL
全5色

Z2MF8310
¥33,000+税
2XS~2XL
全10色

ONYONE

勝つために選ぶウェア。素材や機能への徹底したこだわり

Skier_Ikuma HORISHIMA
Photo_Hiroyuki SATO

新潟県長岡市に本社を構えるONYONE。“勝つために選んだ”をテーマに、素材や機能にこだわり、つねに新しいシーンにチャレンジするというのが同社のモットー。フリースタイル・モーグルでは、堀島行真選手が着用しており、昨季は、ONYONEウェア着用の日本選手として、初めて世界選手権で優勝。今季もワールドカップで3勝を上げるなど躍進中。海外では、アンドラ公国のナショナルチームがユニフォームとして採用している。その他、柏木義之選手など、多くの技術選出場選手をサポートしている。

SAJ30承認第00608号

DEMO OUTER JACKET ONJ91042
¥50,000+税
3S~XO

DEMO PANTS ONP91052
¥35,000+税
3S~XO
※6·7月限定特殊サイズ
オーダー可能

100分の1秒を争うアルペンレーサーへ

空気抵抗を下げる〈ストライプ〉素材を使用し、動きやすさを追求した立体裁断を採用。風洞実験を繰り返した結果、素材のストライプ状の凹凸が、SL·GS競技での速度域（30~50km）で空気抵抗値を下げる効果が実証された。パットは取り外しが可能で、各種プロテクターにも対応。細部までこだわった日本製。

SPECIAL GSL RACING SUIT (For FIS) ONO91074
¥120,000+税
SS~XO
※6·7月限定品番

#100 WHITE

#F024x009
F.PINKxBLACK

滑りのシルエットにこだわるデモスキーヤーへ

ジャケットは、防水とデザインをかねたシームラインが特徴。黒のラインが全体を引き締めてシャープな印象に。パンツは、動きを表現しやすいライン入りモデルと、ノーマルなラインなしモデルから選択が可能。6·7月限定で、ジャケットは選手と同様のONYONEロゴ入りシームラインのシェルジャケットもオーダー可能。

Skier_Hayata WAKATSUKI
Photo_Hiroyuki SATO

Skier_Yoshiyuki KASHIWAGI
Photo_Hiroyuki SATO

SAJ30承認第00637号

DEMO WRAP JACKET ONJ91041
¥60,000+税
※6·7月限定品番

SAJ30承認第00638号

MILLET

マウンテニアリングで培ったノウハウが光る。フランス生まれの老舗アウトドアブランド

1950年、人類初のヒマラヤ8,000m峰登頂を支えたのはミレーのザックだった。この快挙をきっかけに、マウンテニアリングの世界で一躍脚光を浴びたミレーは、その後も時代を象徴する登山家やガイドとともに登山史に名を刻み続ける。そして、それまでのノウハウを活かし、2000年頃から本格的にスキーウェアの開発に乗り出し、2018年の冬季五輪ではオーストリア代表チームの公式ユニフォームに採用された。フランスを代表するアウトドアブランドとして、名峰モンブランの麓から独創的かつ革新的な製品を発信し続けている。

7/24 STRETCH JKT

¥48,000+税
XS~L
全4色

パウダーからゲレンデまで対応するフラッグシップモデル

ミレー独自の防水透湿素材〈ドライエッジ™〉のなかでも、とくにストレッチ性に優れた生地を採用したフラッグシップモデル。フルシームシーリングを施し、耐水圧20,000mmの完全防水仕様。中綿にリサイクル素材を60%含んだ〈プリマロフト® ブラック〉を採用し暖かいうえ、20,000g/㎡/24hと透湿性にも優れ、激しい動きを伴うフリーライディングでも効果的に熱気を外に逃がす。首元の快適さとベンチレーション機能を備えたマチ付きのプロテクティブカラーや、脇下ジップベンチレーション、肩の補強、〈ライクラ®〉パネル入りストレッチパウダースカート、〈コネクティングパンツシステム™〉なども装備。

ATNA PEAK JKT

¥29,000+税
XS~L
全3色

スキーに必要な機能がしっかり詰まったスタンダードモデル

ほどよいストレッチ性と10,000g/㎡/24hの透湿性が、快適さと温度調整機能を発揮するジャケット。フルシームシーリングを施し、耐水圧10,000mmの完全防水仕様。運動性を重視したフィッティングと暖かさを確保するポリエステル100%の中綿に加え、脇下ジップベンチレーション、パウダースカート、〈コネクティングパンツシステム™〉、サムホール付き〈ライクラ®〉インナーカフ、ゴーグルワイパー付きチェストポケットなど、スキーに求められる機能を過不足なく備えたスタンダードモデル。

SALOMON

全日本技術選優勝、吉岡大輔選手着用ウェア。保温性と動きやすさを高次元で両立

Photo_Hiroshi SUGANUMA

保温性と動きやすさを兼ね備えた注目ジャケット

〈AdvancedSkin Warm〉のインサレーションを100g/m²と惜しみなく使用したジャケット。体温に即した温度調整を可能にし、熱気と冷気のバランスを絶妙に調整。もちろん保温性にも優れているので、滑走時はもちろんのこと、リフトに乗っている時も寒さを感じることなく過ごせる。また、サロモンのオリジナルパターン〈MOTIONFIT〉を採用。肩周りに余裕を持たせ、腕の上下動をスムーズにし、肘関節の動きも妨げることなく快適な曲げ伸ばしが可能に。また、滑走中にフードを着用していても首と肩をしっかり動かせるのも特徴。吉岡大輔選手着用カラー、SULPHUR SPRINGは今季の注目色となりそうだ。

ICEFROST JKT M
¥43,000+税
S~XL
全4色

1947年に南フランスの街アネシーでスタートしたサロモン。スキーのエッジとバインディングから始まった小さなブランドは、瞬く間に世界を代表するスキー用品メーカーへと成長を遂げる。その後、ギアで培った知識と経験をアパレルシーンで開花させるのに、それほど時間はかからなかった。「より暖かく、より快適に」をテーマにした高機能素材〈AdvancedSkin〉シリーズや、スポーツの動きを徹底的に研究して開発されたオリジナルパターン〈MOTIONFIT〉など、独自に開発したテクノロジーを存分に注入したスノーウェアは、多くのスキーヤーから高く評価されている。なお、サロモンライダーである吉岡大輔選手が、今季の全日本技術選手権大会で見事優勝を果たしたことも、サロモンウェアの優れた性能を証明していると言えそうだ。

ゲレンデからバックカントリーまで汎用性に優れたパンツ

オンピステからバックカントリーまで幅広く使える、非常に汎用性の高いビブパンツ。オリジナルパターン〈MOTIONFIT〉を採用。ヒップ部分には滑走時の上下動にしっかり対応するパターンブロックを配置。さらに、全面に4WAYストレッチ素材を採用し、動きの激しい膝上部分の屈伸運動がストレスなく行なえるようになっている。優れた防水性を持ち、湿気を逃がし、つねにドライで快適な〈AdvancedSkin Dry〉と、体温に即した温度調整を可能にし、熱気と冷気のバランスを調整する〈AdvancedSkin Warm〉を適材適所に配置し、それぞれの良さを引き出すことに成功している。

CHILL OUT BIB PANT M
¥34,000+税
S~XL
全3色

COLMAR

機能性の高さとイタリアンデザインが魅力。フランスチームをサポートする老舗スポーツウェア

モータースポーツの祭典「F1イタリアGP」が開催される北イタリアのモンツァ（Monza）で1923年に創業した老舗スポーツウェアブランド、コルマー。さまざまなスポーツウェアを展開しているが、なかでもスキーウェアは1930年代から長きにわたって手掛け、革新的な素材やアイディアを次々に開発し、取り入れてきた。モータースポーツに用いられる空気抵抗の技術を1950年代にスキーウェアブランドとして初めて採用したのもコルマーだ。その高い機能性はフランスナショナルチームをはじめ、多くのトップアスリートらが支持。ノスタルジックなイタリアデザインでありながら、ファッションの都ミラノに隣接していることもあり、デザインには最先端の流行も取り入れられている。

トリコロールが鮮やかなフランスチームウェア

フランスの3色旗、トリコロールをテーマにデザインされたジャケット。色鮮やかな青・白・赤の3原色は、一目見ただけでフランスをイメージさせる。トリコロールは、フランス革命で将校たちが使用した帽子や腕章に使われた色から取り入れられているという。スキーアルペン競技において、近年目覚ましい躍進を遂げているフランスチームが、さらなる革命を続けるためのチームウェアと言えそうだ。

FRANCE TEAM REPLICA JACKET

価格未定
46（M）～54（XXXL）
全1色

デザイン性に優れた人気のミドルジャケット

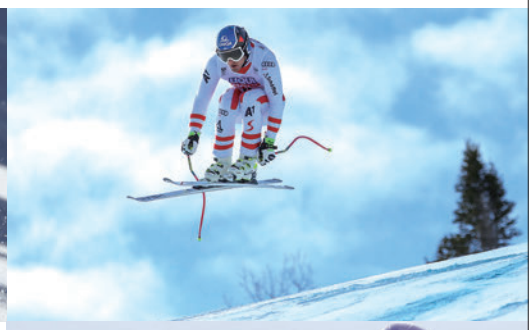
本場イタリアでは、スポーツウェアで培った機能性が取り入れられていることもあり、アパレルウェアも人気が高いコルマー。そんなアパレルウェアに引けを取らないデザイン性の高さが魅力のミドルジャケット。表面に〈ライトマイクロリップナイロン〉を使用し、中綿には115gの化繊綿を入れることで、高い保温性と軽量を両立している。昨年のラインナップでは一番人気だっただけに、今年も大注目の一着。

FRANCE TEAM REPLICA INSULATION MID JACKET

価格未定
46（M）～54（XXXL）
全1色

Schöffel

オーストリアアルペンナショナルチームを支える本格レーシングウェア、ショッフェル



オーストリアチーム着用 ワンピース

オーストリアアルペンスキーナショナルチーム着用のレーシングスーツ。トレーニング用、スラローム用。アナトミックカット（立体裁断）を採用し身体にしっかりとフィットし、アームと下肢にはプロテクションパッド入り。防風・撥水仕様で、生地は耐水圧10,000mm、透湿10,000MVTR。内側は起毛仕様で、保温性を確保。裾はシリコンバンド採用。OSV（Austrian ski team）のロゴプリント入り。

Race Suit A RT
¥60,000+税
S~XL（EUサイズ）
全2色

オーストリアチーム着用 レプリカモデル

オーストリアアルペンスキーナショナルチームのスキージャケットとパンツのレプリカコレクションモデル。今季は赤を基調としたスタイリッシュなデザイン。ソフトタッチで4WAYストレッチのショッフェルオリジナルの〈Venturi Stretch〉生地を採用。中綿には〈プリマロフト〉を使用。動きやすさと快適性を高次元で実現している。パンツは両サイドフルレングスオープン仕様で着脱が簡単。

Ski Jacket Arlberg2 RT
¥68,000+税
46~50（EUサイズ）
全1色

Stretch Pants Zip M RT
¥48,000+税
46~50（EUサイズ）
全2色

1804年ドイツ発祥のスキー・アウトドアブランド、ショッフェル。ミュンヘンから1時間ほどの小さな田舎町で生まれたショッフェルは、ドイツ職人の気質とテーラード技術が融合し、テクニカルクロージングのスペシャルブランドとして発展。2008/2009シーズンからは、オーストリアアルペンスキーナショナルチームのオフィシャルサプライヤーとなり、選手やコーチのレーシングウェア、スキーウェアをサポート。以来、トップアスリートとともに数々の表彰台を飾っている。

state of elevenate

スウェーデン発、スキーウェア専門ブランド。着心地、使いやすさを追求し、環境にも配慮

暖かさと動きやすさを重視したフリースキーウェア

ジャケットは、フロントと袖部分に薄めのインサレーションを配備。スタイリッシュなデザインで、ブルーサイン認証済みの〈GORE-TEX〉素材や100%リサイクルできる素材を採用するなど、自然環境にも配慮。ワークウェアデザインを取り入れたパンツは、〈GORE-TEX〉2レイヤーで、膝や後部に薄めのインサレーションを配備。必要な部分にだけ保温効果が施され、ゲレンデやバックカントリーでのアクティブな動きにも対応し、適温を維持する。

M Creblet Jacket
¥79,000+税
S~L(EUサイズ)
全4色

M Creblet Pants
¥64,000+税
S~L(EUサイズ)
全4色

〈GORE-TEX PRO〉3レイヤーの多機能ウェア

〈GORE-TEX PRO〉3レイヤーを採用し、ゲレンデだけでなくバックカントリーにも最適。ウェットスーツからインスピレーションを得て、肩や腕の動きやすいカッティングを追求。どんな環境でもストレスなく動ける。シンプルなデザインと発色のいいカラーリング、女性らしいシルエットが特徴。パンツは、スッキリとした脚長シルエットでありながら、動きやすい。簡単に脱着可能なストレッチビブ付きで、ウエストを締め付けない。ベンチレーションやポケットの使い勝手もよく、本格的ツアリングスキーにも対応。

W Bec de Rosses Jacket
¥83,000+税
XS~M(EUサイズ)
全4色

W Bec De Rosses Pant
¥74,000+税
XS~M(EUサイズ)
全4色

スウェーデン発のスキーウェア専門ブランド、ステートオブエレベネート。創立者のジミー・オデーンとサラ・ロングレンの経験と情熱が注ぎ込まれている。国際山岳ガイドとして世界中の山々を登り、滑り、書籍『FREE SKIING』を書き上げたジミーと、スウェーデンナショナルチームのモーグルスキーヤーとして世界を転戦したサラ。「スキーヤーとしてのプライドを持ち、本当にいいものを着たい」との想いを軸に、フィールドテストを繰り返し、細かな部分まで着やすさ、使いやすさを追求。環境に配慮し、丈夫で長持ちする製品を心がけ、世界でもっとも厳格な基準ブルーサイン認定の素材やリサイクルマテリアルを使用している。

PEAK PERFORMANCE

バックカントリーからゲレンデまで一着で。北欧生まれ、こだわりのデザインと機能性

進化を続ける フラッグシップモデル

2010年の登場以来、つねに進化を遂げているフラッグシップモデル。優れたデザインと技術革新によって磨かれた、ピークパフォーマンスを代表するジャケット。本格的なバックカントリーだけでなく、ゲレンデスキーまで、あらゆるシーンをカバーする〈GORE-TEX　C-Knit〉を採用。滑らかな着心地、絶妙な高さの襟元、フード周りの形状、動きを妨げない立体裁断など、長年ブランドの象徴となっているのも納得。

Alpine Jacket
¥86,000+税
S~XL
全5色

冬から春まで この一着で大活躍!

無駄を省き必要な機能だけを備えたシェルジャケット。《Alpine Jacket》とは一味違う色使いで、山でもゲレンデでも映える一着。シルエットもオーソドックスで、時期や環境に応じて、中に着るミッドレイヤーの組み合わせを変えることで、厳冬期でも、春スキーでも快適に楽しめる。シェルジャケットの購入を検討しているスキーヤーのファーストアイテムとしてもお薦めのモデル。

Gravity Jacket
¥74,000+税
XS~XL
全5色
※Zipperは黒色になります

1986年にスウェーデンでスキーヤーによって生み出されたブランド、ピークパフォーマンス。現在はスキーのみならず、アウトドア、ランニング、ゴルフ、カジュアルなど、ライフスタイルすべてを網羅するラインナップが揃っている。スキーでは、ゲレンデからバックカントリーまで、さまざまなシーンで活躍するウェアを展開。ミニマルでありつつ、絶妙なカラーリングが特徴のデザイン。さらに、素材やカッティングはもちろんのこと、ディテールにも徹底的にこだわった機能性の高さは、北欧生まれのブランドならではと言えるだろう。近年は、フリーライドスキーの世界大会「Freeride World Tour」のスポンサードも行なうなど、今スキーシーンで目が離せないブランドのひとつ。

THE NORTH FACE

山岳シーンでの知識と経験が生み出すウェア。滑ることを愛するすべての人々へ

優れた耐久性と防水透湿性、動きやすさを追求

《RTG Jacket》は、「登頂」と「滑降」というふたつのフィールドで極限を求めるライダーの要望に応えたスノーフィールドジャケット。優れた耐久性と防水透湿性を持つ80Dの3層構造の〈GORE-TEX PRO〉を身頃生地に採用。さらに今季は、肩、肘、脇の可動部分にストレッチ性のある70Dの〈GORE-TEX APEX PRO〉を採用。登攀の動きにあわせてストレッチし、どんな地形でも滑ることができる柔軟さが特徴だ。動きやすさを追求したカッティングとしなやかなストレッチ素材が動きにしっかり追従する。襟に干渉せずかぶりやすくなった独立型のフード設計、マチ付きのフロント大型ポケットなど、必要最小限の無駄のないシンプルなデザインに仕上がっている。ユニセックス対応の5カラー展開。

APEX GTX RTG Jacket
¥62,000+税
WS、WM、S〜XXL
全5色

3D設計とストレッチ素材でライディングをサポート

ジャケット同様に、「登頂」と「滑降」というふたつのフィールドで極限を求めるライダーの要望に応えたスノーフィールドビブパンツ。80Dの3層構造の〈GORE-TEX PRO〉を身頃に使用し、お尻とひざ下部分にはストレッチ性のある70Dの〈GORE-TEX APEX PRO〉を採用。ライディングスタイルを考慮した3D設計デザインに加え、しなやかなストレッチ素材が滑り手のパフォーマンスをサポートする。フロントチェストと大腿部にマルチポケットを完備。アジャスタブルベルトでウエストサイズの調整が可能となっているほか、〈ドロップシート〉設計を採用することで脱着しやすい仕様に。こちらもユニセックス対応で4カラー展開。

APEX RTG Bib
¥50,000+税
WS、WM、S〜XXL
全4色

1966年にアメリカで創業したTHE NORTH FACE。アウトドア用品をはじめ、トレッキングや登山用品など、ラインナップの豊富さも魅力だ。登山がより険しい北側を指す“ノース フェイス”がブランド名の由来というだけあり、とくに山岳シーンにおいて、革新的な製品を開発・発表してきた。今回紹介する〈STEEP SERIES〉は、これまでの山岳シーンでの知識と経験を存分に注ぎ込んだシリーズとなっている。激しいライディングに追従する運動性と、過酷な環境下に対応する防護性など、機能を徹底的に追求。ライダーから得たオピニオンを活かしたラインナップは、滑ることを愛するすべての人々のニーズに応えるアイテムと言えるだろう。

ARC'TERYX

飽くなき発想力で、アウトドアアパレルのスタンダードを塗り替える

Rush LT Jacket Men's
¥82,000+税
S~XXL
全3色

Rush LT Pant Men's
¥61,000+税
S~XL
全2色

1989年にクライミング用ハーネスのメーカーとしてカナダで誕生したARC'TERYX。1994年に初めてのバックパックをリリースし、意外にもアパレルをスタートさせたのは1998年。現在ではアウトドアアパレルの業界標準となった止水ファスナーや、顎に当たらない絶妙なカーブで止水ファスナーをオフセットして話題となったジャケット《Sidewinder》など、その発想力の高さは随一。機能性とデザインのどちらも疎かにしない仕上がりは他を圧倒するものがある。近年ファッションシーンでも注目を集めるARC'TERYXだが、その真価は雪山の過酷な環境でこそ体感できるだろう。

軽く収納性に優れた〈GORE-TEX PRO〉シェル

防水透湿性に優れた〈GORE-TEX PRO〉3レイヤーを全面に使用したフリーライドスキーアルピニズム・バックカントリーツーリング用ジャケット。〈GORE-TEX PRO〉3レイヤーの40デニールをメインに、補強が必要な肩などの部分には80デニールを使用。登る、歩く時間の多いスキーヤーにお薦めの軽量モデル。人間工学に基づいたオリジナルパターン〈e3D〉を採用。身体にフィットし動きやすく、着用時の軽量感が非常に優れている。あえてパウダーカフをなくし、腰回りの快適性を高め、脱いだときにコンパクトに収納できるのも魅力。〈GORE-TEX C-NIT〉をメイン素材に使用し、軽量で透湿性に優れた《Rush LT Pant Men's》との組み合わせが最適。

Rush Jacket Men's
¥84,000+税
S~XXL
全4色

Stinger Bib Men's
¥73,000+税
S~XL
全2色

耐久性に優れオールラウンドに使える定番モデル

〈GORE-TEX PRO〉3レイヤーの80デニールを全面に使用した定番モデル。《Rush LT Jacket Men's》と比べると、80デニールの生地のみを使用しているため、より丈夫で、耐久性に優れた一着。バックカントリーからゲレンデまでオールラウンドに着用できる点も特徴。こちらはパウダーカフ付きで、より汎用性に優れていると言えるだろう。ジャケットの脱ぎ着がそれほど多くないような厳冬期にも最適。人間工学に基づいたオリジナルパターン〈e3D〉を採用し、動きやすさは同様。通気性と耐久性に優れ、厳しい天候時でもしっかりと身体を保護してくれるビブパンツ《Stinger Bib Men's》との組み合わせがお薦め。

Special Talk on Sieger

ARC'TERYX × VECTOR GRIDE

**ARC'TERYXのコマーシャルマネージャー、高木賢と
VECTOR GRIDE代表、秋庭将之が、モノづくりへの思いを語り合った。**

―― **秋庭さんは昨季からアークテリクスのウェアを着られているそうですね。いかがですか?**

秋庭　立体裁断が絶妙で、動きやすいですね、滑っても、登っても。それと、膝や肘がすごく動かしやすいので、軽く感じます。持ったときよりも、実際に着て動いたときに軽さを感じます。あとは生地が強くて、丈夫。そして、レイヤリングに苦労しないです。ベースレイヤー、ミッドレイヤー、シェル、とありますが、そんなに迷わない。ささっと準備できていいですね。

―― **秋庭さんとの出会いを教えてください。**

高木　アークテリクスには3つ大事にしている言葉がありまして、デザイン、クラフトマンシップ、パフォーマンスです。これがアークテリクスのモノづくりの根幹になるのですが、どれが欠けても良いモノづくりはできません。ヴェクターグライドのスキーも、デザイン、クラフトマンシップ、パフォーマンスが揃ったものだという印象をかねてから持っていて、それを作っている作り手の方に着てもらうことは、アークテリクスの信念に合っているなと思ったのです。

秋庭　僕も、先日ニセコで4日間、デザイナーの方も含めてミーティングをして一緒に過ごしました。日本は北米やヨーロッパの雪山とはまた少し違った条件下ですので、そういったなかでのフィーリングやリクエストも伝えていきたいなと思いました。

―― **アークテリクスというブランドについて、少し教えていただけますか。**

高木　アークテリクスは、もともとクライミング用ハーネスのブランドとして生まれて、本当にニッチなガレージメーカーでした。今では会社はある程度大きくなりましたが、その精神は変わっていません。デザイナーはアウトドアアクティビティをやる人間ばかりなのですが、自分がやるカテゴリーの商品しかデザインしないんです。自分のアイディアをどうやって一般のユーザーに伝えていくかということをつねに考えています。秋庭さんが評価してくださった立体裁断も、〈e3D〉と呼んでいるんですが、「エルゴノミック 3ディメンショナル パターニング」といって、人間工学に基づいた3Dパターンです。単純に見た目を立体化するのではなく、必要性があるので立体化する。紙のパターン上でなんとなくデザインするのではなく、アークテリクスのデザイナーはつねに3Dでモノづくりを考えています。実際に商品の上にラインを引いてみて、それをもとに試作品を作り、アスリートとともにフィールドに出て、動きやすいのか、切り替えが本当に引っかからないのか、そういったことを確認して戻って、また作り直す。細かい確認の段階をひとつひとつ経てでき上がっています。最近は少しファッション寄りのイメージを持たれている方も多いかもしれませんが、根幹はアウトドアブランドなので、素材選びひとつにしてもこだわり続けています。そのあたりはフィールドで風雪に叩かれたときに違いがわかってもらえると思いますね。

―― **アークテリクスが創業したのはいつ頃ですか。**

高木　1989年にハーネスのメーカーとしてスタートして、その後、1991年にアークテリクスというブランド名に改名した際に、創業者のクライマー達が「岩を登って、自由な空にはばたいていく」というイメージで、おそらく最初に飛んだ爬虫類であろう「始祖鳥」のロゴマークを使い始めました。1994年にバックパックを初めてリリースし、アパレルがスタートしたのは1998年。今ではカテゴリーとして一番メジャーなのがアパレルですが、94年から98年までの4年間は、とにかく最高のアウトドアアパレルを世に送り出すための準備期間でした。

**デザイン、クラフトマンシップ、パフォーマンス。
どれが欠けても良いモノづくりはできない**

高木 賢 Ken TAKAGI

ARC'TERYX 部長

ブランドとしての信念

―― **最初のウェアはどのように開発されたのですか。**

高木　現在は業界標準となっている止水ファスナーですが、これを発案しYKKと共同開発するところから始まりました。そして、世界中の防水透湿素材を徹底的に調べ、透湿性、耐水圧、剥離強度などをテストした結果、もっとも機能のバランスに優れていた〈GORE-TEX〉にこだわることに決めました。そのようにして、商品化するのに4年かかった最初のジャケット《Alpha SV》は、当時1000ドルくらいしたのですが、ディーラーさんからのオーダーで一瞬で売り切れました。アークテリクスの商品は、商品名自体は変わらないものが多いのですが、素材を変更したり、新技術を投入して進化しています。止水ファスナーを開発したデザイナーもまだ社内にいますが、彼はフライフィッシングが好きで、テントの上のファスナーを開けたとき、そこから水が漏れたことを不満に思い、ファスナーに自分でシリコンを塗ったのが始まりなんです。最近のアウトドアのブランドは、デザインを外の会社に出しているところが多いのですが、アークテリクスはデザイナーをすべて内部に抱えています。ひとつの商品のアップデートに2年、3年という時間をかけます。カナダに自社工場を持ち、デザイナー自ら縫製の指示をして、思いどおりの製品に仕上げる。デザイナーとしては最高の条件です。ただ、自由にできるぶん、完成度へのプレッシャーはすごいと思いますけれど。

―― **そういったプレッシャーは秋庭さんも日頃感じているのでは?**

秋庭　規模は違えど、共通する部分はかなり多いですね。MD（マーチャンダイザー）主体のモノづくりではないというところは、ヴェクターグライドもまったくそのとおりです。ブランドをスタートさせた15年前、国産のパウダー系のスキーということで、価格的には高かったし、周囲からも高い、高いと言われていましたしね（笑）。でも、最高のマテリアルを厳選して、製法も量産ではなく、一台一台しっかり時間をかけて作る。コストは当然高くなります。工場に何度も足を運んで製作過程を見るたびに、決して高くないと感じます。芯材となる木を2年半天然乾燥させて寝かせ、木が持つ特性を引き出し、そこから成型に入り、各モデルに合わせたマテリアルを組み合わせて、テストスキーを作る。そして、ファットスキーであっても、パウダー以外で使うことも想定して、アイスバーンからボコボコの荒れたバーンまであらゆるシーンを、かなりハイスピードで試します。上手いスキーヤーがいろいろな場面で飛ばして滑ったときも安全に楽しめる性能があるかどうかは、非常に重要です。そのあたりは、他のパウダー系スキーと大きく違うところだと思います。

―― **リピーターが多いと聞きましたが。**

秋庭　そうですね。満足いっていなければ次に購入することはないと思うので、とてもうれしいことです。値段は確かに安くないと思います。乗り味がよかったのか、デザインがよかったのか、ブランドを気に入ってくれたのか、何かしらの満足を得ていただき、また次も買おう、と思ってくれる。そういった点でも、ヴェクターグライドとアークテリクスは似ているんじゃないかと思います。僕が使っているアークテリクスのウェアやバックパックは、アウトドアのカテゴリーでは一番高い部類に入ると思うんですが、ヴェクターグライドもそれに近い。どこが他の商品よりも優れているのかということをお客様にちゃんと理解してもらって買っていただきたいので、その点をきちんと説明してもらえるお店に置かせていただくようにしています。

高木　信頼の置けるスタッフさんの言葉が一番の後押しになりますよね。

ロングセラーモデルの条件

―― **デザインや色使いなども共通点がありそうですね。**

秋庭　デザインは、シンプルで飽きが来なくて、長く使える耐久性のあるもの。素材としての耐久性、乗って楽しいと思う体感の耐久性、そして見た目のグラフィックデザインの耐久性も同じく大切だと思うんです。ヴェクターグライドをスタートさせた当時は、もしかしたら今でもそうなのかもしれませんが、世の中のスキー板のグラフィックは派手なものが多く、毎年変わっていました。派手なものは初めて目にしたときは特別なインパクト感がある。しかし、特別なだけにデザインとしての耐久性に欠けると思うのです。ですから、基本的にはシンプルに。時が経ても古さを感じさせないグラフィックを心がけています。アークテリクスの《Alpha SV》や《Sidewinder》など、長く続いているジャケットがあるように、ヴェクターグライドも15年前に一番最初に発表した《Cordova》というモデルは今でもアウトラインを変えずに作っていて、売り上げとしても、モデル別で1、2番くらい売れています。その開発のなかで、〈VMSE〉という、軟らかくて調整ができて、でも錆びないステンレスエッジを作り出したり、素材にメタルを使用したモデルやカーボンを使用したモデルというように、いろいろな選択肢もプラスしていますが、《Cordova》のスタンダードモデルは基本的にはずっと変わらずに作っています。

高木　それはまさにアークテリクスもそのとおりで、《Alpha SV》の一番最初のモデルと現在のモデルは、デザインはあまり変わっていないんです。そこに新しい素材や、当時はできなかった技術を投入して、より良いものにしていく、という考え方です。

秋庭　試乗会をやったりしても、初代の《Cordova》を履いてこられる方がいたり、同じ《Cordova》だけど、年代が違って、違うグラフィックのスキーを履いている人が集まって、あのときのあのカラーはどうだったよねとか、いろいろ話してくれたり。気に入っていたモデルがなくなってしまう寂しさってあるじゃないですか。そういう思いは自分自身もあまりしたくないですから。ある程度完成されているものだから、変にいじる必要がないというか、いじるべきではない。3年経ったからちょっと型をいじろうかっていじり始めてしまったら、《Cordova》は《Cordova》ではなくなってしまう。何か新しいものが必要であれば、新しいモデルとしてまた開発すればいいと僕は思っています。

―― **今後どのようにブランドを展開していく予定ですか?**

秋庭　ヴェクターグライドはまだまだ小さなブランドなので、試乗会のツアーをやって、ブランド自体を知ってもらうことが必要だと思っています。実際に乗っていただいて、ああ、こういうスキーがあるんだ、と知ってもらうこと。それをこれからもやり続けていこうと思っています。それと、ヴェクターグライドライディングアカデミーというのをやっていて、今持っている道具をより楽しんでもらうための技術的なフォローをし、ゲレンデからバックカントリーまでを安全に楽しむためのベーシックな技術を身につけてもらう。やはり思いどおりに滑れたほうが絶対に楽しいので。モノづくりをしている以上、ひとつの責任として、そういった環境を作っていきたいと思っています。

高木　アークテリクスもアカデミーというのを3つやっていて、6月にシャモニーでアルパインアカデミー、7月にスコーミッシュでクライミングアカデミー、2月にジャクソンホールでバックカントリーアカデミー。コンセプトはヴェクターグライドライディングアカデミーと一緒で、もちろん楽しんでもらうことも一面にはありますが、アルパイン、クライミング、バックカントリーという3つのコアとなるアクティビティを、安全に、より高い技術で楽しんでもらう、ということです。今後、日本でも開催できたらと思っています。

秋庭将之 Masayuki AKIBA

VECTOR GRIDE CEO

Special Talk on Sieger

ARC'TERYX×VECTOR GRIDE

素材の丈夫さとしての耐久性、乗って楽しい体感の耐久性、そして、見た目のデザインの耐久性も同じく大切

KANDA SAPPORO NIIGATA SENDAI KOBE
THE NORTH FACE b.c.map club KANDA
b.c.map
backcountry & powder ski shop

Photographer
菅沼 浩 @北海道 Skier 塚原美幸

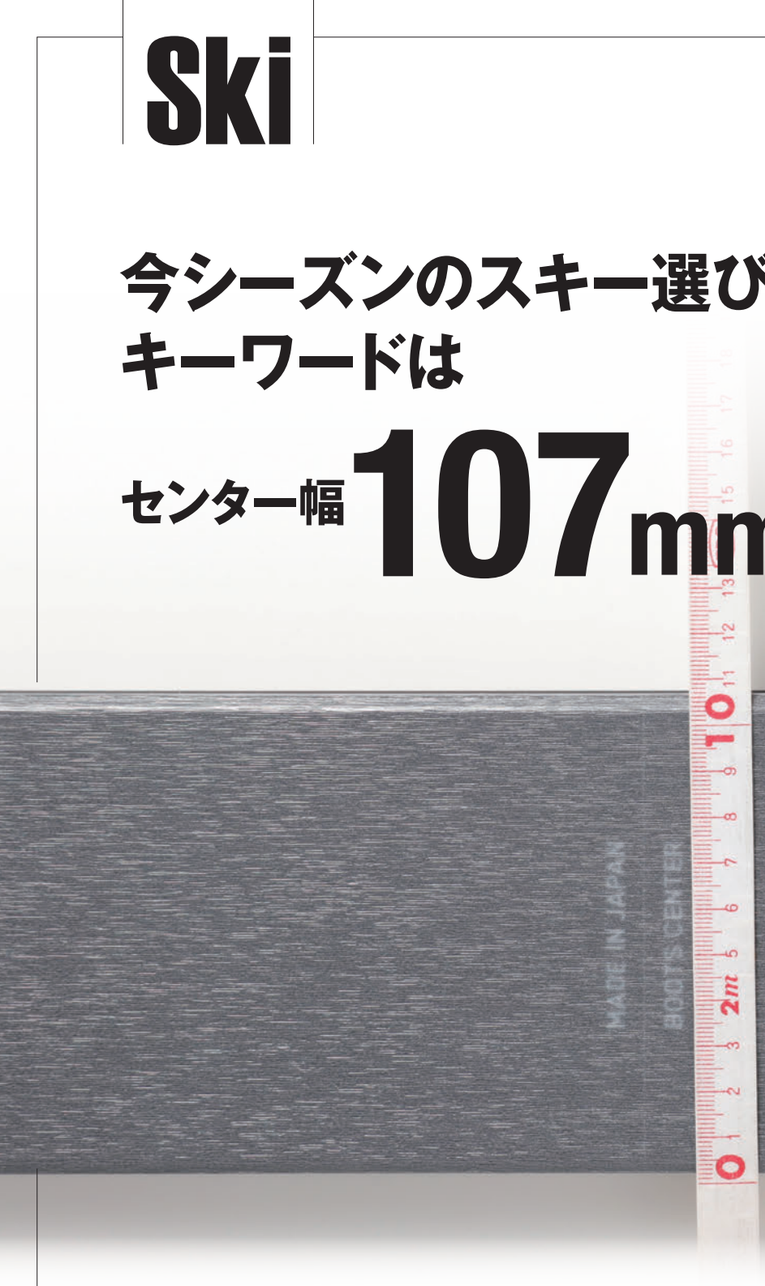
KANDA SAPPORO NIIGATA SENDAI KOBE
THE NORTH FACE b.c.map club KANDA
b.c.map
backcountry & powder ski shop

Photographer
菅沼 浩 @北海道
Skier
児玉 毅

Photographer
菅沼 浩 @北海道
Skier
浅川 誠

今シーズンのスキー選びのキーワードは

センター幅107mm(±1mm)



b.c.mapでは日本での最適なバックカントリーフリーライドスキーを追い求め、つねにリサーチとテストをしてお客様へお薦めするモデルを選択していますが、ここ数年でメーカーのモノ作りの傾向が変化してきていると言えます。それはヨーロッパを中心に数年続いた小雪の影響などもあり、欧米メーカーのスキーは以前よりスキーの幅が狭くなる傾向が見られ、ハードな雪面への対応を高めています(たとえばセンター幅100mm前後のメタル入りモデル)。しかし、世界中から"JAPOW"と呼ばれる豊富で良質な雪質と降雪頻度を誇る日本の環境下において、その傾向はあてはまらない部分もあるのも事実です。また、欧米ではリフトやゴンドラからそのままエントリーして楽しむスタイルが多いなか、日本では多くの方がハイクアップしてバックカントリーを楽しむ傾向にあることも、環境や意識の違いとして挙げられます。今までは、バックカントリー向けのパウダーモデルと、ゲレンデ滑走にも強いオールマウンテンモデルという構図でしたが、その中間的なアイテムにb.c.mapは今シーズンフォーカスしました。そのキーワードがセンター幅107mm±1mmです。ここに挙げるスキーは、進化したロッカー形状やフレックスバランスにより、パウダーはもちろんグルーミングバーンでの滑走も快適なモデルで、ディープパウダーからグルーミングバーンまで一台で楽しめます。最近では欧米でもハイクアップして楽しむスタイルも増加してきているそうで、軽量で滑走性能も高いスキーが求められてきているようです。

b.c.mapが考えるPOWDER&BCのスタンダードスキー

センター幅 107mm(±1mm)

DPS WAILLER106 ALCHIMIST

¥156,500+税
サイズ:189/185/178/168cm
サイドカット:135-106-124mm((185cm)
重量:1819g(1/2　185cm)

昨年、発売と同時に世界中で人気となったモデル。DPSの代表作Wailler112の特徴とも言える大きなフロントロッカーとは異なり、ライズが低くおさえられており、有効エッジが長く、グルーミングバーンでの安定性が大幅に向上しています。カーボン素材の特徴でもある反発の強さからくるバタつきをまったく感じさせないあたりは、長年カーボン素材を研究開発しているDPSならでは。とくにトップ部分がしなやかでよくたわんでくれるので、パウダーでのフロート感も十分味わえます。Wailler112がオートマチックな操作性でビギナーから扱いやすいのに対して、このモデルはスキー全体のたわみを使ったターンができるセッティングとなっているようです。しっかり加重ができるエキスパートには、スキーのたわみと返りが心地よいモデルとなるでしょう(このモデルには別に女性用もあります)。

EXTREM SECOND OPINION108

¥100,000+税
サイズ:193/186/179cm
サイドカット:134-108-125mm(186cm)
ラディウス:21.5m(186cm)
重量:1,850g(1/2　186cm)

スウェーデンのスキーファクトリーから生み出される高品質なハンドメイドスキーブランドがEXTREM。そのなかでも人気のOPINION108が新たに軽量化し、セカンドオピニオンとして新登場しました。特徴的なロングロウライズロッカーとキャンバーの組み合わせが、パウダーにおいて自在な操作性を発揮してくれます。さらに今シーズン軽量化されたことにより、軽快感が増し、パウダーでの操作性がアップしました。パウダーでは有効エッジが比較的短いので、センターを中心としたピボット的な操作も簡単で、ツリーランに威力を発揮してくれますが、意外にグルーミングバーンもそつなくこなすことができるオールラウンドな一台です。フリーライディングという言葉がもっともフィットする一台です。

ATOMIC BACKLAND107

¥86,000+税
サイズ:189/182/175cm
サイドカット: 137-107-124mm(182cm)
ラディウス:18.5m(182cm)
重量: 1,550g(1/2　182cm)

アトミックも107mmサイズを新登場させました。しかも大幅に軽量化されたと同時に、ホライズンテックと呼ばれるショベル部分を船底化することで重くすることなく表面積を10%増やし、ハイクアップ時のラッセルや滑走時のフロート性能を大幅に引き上げ快適なライディングにつなげています。さらにフルサイドウォールとカーボンバックボーンにより、軽量でありつつ強度もあるので、パウダーからハードパックまで対応してくれる頼もしい一台です。比較的有効エッジが長く、回転半径も小さいスキーなので、カービングスキーからの乗り換えでも違和感が少なく乗りこなしやすいスキーと言えるでしょう。

VÖLKL 100EIGHT

¥88,000+税
サイズ:189/181/173cm
サイドカット: 141-108-124mm(181cm)
ラディウス:22m(181cm)
重量:1,970g(1/2　181cm)

最近では少なくなったフルロッカーを採用した名機。どんな雪質でも操作性の差が少なく、安心して山に持って行けます。とくに、滑走時もハイクアップ時でもフルロッカーのネガティブな部分を感じさせることがないところはさすがと言えるでしょう。3Dリッジ構造が軽量かつ剛性感ある滑走感覚を実現していて、フォルクルの技術力の高さを感じさせてくれます。

Vector glide POLARVE

センター幅
107mm(±1mm)
b.c.mapが考える
POWDER&BCの
スタンダードスキー

¥128,000+税
サイズ:186/175cm
サイドカット:135-107-128mm
ラディウス:25m(186cm)
重量:2,150g(1/2 186cm)
Women's
サイズ:175/164cm
サイドカット:135-107-128mm
ラディウス:18m(164cm)
重量:ー

センター幅107mmの代表的なスキーがPOLARVE。ヴェクターグライドが今季新たに市場に投入するまったく新しいモデルで、その特徴は構造にあります。シェイプはオーソドックスで、クリーンな形状のトップ&テールロッカーとキャンバーの組み合わせですが、ヴェクターグライドでは初めてのメタルとカーボンのハイブリッド構造を採用。メタルをラミネートすることで高速での安定性やしなやかな乗り味とともに、雪面のグリップ力などが強化されています。その反面、スキーのレスポンスが遅くなったりしますが、カーボン素材を最適な位置に配置することによりレスポンスを高めることに成功しており、ヴェクターグライドの開発力の高さがうかがえます。手に持った重さは、メタルモデルらしい重量感を感じるのですが、実際に雪上で滑走してみると、最適なロッカー形状と相まって非常に軽快な操作感があり、長さや重さを感じさせません。メタルラミネートらしい走破性の高さもあるので、踏み荒らされた斜面への対応力も高く、まさにオールラウンドな一台に仕上っています。このスキーは河野健児さんがおもに開発を担当したモデルで、ヴェクターグライドらしいしっかり感に加え、誰もが乗りやすく感じるやさしさを兼ね備えた新しいタイプのスキーとなっています(このモデルには別に女性用のサイズとカラーの設定があります)。

IMPRESSION

河野健児　モデル名の由来は曲線。しっかりたわみを引き出して最高のターンフィーリングを楽しもう!

開発コンセプトとして大切にしたのは、名前の由来にもなっている曲線です。サイドカーブやロッカー形状から生まれる曲線に、乗り手がスキーにしっかり加重し、たわませたときに生まれる曲線が加わったとき、最高の反応が生まれるスキーを作りました。素材面では、カーボン素材だけではハードなバーンやハイスピードで反発や振動が大きく操作性が失われがちになるため、メタル素材も採用。これにより、安定感と操作性が良くなり、さらに走破性も高くなっています。パウダーのシチュエーションでは、カーボン素材がターンの抜けをスムーズにしてくれており、一台でさまざまなコンディションに対応できるスキーに仕上がりました。ショートターンからミドルターンで普通に滑っても乗りやすいスキーですが、しっかりたわみを引き出せれば最高の感触を得られます。

センター幅107mm(±1mm)以外の今期注目のモデル

LINE SAKANA

¥99,000+税
サイズ:181/174cm
サイドカット:150-105-138mm(181cm)
ラディウス:15m
重量:1,770g(1/2　181cm)

昨年大好評を博したPESCADOの弟分が新登場しました。ウェストサイズを105mmにサイズダウンしたことで、見た目とは裏腹に汎用性に富んだスキーになっています。グルーミングバーンでカービングターンも可能です。もちろんパウダーのなかではサーフライクなライディングが楽しめます。

Vector glide AVENTURA SUPER LIGHT

¥155,000+税
サイズ:185/178cm
サイドカット:135-100-120mm(185cm)
ラディウス:20m(185cm)
重量:1,820g(1/2　185cm)

2017-2018シーズンに発売以来大人気となっているアベンチューラのカーボンモデル。新たに178cmが追加され、さらに選びやすくなりました。センター幅100mmとは思えないほどの浮力と、カービングスキーのようなターン性能を併せ持つ他社にない個性的なモデル。スタンダードモデルに比べて軽量であるだけでなく、張りのあるフレックスとなっているのでさらにスピードに乗せやすい。

DEEPなパウダーを視野に入れたファットなモデル

ATOMIC BENT CHETLER 120

¥96,000+税
サイズ:192/184/176cm
サイドカット:143-120-134mm(184cm)
ラディウス:19m(184cm)
重量:1,730g(1/2　184cm)

ベンチュラーがツーリングに連れ出したくなるほど大幅に軽量化されました。つねに遊び心を持ったライディングが持味のこのモデルが軽量化されたことで、さらに遊びのイマジネーションが膨らむことまちがいなしです。もちろん浮力は最大級! しかもセンター幅からは想像できないぐらいしっかりエッジにも乗れるのでゲレンデのお帰りコースも楽々です。

BLIZZARD RUSTLER 11

¥88,000+税
サイズ:192/188/180/172/164cm
サイドカット:142-114-132mm(180cm)
重量:1,950g(1/2　180cm)

FREERIDE WORLD TOURでも大活躍しているモデル。センターを中心にメタルをラミネートし、ハードバーンでも確実なエッジグリップとコントロール性を持たせながらも、トップとテールはあえてトーションを軟らかく設定することで、パウダーでの操作性を高めています。どんなコンディションでも余裕を持って滑ることができるパワーとコントロール性を併せ持つスキーです。想像以上に回転性が高いので、長めのサイズでも扱いやすいのも特徴。ハイスピードで攻めたいエキスパートにお薦めの本格派です。

b.c.mapが注目する春のツアーに最適な軽量スキー

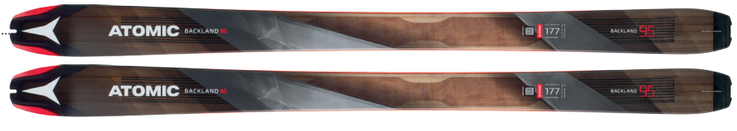
BLIZZARD ZERO G 95

¥76,000+税
サイズ:185/178/171/164cm
サイドカット:128-95-111.5mm(178cm)
重量:1,150g(1/2　178cm)

センター幅95mmはATスキーのニュースタンダードとなってきています。パウダーからハードなアイス状の斜面までオールラウンドに使うことができる点に加え、テール部にロッカーを採用していることでコントロール性も高く、悪雪にも強いスキーです。プリプレグカーボンとセンター部分にメタルを配した構造は強度にも優れています。パウダースノー対応には長めのサイズがお薦めです。

ATOMIC BACKLAND 95

¥66,000+税
サイズ:185/177/169cm
サイドカット:126.5-94-115mm(177cm)
重量:1,370g(1/2　177cm)



ULTRA LIGHT WOODCORE採用で非常に軽量な作りに超軽量カーボンを入れ込み、滑走性にも優れています。ハイクアップ時の抵抗まで考え、ショベル部分のホライズンテックを採用した万能なツアーモデルです。

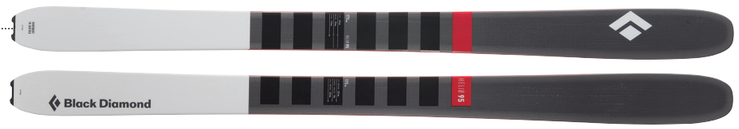
K2 WAYBACK 96

¥85,000+税
サイズ:184/177/170cm
サイドカット:128-96-115mm(170cm)
ラディウス:20m(170cm)
重量:1,325g(1/2 170cm)

ツアースキーに求められている軽量性に加え、足元にチタナルをラミネートしたことで力強さも加わったNEW WAYBACK。

BLACKDIAMOND HELIO 95

¥96,200+税
サイズ:183/173/163cm
サイドカット:123-95-113mm(173cm)
ラディウス:19m(173cm)
重量:1,250g(1/2　173cm)

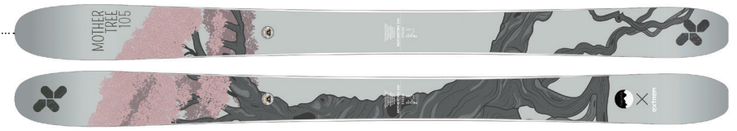


プリプレグカーボンとバルサウッドコアに加え、テープ状のラバー素材を組み合わせ、よりしなやかさと強さを融合させた人気モデル。ATスキーは比較的硬めのフレックスのモデルが多いなか、しなやかさが際立っており、滑走フィーリングに優れているモデルです。

選択肢が広がり性能もアップ! 注目のLADIES MODEL

EXTREM MOTHER TREE 105

¥100,000+税
サイズ:179/172/165cm
サイドカット:133-105-121mm(172cm)
ラディウス:18m(172cm)
重量:1,750g(1/2　172cm)



女性だけのコミュニティとのコラボレーションから生まれたこのスキーは、2年連続でISPOアワードを獲得しています。またFWT Q4でも優勝するなど、フリーライドスキーとして高い評価を獲得しています。女性が女性のためだけに自分たちが乗りたいスキーを開発し、パウダーからハードパックまでこなすことができるバランスのとれたスキーです。

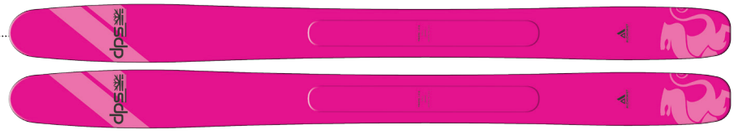
Vector glide SHIFT

¥123,000+税
サイズ:175/163cm
サイドカット:130-100-120mm(175cm)
ラディウス:24m(175cm)
重量:1,690(1/2　163cm)

ヴェクターグライドの発売当初からラインナップされている人気モデル。スキーの全長を使ってたわみを感じやすいフルキャンバーが、スキーの上達をサポートしてくれます。さまざまなコンディションに対応が効く100mmのセンター幅は、ゲレンデからバックカントリーまで一台でステップアップすることができます。

DPS Yvette112 Alchemist

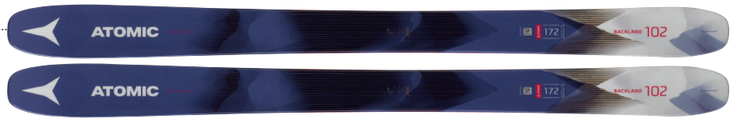
¥157,500+税
サイズ:178/168/158cm
サイドカット:141-112-128mm(168cm)
ラディウス:15-18m(168cm)
重量:1,710(1/2　168cm)



DPSを代表するWailler112の女性専用モデル。とにかくパウダーでの取りまわしが簡単で、誰もがパウダーを思いどおりに滑ることができる魔法のスキーです。大きくロッカーしているので浮力が抜群で、後傾することなく自然とトップ部分が浮き上がってくれるため、ポジションが安定して楽に滑ることができます。さらに足元にはカービングスキー並みのサイドカーブが用意されているので、幅広なわりにグルーミングでもエッジを使った滑りが可能。パウダービギナーや思いどおりに滑りたい方にとくにお薦めの一台です。

ATOMIC BACKLAND 102W

¥66,000+税
サイズ:172/164/156cm
サイドカット:129-102-120mm(164cm)
ラディウス:16m(164cm)
重量:1,514g(1/2　164cm)



パウダースキーのなかでは、サイドカーブのラディウスが小さいので、ターンしやすい女性用モデル。昨シーズンモデルからさらに軽量化を図り、操作性をアップしました。リーズナブルな価格も魅力的なモデルとなっています。

Binding

テックビンディングがアルパインツアービンディングの主役になっていますが、ニーズにはふたつの大きな流れがあります。ひとつはスキーアルピニスト達がより超軽量ビンディングを求める流れと、もうひとつはバックカントリーフリーライディングのためにパワー伝達などの滑走性能や、アグレッシブな滑りに対応した高い安全性を求めるというものです。メーカーの開発は、より軽量な材料の開発とシンプルな構造に変えて軽量化を図るアルピニスト向けのものと、アルペンビンディングと変わらない安全性能を持ったテックビンディングの開発に注力して来ました。今回は、おもに注目のフリーライディング向けのテックビンディングのなかでも、トウピースが独立して解放機能を持つ安全性の高いモデルにフォーカスして紹介します。

革新への挑戦から生まれたツアービンディングの理想形

SALOMON S/LAB SHIFT MNC

本体価格:¥75,000+税
ブレーキ:別売¥10,000+税
合計:¥85,000+税
解放値:DIN6-13
重量:865g(1/2ペア)

ツアービンディングのひとつの理想形がついに形となって登場しました。滑走時は通常のアルペンビンディングと同様な解放機能と保持能力を備えているため、高い安全性能と同時にハードな滑りに応えてくれます。歩行モード時のみ、テックビンディングのようにトゥのピンを使ってハイクアップするというハイブリッドタイプとなります。従来のフレームタイプのツアービンディングと異なり、前後がセパレートしているため、滑走時はスキーの自然なたわみを引き出すとともに、ブーツソールでの加圧感覚が味わえます。さらにブーツがより雪面に近いポジションになるため、スキーコントロール性が高いのも特徴。超軽量なテックビンディングに比べ、重量は決して軽いわけではありませんが、高い安全性と滑走性能を考えると、驚くほど軽量に仕上がっています。またシフトビンディングはMALTI-NORM-CONPATIBILITY(MNC)機能を搭載しており、すべてのISO規格ブーツに対応可能です。バックカントリーツアービンディングの新時代の幕開けです。
注:一部のTLT専用ブーツは対応できません。

SALOMON BREKE SHIFT

¥10,000+税
ブレーキサイズ:90mm/100mm/110mm/120mm

滑走モードのときのトゥピース。アルペンビンディングとして機能する。

歩行モードにしたときはテックバインディングとして機能。右はロックモードにした状態。

歩行モードのときのヒールピース。このようにブレーキが収納される

クライミングサポート1段階。シンプルな構造で操作性は良い。

アルペンビンディングに近い安全性と操作感

FRITSCHI TECTON 12

¥70,000+税
ブレーキサイズ:90、100、110、120mm
解放値:DIN5-12
重量:630g(1/2ペア)

昨シーズンデビューした、スイスのフリッチ社のハイブリッドタイプのテックビンディングTECTON。長年フレームタイプのATビンディングのベストセラーであるディアミールと言ったほうが、山スキーヤーには馴染みがあるかもしれません。このTECTONはテックビンディングでありながら、トゥピースが独立した横方向・前方向の解放機能を備えているのが最大の特徴。従来のテックビンディングの解放機能は、ヒールピースの動きによって決定される構造になっているのに対して、TECTONはアルペンビンディングのようにトゥピースが独立して横方向の解放モードを有しており、解放強度の調整も可能です。さらに、ヒールピースがピンではなくブーツのコバをホールドするアルペンビンディング方式のため、滑走時のパワー伝達性やエッジコントロール性に優れた性能を発揮するという、まさにハイブリッドタイプのビンディングです。長年培った強化プラスチック技術で、重量も非常に軽量で、なおかつテックビンディングのなかでもっともブーツをビンディングにはめやすい構造は、非常に使いやすく好評です。

Binding

G3 ZED 12

¥58,000+税
ブレーキ:別売
解放値:DIN5-12
重量:345g(本体のみ)

ベストセラーのG3 IONの性能をベースに、ビス1本の重量にもこだわって軽量化したニューモデル。G3の特徴でもある安定したトゥピースのブーツ保持力とリリースの正確性は、ギアへの安心感につながり、よりライディングに集中することができます。ヒールピースはもちろんスキーのたわみに応じて可動幅を持っていますので、ハイスピード滑走でもミスリリースを軽減しています。IONと同様な性能を持ちながら、より軽くより遠くまでハイクアップできるビンディングの登場です。

IONの性能はそのままに
重量にこだわり軽量化。
より遠くへと歩みを進める人に!

G3 ZED BRAKE

¥8,500+税
ブレーキサイズ:85mm/100mm/115mm/130mm
重量:85mm/83g 100mm/85g 115mm/87g
130mm/88g

G3 ION 12

¥58,000+税
ブレーキサイズ:85mm/100mm/115mm/130mm
解放値:DIN5-12
重量:579g(1/2ペア)

トゥがブーツをしっかり保持できる構造とセッティングしやすさに定評がある、テックビンディングのベストセラーモデル。後発メーカーでありながら、リリースの正確性と安全性は市場でも高く評価されており、数々の賞を受賞。昨シーズンから、ハイク時のヒールピースの不要な回転をロックできる機能をプラスするなど進化を続けています。安全性・滑走機能・使いやすさ・重量・耐久性など、すべてにバランスの取れたモデルとなっています。

DYNAFIT ST ROTATION 10

¥66,000+税
ブレーキサイズ:90mm/105mm/120mm/135mm
解放値:DIN4-10
重量:599g(1/2ペア)

安全性を高めるため、ヒールピースの動きとシンクロしながらトゥピースがローテーションする画期的な機能を搭載。ブーツの保持力も高められ、誤解放が少ない信頼性の高いビンディングになっています(TUVの認証を受けています)。いたずらに軽量化していないので、アグレッシブな滑りを目指すフリーライダーにもお薦めです。またブレーキのスプリングが強化されており、転倒しリリースした際のスキーの流れも最小限にとどめてくれるので、とくに幅広のファットスキーにはうれしい機能です。

Kingpinを生み出した
マーカーが考えた
超軽量ツアーモデル

MARKER ALPINIST 12

¥55,000+税
ブレーキサイズ:別売
解放値:DIN6-12
重量:245g(ブレーキなし 1/2ペア)

超軽量タイプで耐久性にも優れたマーカービンディングのニューモデル。この軽さでありながらスキーのたわみに合わせ、4mmのヒールグライディング幅を持つことにより、安定したブーツ保持能力があります。80mm〜120mmまで4種類のスキーアイゼン(クランポン)もオプションで装着可能。アルピニスト向けながらビンディングの取り付けビス間隔(横)が38mmと広く、パワー伝達力にも優れています。

Boots

より軽量に進化を続ける ZERO Gシリーズ

TECNICA ZERO G TOUR PRO

¥99,000+税
サイズ:22.5cm~30.5cm(1cm刻み)
ラスト:99mm
フレックス:130
重量:1,320g(26cm 1/2ペア)
WALKMODE RENGE:58°
SOLE:ISO9523 with Low tec

大人気のZERO Gシリーズがさらに軽量に、そしてバックカントリーでの使い勝手を大幅に向上させて新登場しました。今まではアルペンブーツをベースに歩きやすいラバーソールが標準装着されていて、アルペンソールへの交換も可能な構造でしたが、今回のモデルチェンジでは本格ATブーツとしてフルビブラムラバーソール仕様に変更されより軽量になりました。さらに、第一バックルも反対向きのレバーを採用し、クライミングセクションで不要なバックルの解放や岩へのヒットによる破損などのリスクも軽減し、パウダーでのラッセル時の抵抗も軽減することが可能となっています。また、ウォーキングポジションと滑走モードの切替部分も大幅に改良が加えられています。従来のブーツでは歩行時の可動域を大きく取ろうとすると、どうしても滑走時に後方への支え感や剛性が低下してしまいますが、NEW ZERO Gシリーズは、アッパーシェルとロアシェルを高い位置でリンクできる機構を追加し、後方へのバックサポートを大幅に向上させることに成功しています。重いザックを背負ってのツアー時にとくに威力を発揮してくれるばかりか、よりアグレッシブな滑走も可能となっています。また、このTOUR PROのみアッパーシェルに繊維状のカーボンファイバーを組み込み、耐久性と粘り感を向上させており、今シーズン注目のアイテムです。

2018-19はニーズに合わせて選びやすいラインナップが特徴!

2016-2017シーズンから始まったアルペンスキーブーツとアルパインツアーブーツとの融合とも言えるクロスオーバーブーツという流れが、昨シーズン、アトミックのホークスウルトラエクステンドシリーズやノルディカストライダーシリーズの登場でさらに加速し、2018-2019シーズンではよりニーズに合わせて選びやすくラインナップが増えて来ました。ひとつはアルペンブーツベースでウォークモードがついたクロスオーバーブーツブーツ。もうひとつは軽量で登攀性能が高いフルラバーソールのアルパインツアーブーツ。そして三つ目は、さらにその中間的なアイテムとしてフルラバーソールでありながら滑走性能も高いブーツ。このように大きく3つに大別され、このなかで、フルラバーソールでありながらアルペンブーツ並みの滑走性能を兼ね備えたブーツがいまもっとも注目を集めています。多くのモデルがISO9523規格に対応していますので、ビンディングも対応幅も広がって来ていますが、かなずお使いのビンディングとの適合を確認のうえご購入ください。

SCARPA MAESTRALE

¥76,000+税
サイズ:24.5~32cm
ラスト:98mm
フレックス:120
重量:1,400g(27cm 1/2ペア)
WALKMODE RENGE:60°
SOLE:ISO9523 with Low tec

3ピース構造は歩行時の足首の可動幅が広く歩行しやすいため、ATスキーヤーに絶大な人気があります。このモデルも60度の可動域や理想的なバックルのレイアウトを持ち、バックカントリーでの使い勝手に優れていますが、滑走性能にも優れた面もあります。3ピースブーツは2ピースブーツに比べロアシェルの剛性を高めることが可能で、スキーの角づけに対してリニアな反応とエッジホールドを実現しています。歩きと滑りの性能が高いレベルでバランスが取れているスタンダードモデルです。

注目のラバーソールタイプの中でも滑走性能の高いモデル

ATOMIC HAWX ULTRA XTD 120

¥93,900+税
サイズ:24.5~29.5cm(1cm刻み)
ラスト:98mm
フレックス:120
重量:1,596g(26cm 1/2ペア)
WALKMODE RENGE:54°
SOLE:ISO9523 WTR with Low tec

4バックルのブーツとしては非常に軽量で、なおかつ唯一98mmのナロータイプのラストを採用しているモデル。アルペンブーツライクな高いフィット性と、剛性感を発揮するインナーブーツが組み合わされていることにより、今までにないフィーリングのブーツに仕上がっています。また、メモリーフィットを採用しているため、さまざまな足型にカスタマイズすることが可能。ラバーソールはテックビンディングとWTR規格のアルペンビンディングにも対応しているので、ラバーソール仕様でありながら適応ビンディングが多いのも魅力です。

TECNICA ZERO G TOUR SCOUT

¥89,000+税
サイズ:24.5~30.5cm(1cm刻み)
ラスト:99mm
フレックス:120
重量:1,860g(26.5cm 1/2ペア)
WALKMODE RENGE:58°
SOLE:ISO9523 with Low tec

ZERO Gシーリーズのなかの中心的モデル。TOUR PROに比べ、ソフトなフレックスを持つツーリングブーツです。大幅に改良され、歩行時には58度もの可動域があるので、歩きやすいばかりか、靴のなかで足の浮き上がりも防ぎ、靴擦れなどのストレスも軽減されます。アッパーシェルとロアシェルがダブルロックされるモビリティシステムは、滑走時の安定性が向上され安全性も高まります。

DYNAFIT HOJI PRO TOUR

¥110,000+税
サイズ:25.0~30.5cm(1cm刻み)
ラスト:99mm
フレックス:メーカー未発表(約130相当)
重量:1,450(1/2ペア)
WALKMODE RENGE:60°
SOLE:NON ISO TLT ONLY

ウォークモードへの切り替えとアッパーカフのバックル調整が、ひとつのレバー操作でできるHOJI LOCKを搭載したFREERIDE TOURモデル。パワー伝達にも優れたシステムで、後方へのサポート力に優れており、ハードな滑りに対応しながら、ツアーでの利便性の高さが特徴。ビンディングはTLT専用になります。

Boots

滑走性能を極めたいならアルペンブーツベースのクロスオーバーブーツ。ソール交換なしにアルペンビンディングもテックビンディングも使用できる!

TECNICA COCHISE 130 DYN

¥79,000+税
サイズ:22.5cm~30.5cm(1cm刻み)
ラスト:99mm
フレックス:130
重量:2,220g(28.5cm 1/2ペア)
WALKMODE RENGE:42°
SOLE:ISO 5355 with Low tec

クロスオーバーブーツの代表作。ゲレンデスキーを楽しみながら、たまにはツアーに出かけるといった方に最適なブーツ。テックビンディングもソール交換なしに使うことができます。フレックスもエキスパート向けの130となっており、ハイスピードにも対応したブーツです。

TECNICA COCHISE 120 DYN

¥74,000+税
サイズ:22.5cm~30.5cm(1cm刻み)
ラスト:99mm
フレックス:120
重量:1,860g(26.5cm 1/2ペア)
WALKMODE RENGE:42°
SOLE:ISO 5355 with Low tec

アルペンソールが標準装着されたテックビンディング対応モデル。ウォークソールへの交換も可能。より滑走性能を追求するスキーヤーに、正確な操作とフィット感を提供します。

NORDICA STRIDER PRO 130 DYN

¥89,000+税
サイズ:22.5cm~30.5cm(1cm刻み)
ラスト:100mm
フレックス:130
重量:1,800g(26.5cm 1/2ペア)
WALKMODE RENGE:46°
SOLE:ISO9523 GRIP WALK with low tec(別売でアルペンソールISO5355に交換可)

バックカントリー向けのフリーライドブーツですが、ゲレンデスキーヤーやスキー教師にも大人気の一足。軽量で歩きやすく、ノルディカらしいフィット感とレースブーツ譲りの滑走性能を合わせ持つハイブリッドタイプです。グリップウォークソールが標準装着され、アルペンソール(別売)への交換も可能。

ラインナップが充実し、選択肢が広がるレディスモデル

ATOMIC HAWX ULTRA XTD 110W

¥89,900+税
サイズ:22.0~25.5cm(1cm刻み)
ラスト:98mm
フレックス:110
重量:1,320g(24cm 1/2ペア)
WALKMODE RENGE:54°
SOLE:ISO9523 WTR with Low tec

アトミックの特徴でもあるメモリーフィットをこのシリーズでも採用し、個人個人の足型にパーソナルフィットさせることが可能。とくに外反母趾やアタリがある方など、足に悩みをお持ちの方は一度お試しいただきたいブーツです。しかもアルペンブーツと変わらぬホールド感で積極的な滑走が楽しめます。まるでブーツを履いていないかのような軽さをぜひ体感ください。

ATOMIC HAWX ULTRA XTD 90W

¥86,900+税
サイズ:22.0~25.5cm(1cm刻み)
ラスト:98mm
フレックス:90
重量:1,520g(24cm 1/2ペア)
WALKMODE RENGE:54°
SOLE:ISO9523 WTR with Low tec

小柄な方やバックカントリーへのエントリークラスの方にお薦めの、ソフトなフレックスのブーツです。シェル素材がポリウレタンになり、柔軟性や衝撃吸収性に優れていますので、荒れた斜面でも疲れにくいのが特徴。メモリーフィットで足型に合わせて成形可能ですので、快適にバックカントリーツアーをお楽しみいただけます。

SCARPA GEA

¥76,000+税
サイズ:24.5~27.0cm
ラスト:101mm
フレックス:110
重量:1,250g(25cm 1/2ペア)
WALKMODE RENGE:60°
SOLE:ISO9523 with Low tec

軽量な3ピースATブーツの決定版! すべてが女性用に設計され、歩きも滑りもバランスよく楽しめるブーツに仕上がっています。前傾角度の調整も14°±2°の範囲で調整可能。また101mmとワイドな足幅は、長時間のハイクアップでもリラックスしたフィッティングを提供してくれます。

NORDICA STRIDER 120 DYN

¥79,000+税
サイズ:22.5cm~30.5cm(1cm刻み)
ラスト:100mm
フレックス:120
重量:1,900g(26.5cm 1/2ペア)
WALKMODE RENGE:46°
SOLE:ISO9523 GRIP WALK with low tec(別売でアルペンソールISO5355に交換可)

ストライダープロ130DYNの基本性能はそのままに、フレックスをソフトにしたモデル。アルペンブーツベースのクロスオーバーブーツで、滑走性能を重視したストライダーの中心モデルとなります。グリップウォークはアルペンビンディングでも標準装着が増えているソール規格。ソール交換なしでテックビンディングも使用可能です。

HEAD KORE 2 G

¥80,000+税
サイズ:24.5~27.5cm
ラスト:100mm
フレックス:120
重量:1,677g(26.5cm 1/2ペア)
WALKMODE RENGE:45度
SOLE:ISO5355 with low tech (別売でGRIP WALKに交換可能)

ヘッドからもいよいよクロスオーバータイプの軽量ブーツが新登場。グラフィン素材を使い、軽量かつ高剛性になっています。シェルは熱成形可能なフォームフィット。さらにインナーブーツもくるぶしまわりのフィット感を調整できる注入式になっており、パーソナルフィッティングも完璧です。

TECNICA ZERO G TOUR SCOUT W

¥90,000+税
サイズ:22.5~27.5cm(1cm刻み)
ラスト:99mm
フレックス:115
重量:1320g(26.5cm 1/2ペア)
WALKMODE RENGE:58°
SOLE:ISO9523 with Low tec

超軽量のZERO G TOUR SCOUT Wは、女性にとって最良のアイテムです。とにかく軽くて粘りのあるフレックスは、決して硬すぎることなく、スムーズなライディングを提供してくれます。

TECNICA COCHISE 105 W DYN

¥65,000+税
サイズ:22.5~27.5cm(1cm刻み)
ラスト:99mm
フレックス:105
重量:1,860g(26.5cm 1/2ペア)
WALKMODE RENGE:42°
SOLE:ISO9523 with Low tec

ゲレンデ滑走も多く、滑走性能を重視する女性ライダーにはコーチスがお薦め。アルペンビンディングに対応したソールですが、テックビンディングもそのまま使用可能。ZERO Gシリーズに比べインナーブーツのフィット感が強く、高い滑走スピードでもしっかり感があります。

Boots

徹底的に軽さを求めるならアルパインツーリングブーツに注目！

SCARPA F1

¥76,000+税
サイズ:24.5~31.0cm(0.5cm刻み)
ラスト:102mm
フレックス:メーカー未発表(約105相当)
重量:1,230g(27cm 1/2ペア)
WALKMODE RENGE:62
SOLE:TLT ONLY

山岳レースモデルの軽量化技術に、ダウンヒル性能を融合させたATツーリングモデルです。カフローテーションは62度と最高レベルで、歩行性は抜群です。またカフのロックシステムが改良され、アイゼンとの相性が向上しました。スリムな見た目と裏腹に幅広な102mmラストで、長時間のツアーでも良好なフィット感を提供します。ビンディング適応はTLTビンディング専用モデルとなります。100mm以下の細めのATスキーとの組み合わせを推奨します。

SCOTT ORBIT

¥76,000+税
サイズ:23cm~31.5cm(0.5cm刻み)
ラスト:103.5mm
フレックス:115
重量:1,235g(26.5cm 1/2ペア)
WALKMODE RENGE:60°
SOLE:ISO9523 with Low tec

日本人の足型にフィットしやすいもっとも幅広な足型を持つアルパインツーリングブーツとして人気のモデル。3ピース構造のため、足入れもしやすく歩行時のカフローテーションも60度と十分です。ツーリング志向の方にお薦めのブーツです。

フリーヒールの楽しさをさらに広げるテレマークブーツ&ビンディング

SCARPA TX PRO

¥71,000+税
サイズ:24.5cm~30cm(0.5cm刻み)
ラスト:98mm相当
フレックス:メーカー未発表(約120相当)
重量:1,750g(27cm 1/2ペア)
WALKMODE RENGE:22°
SOLE:NTN

NTNビンディングとTTSビンディング(トウピースにビンテックビンディングのシステムを使ったテレマークビンディング)の、両方に対応するテレマークブーツです。TXコンプよりもソフトなフレックスはツアーからゲレンデまで幅広く対応してくれます。

SCARPA T2 ECO

¥63,000+税
サイズ:24.5cm~32cm(0.5cm刻み)
ラスト:98mm相当
フレックス:メーカー未発表(約110相当)
重量:1,685g(27cm 1/2ペア)
WALKMODE RENGE:30°
SOLE:75mm

ビギナーからエキスパートまで、どなたにも楽しんでいただけるオールラウンドなブーツ。ゲレンデ、ツアーと用途は問いません。

22DESING OUTLOW X

¥52,000+税
サイズ:S·L
重量760g (Lサイズ1/2ペア)
オプションプレート:80mm/95mm/110mm/125mm(¥5,600)別売

ステップイン・ステップアウトが可能なNTN規格の人気モデル。75mmのフィーリングに近い自然なフィーリングでありながらも、パワー伝達性に優れハードな滑りに対応したダウンヒル性能が魅力。ツアーモードも備えておりオールラウンドに使用が可能です。

ROTTEFELLA FREEDOM

¥55,000+税
ブレーキサイズ:95、110mm
重量:750g
S(26cm以下)、L(26.5cm以上)

軽量NTNビンディングの代表的なモデル。NTNはパワー伝達性に優れており、スキーの性能を十分に引き出し生かすことが可能です。

VOILE SWITCHBACK

¥39,800+税
ブレーキなし
重量:681g
ショート24.0~27.5cm、
スタンダード27.0~31.0cm、
ウィメンズ23.0~26.5cm

75mm規格のテレマークビンディングの人気モデル。ツアーモードも搭載しており、切り替え操作も簡単です。シンプルな作りと故障の少なさで信頼性の高いビンディングです。

TOPICS

ICI石井スポーツ×b.c.map 野沢温泉バックカントリー研修会

お客様をもっと楽しく、もっと安全に。実践経験豊富なスタッフ育成のための取り組み

レポート=秋田店　小山内 春人

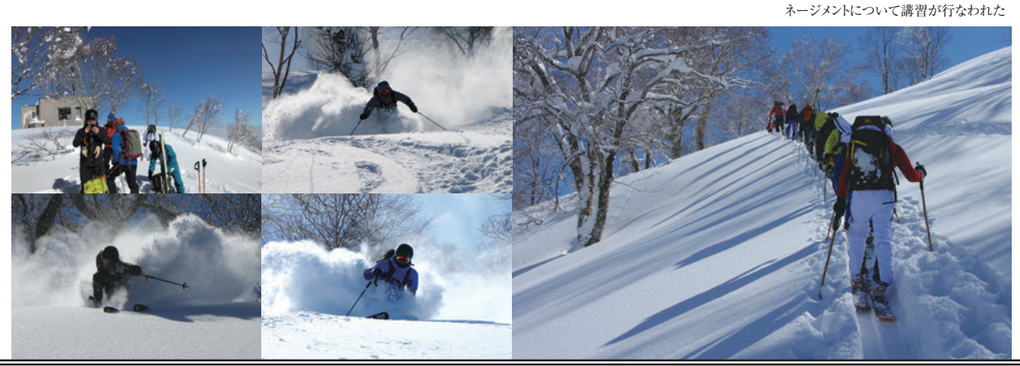
ISG石井スポーツグループでは、スタッフの販売スキルアップを目指し、フィールドを知ることでより的確なお客様へのアドバイスや、用具選びのお手伝いができるスタッフの育成にも力を入れています。社内スタッフの登山研修や海外のフィールドを知るための海外スキー研修のほか、毎年バックカントリースキー研修会を開催しています。バックカントリーにおいては、スキー場の管理された環境と違いさまざまなリスクとも向き合わなければなりません。普段ゲレンデスキーがメインのスタッフにも、バックカントリースキーの楽しさも含め経験してもらっているのです。そんな研修会の今年の舞台は、白馬・ニセコ同様に海外からのゲストが急増中の野沢温泉スキー場です。野沢温泉にはヴェクターグライドの前線基地ともいえるR&Dがあり、今回も講師とこのエリアの案内人としてファウンダーの秋庭さんにも参加いただきました。テーマは、スキー場管理エリア内でも十分にパウダースノーを堪能できる素晴らしいフィールドでの来季モデルのスキーテストと、バックカントリーへ出てのフィールド研修です。

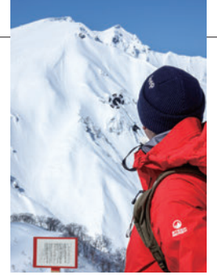
1日目は数メーカーのスキーを全員でテスト。好天に恵まれ、なおかつ気温が低く良い雪をキープしてくれたおかげで、良いスキーテストとなりました。スキーの形状やサイズの違いで滑走感覚や操作性が大きく違ってくることや、モデル別の特徴をしっかり体感するとともに、野沢温泉スキー場のスケールの大きさも感じることができました。夜には、ヴェクターグライドのR&Dにてモデルごとの特徴などを意見交換させていただきました。このR&Dのスペースにはヴェクターグライドのブランド誕生当時からのモデルがディスプレーされており、秋庭さんの創業当時から変わらぬ物作りへの情熱と、ブレないポリシーを感じ取ることができました。

2日目は、管理区域から足を踏み出しバックカントリーへ。クライミングスキンを付けてハイクアップが初めてのスタッフもいましたが、スムーズに行動でき、登り返しも含め3本のパウダーランとなりました。朝から雲ひとつない快晴で、放射冷却によってドライアウトし表面霜で雪面がキラキラ光る最高の雪質状況で、それぞれにパウダーライディングの楽しさを実感できたと同時に、日射の影響により斜面方位でまったく違った雪質を体験することもできました。ゲレンデ滑走と違い、標高や斜面方位、風向き、日射、植生などによって雪面状況が刻々と変化するバックカントリーを楽しむためには、技術的にも幅広いテクニックが要求されることを体験するとともに、道具の重要性を感じ取ることができた研修会となりました。

ISG石井スポーツグループでは、日々実践的な研修を通じて、フィールドの情報はもちろん、バックカントリースキーの楽しさを伝えるとともに、お客様へ最適なアイテムの提供を通じて、お客様の「もっと楽しく、もっと安全に」をテーマに進んでまいります。

フィールドでは、実際のツアーに即して講習を進め、場面ごとにポイントやリスクマネージメントについて講習が行なわれた





Akira's Project in 谷川岳
魅せられた山、向き合うべき場所

谷川岳――ここは今から3年前、山木ックス(山木匡浩)に誘われ足を踏み入れたのが最初だった。

当時の僕は、日本の山の情報は皆無に等しかった。長年、レーサーとして硬いバーンを求め、世界中のアルペンファンの心をロックする「ワールドカップ」というサーカス団のようなエンターテイナーの一員だったため、山に行くとしても自分の欲でロケーションを決めるのではなく、仲間について行くというスタイルだったからだ。

それはそれで良くて、ひとつひとつが楽しくて幸せなんだけどね。

今思うと、僕の多くの山への感性は、大ちゃん(佐々木大輔)や児玉のタケさん(児玉毅)、そして山木ックスから育てられてるなと思う。モンゴルなんかは、完全に山木ックスの写真を見て「ここに行きたい！ ここの空気吸いたい！ ラクダに乗りたい！」それだけで決めたし。

そもそもこういうふうに山を滑り始めたのも、大ちゃんに連れて行ってもらったのが始まり。タケさんには雪の性質や条件ごとに違ったリスクマネジメントを教わったりね。とにかく、まぁ濃い面子を先輩に持てて、僕は幸せな場所に居たんだなって思います。

Akira's Projectの内容に関しては本編ができたときに伝わればそれで良いので、ここでは詳細を割愛するけど、この作品の最後のパートを飾るのが谷川岳。ここを選んだ理由は、初めて行った瞬間に魅了されたから。それだけ。でもそのときは、なんでこんなに心臓の鼓動が激しく打つんだろうと疑問のほうが多かったんだ。なんせ無知だからね。

2年間通っていく中で、ローカルのTJ crewの皆さんや群馬県警山岳警備隊の新井さんのストーリーを聞いていくと、あのときに感じ、今も感じていることに、ブレがない理由がわかってくるんですよね。

世界で最も人の命を奪う山――谷川岳

ここで滑りたいと思ったのは、純粋にこの山に魅了され、マチガ沢の美しさ、斜面、イカツさに魅了されたからなんだけど、その裏には魔の山、人喰いの山という異名を持つストーリーがあった。実際、撮影を開始し、何度も足を運んだけど、そう簡単に滑らせてくれない。条件が揃わなければドロップインさえさせてくれない。何度も天気に左右され、明日ひょっとしたらチャンスがあるかもしれないと山に行っても、そう簡単にはいかない。

谷川岳マチガ沢の本谷を滑る作品はまだ残せていないが、最高のメンバーと、最高の時間を過ごすことができた。来年もまたここに立ち、最高のメンバーとともに、最高の一本に臨む！ 乞うご期待。

写真=千葉 論

簡単に滑らせてくれない手強い山。
だからこそ価値がある。来年もここに。

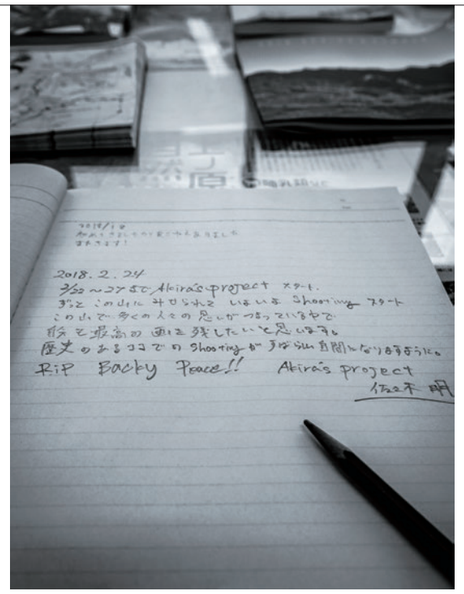
それもそのはず。マチガ沢は南面ということもあり、朝陽の昇る6時から7時半の間くらいしか良い条件が揃わない。TJクルーの皆は年中ここを狙ってても、一年で3回滑れたらバンザイ。そんな場所だ。

雲が抜け、ピンク色に染まった最高の斜面だからとドロップしたら、すぐに命を飲み込む。

前述したように、ここは魔の山であり、人喰いの山と呼ばれている。山の中、自然の中では絶対に調子に乗らず、奢らず、高ぶらずがセオリーだと思う。主導権はいつも山や自然が握っていて、われわれ人間にそれが与えられることはない。だからこそ慎重に、その瞬間を待ちたいと思う。

この谷川岳を滑る上で、そして撮影をする上で、僕が大切にしていることがある。それはローカルが積み上げてきた事や物を、最大限リスペクトし、感謝をし、彼らの前に出ないということ。事実、彼らが長いこと狙っている「朝陽輝くマチガ沢」の本谷は数本のラインしかない。そこを滑らせてもらうのだから、調子に乗ったら滑るチャンスは与えてもらえない。彼らの山に対する思いを、僕は最大限理解することに努め、この危険と言われる谷川岳の本谷を、最高のスピードとラインで滑り降りたいと思う。

僕の作品は、締め切りがあるような限られた時間の中で作っているわけではない。自分の命や感性、心の変化と共に成長し、満足するものができたとき、世に出る。それがたとえ、あと、たった一本だとしても、それを人がたった一本だよと言っても、僕にはそれが人生の最大の一本なんだ。一本の作品に取り掛かり4年。残り一本のラインのために、僕は残りの一年を過ごす。



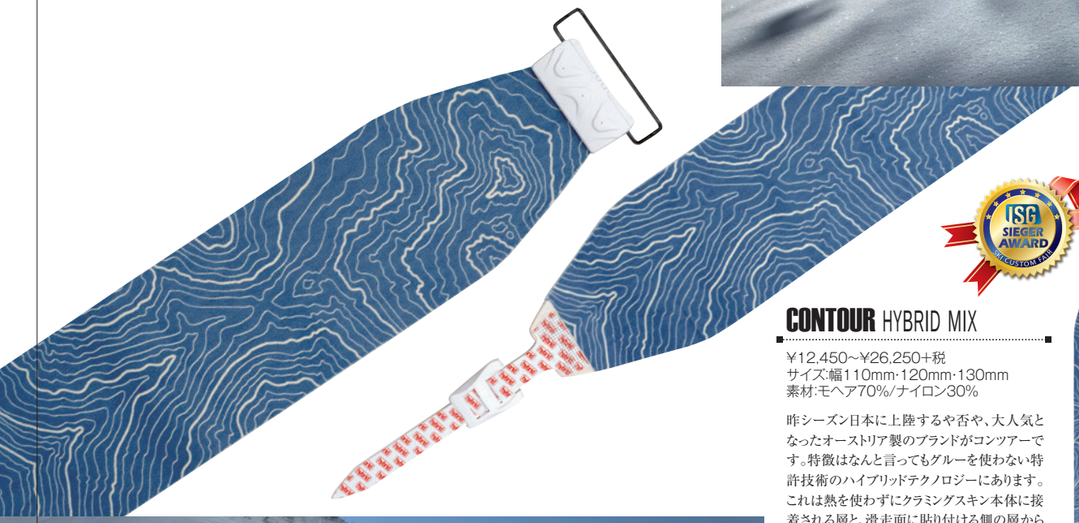
文=佐々木 明 AKIRA Sasaki

FISワールドカップ男子回転、2003年ウェンゲン大会2位、2006年シュラドミング大会2位、2006年志賀高原大会2位。2014年ソチオリンピックを含む、オリンピック出場4回。ISG アスリートサポートスキーヤー

Climbing skin

クライミングスキン徹底検証!
特徴を押さえて的確に活用しよう!

近年、クライミングスキンは粘着面に従来のグルー（糊）を使ったものと、グルー以外の材質の2種類に大別されます。またメーカーそれぞれに優れている点や特徴を持っているので、一概にどれがベストで優れていると言い切れない部分があるのも事実です。ここでは、それぞれの特徴を明確にしてお客様が選びやすく整理して紹介します。



＊写真はHYBRID PURE

CONTOUR HYBRID MIX

¥12,450~¥26,250+税
サイズ:幅110mm·120mm·130mm
素材:モヘア70%/ナイロン30%

昨シーズン日本に上陸するや否や、大人気となったオーストリア製のブランドがコンツアーです。特徴はなんと言ってもグルーを使わない特許技術のハイブリッドテクノロジーにあります。これは熱を使わずにクラミングスキン本体に接着される層と、滑走面に貼り付ける側の層からなる2層構造の製法。他社製品の場合、粘着面製造時にシール本体にグルーやシリコンなどの粘着層を安定させるために、シール本体との接着強度を上げる必要がありますが、これを上げれば上げるほどフィールドでの使用時に滑走面にも強く貼り付いたり、貼り合わせ収納時も剥がす際に非常に大きな力が必要となっていました。このストレスを、ハイブリッドテクノロジーによって解消。滑走面からクラミングスキンを剥がす際に力はまったく必要ありません。さらに、粘着面同士を貼り付けても簡単に剥がすことができるためチートシートが必要なく、現場での作業がスムーズに早く行なうことができます。作業効率の良さは結果としてクラミングスキンの粘着面に雪を付けたり、凍りつかせるリスクが軽減できます。さらに、従来のグルーの弱点であるグルーメンテナンス性や耐久性に関しても優位性があります。熱で溶かして付けているグルーは水分と熱に弱く、保管状況によっては1シーズンで劣化してしまい粘ついて滑走面側に残るようになりますが、ハイブリッドスキンは熱や湿気にも強く劣化することがありません。粘着性が低下した場合には、専用のクリーナーで汚れを落とすことで初期の粘着性に戻すことができる点も、非常に使い勝手に優れています。

colltex CLARIDEN

¥22,450~¥27,500+税
サイズ:幅100mm·110mm ·120mm ·
130mm·140mm·150mm
素材:モヘア65%、ナイロン35%

コールテックスは、早くからグルーを使わないクライミングスキンの開発に力を注いできたスイスのブランド。そのなかでもクラリーデンは、アクリルベースの粘着層を使ったクライミングスキンです。特徴は粘着糊を使わないので、温度耐久性に優れ、幅広い温度で安定した粘着性を発揮すること。また、粘着面同士を貼り合わせても簡単に剥がすことができるので、チートシートが必要なく、スピーディに作業ができる点と、粘着層が非常に薄いため非常に軽量でコンパクトに収納が可能な点です。今回紹介するクライミングスキンのなかで、軽量コンパクト性ではナンバーワンです。滑走面への貼り付きはグルータイプと比べ強力ではなく、使用を繰り返すなかで次第に汚れなどが付着することで低下してきますが、専用のメンテナンス用のアクリルシートが販売されているので、自分で簡単に回復させることができる点も良いところです。グライド面はモヘア65%とナイロン35%のミックスタイプですが、グライド性とグリップ力のバランスも良好です。クライミングスキンに軽さやコンパクトな収納性を求める方にお薦めのタイプとなります。粘着力はグルータイプと比べると決して強くはありません。雪を付けたり凍らせると粘着性が低下してしまいますので、クライミングの取り扱いに慣れた方が対象となります。

＊写真のトップ部分のフィックスは実際の商品と異なります。

Black Diamond アセンションナイロンSTS

¥18,000~¥19,200+税
サイズ:幅110mm ·125mm ·140mm
素材:ナイロン100%

ブラックダイヤモンドは、グルータイプのみを製造しているメーカーとなります。特徴はグリップ力の高さと耐久性。滑走面への粘着力も強いタイプですが、年々糊同士を貼り合わせることができるように改良されたり、軽量化も図っています。歴史も長く、昔から愛用している方も多いので信頼感の高いクライミングスキンのひとつと言えます。ここで紹介するアセンション（ナイロン100%）のほか、グライドライトミックス（モヘア65%·ナイロン35%）もラインナップされています。アセンションSTSはもっともベーシックなモデルになります。100%ナイロンのこのタイプは、やはりグリップ力が抜群で耐久性が高いのが特徴。これからバックカントリーを始めたいとお考えの方のほか、バックカントリースキーガイドなどの使用頻度の高いヘビーユーザーにも人気のモデルです。硬い雪質に強い特徴があり、急峻な山域に多く行かれる方にお薦めです。他社同様に、グルーの基本的な取り扱いや保管方法を守っていただくことが必要となります。

G3 ALPINIST+GLIDE

¥20,000~¥22,500+税
サイズ:幅100mm·115mm ·
130mm·145mm
素材:モヘア70%/ナイロン30%

G3はカナダ製にこだわって作られている老舗クライミングスキンブランドです。グルータイプのみを生産しているメーカーで、カナダという風土がら、非常に低温下での粘着性に優れた特性があります。またどのようなスキーの形状に対しても良くフィッティングできるトップとテール部分のフィックスは、他社にない特徴となっており、ファンが多いブランドでもあります。今シーズンは、もっとも重要なグルーの材質とトップ部分の形状がアップデートされています。一昨年登場したスカラスキンの形状を見直し、より軽量でコンパクトな収納とトップ部分からの雪が侵入しにくい形状になっています。このトップ部分の構造はパウダーのなかでのラッセル時に、極めて高いグライド性を発揮してくれてハイクアップを楽にしてくれます。この点は他社にない特徴です。またテール部分に向けて大胆にカットされた形状により、クラミングスキンと滑走面の間に雪の侵入を減らし剥がれることを防ぐ効果や、重量の軽減にもつながっています。ここで紹介する+GLIDEは、モヘア70%·ナイロン30%のタイプで、比較的毛足も長いため、グリップ力も良好でグライド性にも優れたバランスのとれたモデルです。他社のクラミングスキンに比べて収納サイズが大きくなりますが、長めに畳むことでザックへ入れやすく考えられた形状になっています。低温下での貼り付き強度や、フィックスの良さが人気の秘密です。グルータイプなので、夏場の保管や乾かす際に熱源のそばに置かないなど、基本的な注意点を守ることが必要ですが、粘着力の強さはビギナーにとって使いやすいクラミングスキンと言えます。

POMOCA FREE 2.0

¥22,000~¥23,500+税
サイズ:幅123mm·140mm
素材:ナイロン100%

ポモカも歴史あるスイスのクライミングスキンメーカーです。グルータイプのほかシリコンタイプも製造していますが、日本の湿度の高い環境や雪質を考えると、シリコン製はむずかしいので、グルータイプをお薦めしています。ポモカブランドの特徴は防水性にあります。植毛されている面と粘着糊の素材の間に防水シートが入っているため、毛が濡れてしまってもグルー側に湿気や水分が浸み込みにくく、グルーの劣化を抑えることができるという点で耐久性も高くなっています。グライド面のさまざまなタイプが用意されていますが、ここでお薦めするのはナイロン100%のFREE 2.0です。特徴はナイロン100%の強力グリップ力と粘着力の安定感。さまざまな温度で安定した接着力を発揮してくれることや、グリップ力が高いことは、クラミングスキンの取り扱いに不慣れなビギナーにはうれしい性能です。また耐久性も高いため長く愛用できます。こちらもG3同様にグルータイプなので、メンテナンスや保管方法など、基本的な注意を守る必要がありますが、高い粘着力は登り返しの多い方にも最適なクライミングスキンです。

Avalanche gear

AVALANCHE TRANSCEIVER

MAMMUT
Barryvox S

¥59,000+税
サイズ:115×67×27mm
平均重量:205g(電池含む)
使用電池:アルカリ単4電池×3本(リチウムバッテリー使用可)
バッテリー寿命:
アルカリ約300時間(SEND)
捜索可能範囲:デジタル3アンテナ/アナログ併用　70m(デジタル)、95m(アナログ)

昨年フルモデルチェンジした雪崩トランシーバーの人気機種。プロユースに対応した豊富な機能は、より高度な捜索を可能にするほか、シンプルな使いやすさも進化したモデルです。ハードウェアの進化により演算速度が早くなり、迅速な捜索が可能になりました。

bca
TRACKER 3

¥44,000+税
サイズ:115×71×24mm
平均重量:215g(電池含む)
使用電池:アルカリ単4電池×3本
バッテリー寿命:
アルカリ約200時間(SEND)
捜索可能範囲:60 m(デジタル)

小型軽量で使いやすさが人気のモデル。複数埋没の際の全体像を把握しやすいビックピクチャーモードなどの独自の機能を搭載。ソフトウェアアップデートを自分でできるのも特徴です。

arva
NEO+

¥44,000+税
サイズ:120×73×20mm
平均重量:205g(電池含む)
使用電池:アルカリ単4電池×3本
バッテリー寿命:
アルカリ約250時間(SEND)
捜索可能範囲:60 m(デジタル)

アンテナ感度の高いアルバの中級機種のネオに、モーションセンサーによる自動復帰機能がプラスされ進化しました。電波干渉マネージメント機能など、スキー場の近隣での使用などに対応したモードもあるので使いやすさにも優れています。

PIEPS
PRO BT

¥49,400+税
サイズ:118×76×29mm
平均重量:230g(電池含む)
使用電池:アルカリ単4電池×3本
バッテリー寿命:
アルカリ約400時間(SEND)
リチウム電池使用可(600時間)
捜索可能範囲:60 m(デジタル)アナログモード付き

PIEPSアプリを使い、Bluetoothで通信してソフトウェアのアップデートや機器の設定、トレーニングモードを使った実践練習などが可能。アナログモードも付いたガイド向けのプロ仕様モデルです。最適な発信アンテナに自動的に切り替え機能も搭載。

SHOVEL

bca
RS EXT

¥8,000+税
サイズ:伸縮時64cm／伸張時85cm
平均重量:715g

耐久性・強度に優れ、実用性に富んだbcaの定番モデルです。通常のショベルのほか、鍬としても使えるため雪洞を掘ったり、雪を掻き出す際に大変便利です。

bca
B-1 EXT

¥6,000+税
サイズ:伸縮時56cm／伸張時73cm
平均重量:600g

軽量コンパクトで携帯性に優れた定番モデル。雪の切り出しが綺麗にできるので、ピットチェックの際の雪の観察が容易です。

bca
B-2 EXT

¥7,000+税
サイズ:伸縮時61cm／伸張時79cm
平均重量:720g

作業効率の高い中型サイズの軽量ショベルです。B-1同様にフラットなブレードは、ピットチェックで雪の観察にも使いやすく、雪をブロック状に切り出しやすく実用的です。

SHOVEL

Black Diamond
エバック 7

¥9,000+税
サイズ:伸縮時66.5cm／伸張時94cm
平均重量:794g

Dグリップで力が入れやすいトップエンドモデル。ショベルのほかホウ(鍬)モードでも使えて非常に作業効率の良いモデルです。強度も抜群で、頼りになるショベルと言えます。

Black Diamond
トランスファー 3

¥6,200+税
サイズ:伸縮時61cm／伸張時79cm
平均重量:692g

DグリップとTグリップの長所を併せ持ったハイブリッドシェイプのグリップを採用。掘りやすさを重視したフラットなブレード形状と、掘りやすいグリップ形状で人気のモデルです。ザックへの収納性も高く嵩張りません。

PROVE

bca
STEALTH 300 CARBON

¥10,000+税
サイズ:全長300cm／収納寸法50cm
シャフト径:1.3cm
平均重量:280g

カーボンシャフト採用で剛性感が高く、プロービング時にまっすぐ刺さりやすいのが特徴。重量も軽く携帯性も優れています。

bca
STEALTH 300

¥8,500+税
サイズ:全長300cm／収納寸法50cm
シャフト径:1.2cm
平均重量:320g

硬いデブリでも刺さりの良い先端の形状と、確実なロック&リリースで定評のプローブです。目盛の数字も大きくわかりやすくなっています。

bca
STEALTH 270

¥7,500+税
サイズ:全長270cm／収納寸法45cm
シャフト径:1.2cm
平均重量:295g

適度な長さで軽量・コンパクトなスタンダードモデル。

arva
CARBON 2.40 COMPACT

¥11,800+税
サイズ:全長240cm／収納寸法35cm
シャフト径:1.0cm
平均重量:120g

カーボンファイバーシャフトにケブラーコードを採用した超軽量モデル。山岳レースのレギュレーションに対応したプローブです。

Black Diamond
クイックドローツアープローブ 280

¥7,900+税
サイズ:全長280cm/収納寸法40cm
平均重量:342g

堅牢なアルミ製プローブ。凍りつきを防ぐスリーブを継手部分に採用するなど、細かな作り込みで信頼性の高さが魅力。

Black Diamond
クイックドローツアープローブ 240

¥6,800+税
サイズ:全長240cm/収納寸法40cm
平均重量:303g

クイックな捜索時に対応するショートサイズ。

WAX gear

一度の施行でワックス要らずの
夢のグライドトリートメントの登場！

DPS
Phantom base glide treatment

¥12,000+税 ＊一台分（1ペア）

今までのスキーワックスの常識を覆すベースグライドトリートメントが登場しました。従来のワックスはパラフィンを主成分にフッ素などを添加して作られていますが、耐久性は低く滑走の度にホットワクシングする必要がありました。またフッ素などは、環境中で生分解できずに残ってしまうことで植物や動物にも影響を与え、人体にも悪影響を及ぼすと言われています。Phantomは、一度の施行で滑走面素材のポリエチレンのなかに深く浸透し定着することで効果が持続します。その効果は深く浸透しているので、チューンナップしてもストーングライディングしても変わりません。さらに、ワックスと違い、クラミングスキンに付着して粘着力を低下させたりすることがないということなので、バックカントリースキーヤーに最適なツールとなるでしょう。一度施行すればそのスキーはワックスを塗らなくても滑るとのこと。ワックスを塗る、剥がすという手間と時間が節約できる夢のようなツールの登場です。早速、b.c.mapスタッフでもテストを開始していますので、このカタログが完成した頃には情報をお伝えできるでしょう。

POLE

Black Diamond
カーボンウィペットポール

¥18,000+税（1本売り）
サイズ:100～140cm伸縮可能/収納寸法90cm
平均重量:450g(ウィペット含む1/2ペア)
素材:カーボン

新開発の取り外しが可能になったウィペットは急斜面や凍ったリッジや滑落の危険がある急斜面で有効です。取り外せば普通のポールとして使用可能。

Black Diamond
レーザーカーボン

¥13,600+税
サイズ:100～125cm・115～140cm伸縮可能
平均重量:100～120cm=580g
115～140cm=590g(1/2ペア)
素材:アルミニウム×カーボン

アルミ製の上段シャフトとカーボン製の下段シャフトを採用したベストセラーモデル。クライミングサポートやバックルの開閉などにも使いやすいグリップ形状などバランスに優れたポールです。

VECTOR
V STICK VECTOR GLIDE

¥17,000+税
サイズ:100～135cm伸縮可能
素材:カーボン×アルミニウム

スウィングウェイトが非常に軽くて振りやすい、バランスの良いポール。信頼性の高いロック機構は、滑走中に枝などに当たって誤解放するリスクも少ない形状になっています。

SINANO
Fast BC Pro

¥17,000+税
サイズ:100～135cm伸縮可能
平均重量:290g（1/2ペア）
素材:アルミニウム×カーボン

バックカントリー専用グリップを搭載した軽量モデル。握りやすいグリップは、キックターン時にバランスが取りやすく、クライミングサポートの操作がしやすいのが特徴。ストレスを感じさせない使い勝手に優れたポールです。

Black Diamond
ヘリオフレックスレングスカーボン

¥33,900+税
サイズ:115·120·125·130cm
平均重量:182g（1/2ペア）
素材:カーボン

1ペアで僅か256gと最軽量のカーボンファイバー製ポール。シャフトと一体化されたグリップは、トラバース時に持ち替えて使いやすいので、使い勝手の良いモデルです。

K2
LOCKJAW CARBON

¥15,000+税
サイズ:90～130cm伸縮可能
平均重量:290g（1/2ペア）
素材:カーボン

95mmサイズのパウダーリングや確実なロック機能を持つバックカントリー用ポールの定番アイテム。EVAを巻きつけたアッパーシャフトは、トラバース時に握ることで滑りを防ぎつつ、手の冷えも軽減します。傾斜計付き。

SCOTT
RC PRO SKI POLE

¥35,000+税
サイズ:115·125·135cm
平均重量:170g（1/2ペア）
素材:カーボン

まるで刀をイメージさせるデザイン。ストラップの位置が指二本で簡単に移動できるので、好きな長さに変えて使用可能。超軽量のカーボンシャフトはスウィングウェイトも軽くなっています。パウダーリング付属。

BackPack

Avalanche AIR BAG

ARC'TERYX
VOLTAIR 30

¥200,000+税（バッテリー·チャージャー込）
サイズ:30ℓ
平均重量:4,255g（バッテリー込）
カラー:全2色

バッテリーを使いモーターを駆動して膨らませる方式のエアバッグです。フル充電の場合−15℃の環境で8回使用可能。ザック本体の作りが秀逸で、重さを感じにくく防水性も高い。システムのユニットがザックの中央に配置されており、背負った状態でバランスが良いため重量を感じにくい作りはさすがと言えます。

bca
FLOAT 32

¥78,000+税（シリンダーセット）
サイズ:32ℓ
平均重量:3,218g（シリンダー込）
カラー:全2色

圧縮空気を充填したシリンダーを使って膨らませるエアバッグ。温度に左右されず確実な作動ができる点が支持されています。シリンダーは再充填可能で、サービスセンターに送ると充填されたシリンダーが返送されます。バッテリー式と違い、試しに作動させられないので、初回限定で1回の作動確認分の充填クーポンサービスが付いているのは嬉しいサービス。価格も魅力的です。

Black Diamond
サーガー40 ジェットフォース

¥141,000+税
サイズ:40ℓ
平均重量:3,500g（バッテリー込）
カラー:全2色

バッテリーで駆動するモーターを使って200ℓのエアバックを膨らませるタイプ。電動モーターを使用した先駆者的なモデルです。万が一埋没してしまった際も、膨らんでから3分後に自動的にバッグ内の空気を排気してエアポケットを作り出す独自の機能を搭載しているのが特徴。一度のフル充電で4回作動できる点もうれしい機能です。

Winter Pack

MYSTERY RANCH
PATROL 35

¥36,000+税
サイズ:35ℓ S/M、M/L
平均重量:2,100g（S/M）
カラー:全2色

過酷な環境下での行動が余儀なくされるミリタリーや、森林消防隊などの運搬システム製造のノウハウが活かされた高品質で耐久性に富んだ製品がミステリーランチの魅力です。スノーパックも必要な機能が機能的に配置され、身体への負担を最小限に抑えてくれる工夫が満載されています。23kgもの重量を快適に背負うことができるように設計されており、重量を感じさせない作りの良さを体感いただきたいスキー用のパックです。

MYSTERY RANCH
SADDLE PEAK

¥29,000+税
サイズ:21ℓ S/M、M/L
平均重量:1,700g（S/M）
カラー:全2色

リフトアクセスに最適なサイズのバックカントリー用パック。トップローディングのほか、サイドからも荷室にアクセス可能。雪の付着を最小限に留める背面パネル、ショルダーハーネス、ウェストベルトを採用するなど、バックカントリー専用パックとして高い完成度を誇ります。

OSPREY
KAMBER32

¥17,000+税
サイズ:S/M 30ℓ、M/L 32ℓ
平均重量:1,540g（M/L）
カラー:全3色

細かな改良を積み重ねて熟成されたスノーパックの人気モデル。ヘルメットホルダーやゴーグルポケットなど細部にわたるアクセサリーの使い勝手も優れています。

DEUTER
FREERIDER PRO30

¥21,000+税
サイズ:30ℓ
平均重量:1,720g
カラー:全2色

多くのライダーから絶大な信頼を得ている大人気のウインターパック。とくにパックの厚みを抑えたデザインにより、ライディング中に身体が振られにくく、ウェストベルトが可動式で動きを妨げないなど、滑走時のバランスを優先した作りが人気の秘密。

THE NORTHFACE
CHUGACH 35

¥24,000+税
サイズ:M 34ℓ、L 35ℓ（L）
平均重量:M1,565g L1,645g
カラー:全2色

もっとも使いやすいサイズのトップローディングパック。バックパネルからメインコンパートメントへアクセス可能で、スノーボードキャリーシステムを標準搭載。スキーヤーのみならずスノーボーダーも使いやすいモデルです。

Brain presents

SKI WITH LIFE

01.MASAYUKI AKIBA

02.NORIYUKI KOUZEKI

03.GORO OBATA

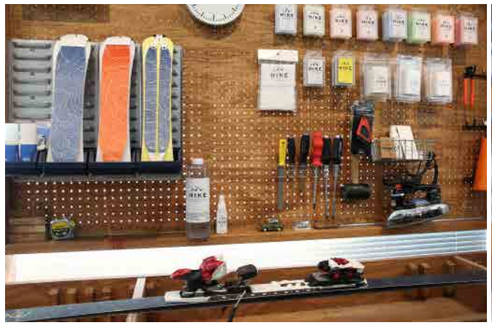
雪と山とスキーと自分らしさ。

それさえあれば、どんな場所でも生きていける。

今回はスノーライフをひたむきに楽しむ

3人の大人たちに話を聞いた。

Brain：お客様の想いに応える家づくりを北海道から発信するハウスビルダー



スキーカルチャーの息づく暮らし。

VECTOR GLIDEのスピリット

●

僕の志向は、子供時代のスキーカルチャーの影響が強くて、少年時代を過ごしていた1970年代前半から80年代中盤を意識したプロダクトデザインが好きですね。その時代のスキーギアってウェアも含めて、シンプルであったりモデルー つー つのステイタスが高かったりと、とにかくかっこよかった。

だから自分でブランドを立ち上げるときも、シンプル&機能美を意識したモノづくりをしていきたいなと。その思いが積み重なってできたブランドが「VECTOR GLIDE」なんですよね。インテリアとしても成立するような、たとえば洋服や絵を飾るように日常で使うものと同じトーンでデザインを行なっています。

自然の景色を買う贅沢

●

スキーのギアづくりは自然を相手にしている仕事なので、家や事務所にもナチュラルテイストは取り入れたいですね。東京にいるとなかなか難しいけど、窓から見える景色ってすごく価値のあるものだと思うんです。家の中から山が見えて、空が見えて、星が見える環境。北海道にはそれができる土地がたくさんある。「自然の景色を買う贅沢」みたいな。それって理想的ですよね。

木への思いもあって、内装にはなるべく木を多く使いたい。でもぜんぶ木で統一しちゃったらログハウスみたいになっちゃう。それだけじゃつまらないので、アイアンを使ったりして都会的なエッセンスをバランスよく加えて、今の事務所や住宅にも取り入れています。

アートとしてのスキーの楽しみ方

●

今はマンション住まいで広いスペースは取れないけど、好きな道具を飾るスペースも作ってますね。ガレージに閉まっておくだけじゃもったいないじゃないですか。ちゃんとディスプレイしてあげて、板もブーツも魅せて収納。その中に雪山の写真やアートが混在していたり。都会にいても、スキーの楽しみ方は工夫次第ですよね。

事務所の中も、そういった意味では楽しめる場になっているのかな。スキーワックスを塗るのが好きで、気に入った場所があればどこでも塗りたくて。もともとオフィス然とした感じがイヤだったのもあるけど、今の事務所は床を全部剥がして、いつでもどこでもワックスを塗れる環境にしていますね（笑）

01

VECTOR GLIDE PRODUCER

MASAYUKI AKIBA

秋庭 将之 VECTOR GLIDE プロデューサー

あきば まさゆき／北海道出身。3歳からスキーを始め、札幌ばんけいスキー場で毎日のように滑り、林道をナイターの灯りでそのまま滑って自宅に帰るという幼少期を過ごす。その後、競技スキーを始めオリンピック出場を目指すが、膝に怪我を負いその夢を断念。大学卒業後、プロスキーレーサー、全日本スキー連盟デモンストレーター、スキークロスレーサーとして国内外で活動。フリースキーへ活動を広げた後、2002年にスキーブランド「VECTOR GLIDE」をスタートさせ、現在に至る。

02

CROSS WORLD CEO

NORIYUKI KOUZEKI

ライフスタイルは、よりシンプルにフォーカスされていく。

利便とは比べられない幸せが、ここにあった

●

移住してわかったことは、都会の暮らしって無駄が多いなってこと。札幌にいた頃は、確かに何でも揃っていて便利だった。でも、山の生活は不便を感じないくらい楽しさに溢れてるんだよね。

今までは見上げなきゃ空は見えなかったけど、ここでは自然に空が視界に入ってきて季節でこんなにも色が変わるんだとか、暮らしてみて初めてわかることがたくさんある。「働いて、食べて、暖かい家がある」それだけで十分なんだよね。暮らしがよりシンプルにフォーカスされていくのが、これからのライフスタイルなんだなって、改めて気づかされた。

人生の集大成として選んだ移住。窓を眺めて雪が降ってたらすぐに滑りに行けちゃうローケーションが山に居を移した理由。そんな環境に似合うウッドデッキと薪ストーブは、ここでの暮らしの必需品だね。それとロードヒーティング。思い立ったら雪かきしないですぐ山に登りたいもん(笑)

アナログの質感と暮らしやすさ

●

田舎暮らしってすべてがアナログじゃなきゃって風潮もあるけど、僕はそうじゃない。ベースはアナログなんだけど、現代社会の便利なものはちゃんと取り入れたほうがいい。その象徴が僕にとっては薪ストーブ。でも、将来的に管理できなくなることも考えて、セントラル暖房も取り入れてるみたいな。

最近の住宅は気密性が高いから、薪ストーブなんて本当はいらない。だけど、薪を割って、火力の管理をしてというアナログな作業を無くしたら、この暮らしの本質がなくなってしまう。だからあえて、住宅の気密を甘くして暖炉の火を灯したんだよね。

本当の贅沢は、シンプルな生き方にある

●

2階は都会で仕事してた頃とは比べ物にならないくらい抜け感のある風景。今ではここを仕事部屋にして、いろんなアイデアを考えているんだ。

そして、特徴的なのは玄関にあるギアラック。スキーとかスポーツ、アウトドア系のアイテムが揃えてあるので、ピックアップして車に乗せたらすぐに出かけられるんだ。この絶好の環境にふさわしいしつらえでしょ(笑)ここはスキーをするには、最高のシチュエーション。
移住してきて「本当の贅沢はシンプルな生き方にある」ってことを実感できたことが、僕にとっての一番の収穫だったね。

河関 憲幸

有限会社クロスワールド代表取締役

こうぜき のりゆき／吉田カバンの専門店「KURA CHIKA」セレクトショップ「Nordic」を運営。1980 年～90 年代にファッションとアメリカンヴィンテージの影響を受けた世代で、モノづくりの思いやこだわりを表現する場として、2004 年現在のクロスワールドの設立し代表取締役に就任。吉田カバン専門店「KURA CHIKA 札幌店」の運営と、2011 年からはスタンダードでいつまでも色褪せないファッションやギアを中心にセレクトしたショップ「Nordic Pivot」をオープン。2013 年には「Nordic 円山」をオープン（現在は休業し、再開業に向け準備中）させ、2016 年からプライベートと仕事の一貫性を追求し、山の暮らしを始める。

03

NOMAD OWNER

GORO OBATA

好きだから住む。理由はそれだけ。

自分が楽しめる拠点を作る

●

東川町でカフェを始めたのは、自分のためでもあったんですよね。当時は旭岳に通っていて、帰り道にサクッとご飯が食べれてお茶ができるような店があればなって。ないんだったら自分でやってみようと思ったのがきっかけ。

アウトドア好きが集まる、レトロかわいい人気店

●

この建物、元電気屋さんで今でも外観はその名残があって、店のいい味になっています。内装は山小屋をイメージしてリノベーション。木の椅子とテーブル、薪ストーブ、そしてインテリアには、昔のヴィンテージスキーや知り合いのスキーヤーの写真を。スキーだけで30～40本はあるかな。多くは旭川の平沼スポーツ店から譲り受けたモノ。中にはオリジナルの「平沼スキー」もあったりして、板好きのお客さんには好評ですね。

スキーもそうですけど、夏は登山や自転車乗りなど外遊び好きのお客さんが多くて、アウトドアの話になることもしばしば。コーヒーを飲みながら、そんな会話をしているのが日常の楽しいひと時。

らしさを追求できる場所

●

もともと旭川出身で小さい頃はアルペンスキーをやってました。でも、成績は小柄なこともあって目立った成績は残せなかった。そんなこともあり、学生時代は札幌に出てきてスキーから離れた生活を送ってました。

でも、当時活躍していたスキーヤー達に触発されて地元に近い東川で活動を再開。店を開いてからは、シーズンになると天気予報、風向き、温度、積雪状況を毎日チェックして、最適なスキースポットを探してます。当然、絶好のコンディションの時はお店を閉めちゃいます。そのための不定休なんで(笑)

自分の好きなことが身近にあるってステキじゃないですか。僕にとって、それがスキーとフライフィッシング。その両方がハイレベルで楽しめる東川町は最高の環境ですね。

小畑 吾郎

ノマド店主

おばた ごろう／旭川市出身。幼少の頃からアルペンスキーに打ち込み、腕前を鍛える。その後、進学のため札幌で過ごすが当時活躍していたスキーヤーの影響を受け再び地元である旭川へ。旭岳を拠点に活動をしている時に、東川町内でのカフェ経営を着想し、ノマドを立ち上げる。山小屋をイメージした店内にはスキーにまつわるインテリアなどが飾られ、多くのアウトドア愛好者が訪れる。減農薬で作った東川米を毎日精米して炊いたご飯で作る定食が人気。

Brain × ISG 石井スポーツグループ
「雪山の家」2018年秋より販売開始！
最新詳細はこちら
http://brain-home.com/

自分らしくスノーライフスタイルを楽しむには、ベースとなる住まいも大切。「北海道×ウィンタースポーツ×暮らし」をテーマに、北海道に根付いた建築会社「Brain」とウィンタースポーツシーンを牽引するICI石井スポーツが「雪山の家（仮称）」をプロデュース。ぜひ、ご期待ください。

SPECIAL REPORT

店舗で聞くお客様の要望に応える性能を求めて開発した
石井スポーツオリジナルスキー

MOCU²

セカンドステージに突入!

2018-19シーズンは バージョンアップ+2モデルで 魅力倍増!

一昨年、販売開始とともに話題になり、『MOCU2』の性能とコンセプトに共感してご購入いただくお客様も多数いらっしゃいました。お客様のニーズを形にしたとはいえ、こういうスキーを求めている人が多くいらっしゃることがわかりました。そこで私たちは『MOCU2』プロジェクトをさらに推し進め、3年目となる2018-19シーズンは、ダブルフェイスをバージョアップさせるとともに、ふたつのモデルを新たにラインアップします。それが「カモシカ」と「ストロベリーフィールド」です。ここでは、バージョアップの内容と新たな2モデルの開発コンセプトをお届けします。

コブ斜面を思いどおりに! ショートターンもしやすい「カモシカ」

「カモシカ」は、誰もが憧れるコブをスムーズに滑り降りることを現実にするために開発しました。現在のカービングスキーはプレート装備したターンの走りを引き出す構造を主としており、コブでの操作性や安定したポジションでの滑走がむずかしく、コブを攻略できないと思っているスキーヤーは多いのではないでしょうか? それはスキーを変えることで一変するはずです。このスキーはプレートなし、スキーの反発力も抑え気味につねにスキーの中心にポジションをキープしやすい性能を重視しました。もちろん整地でのカービングも可能なようにサイドカーブも最適なプロポーションを探り開発しました。その結果、コブ斜面はもちろん、ショートターン自体がしやすいスキーに仕上がりました。コブもカービングも両立したいスキーヤーはぜひチャレンジしてください。

製造は今回も小森スキー製作所に依頼。軽い心材を使いつつ、高いターン性能や耐久性を備えさせるのは難しく、その難題に挑んでくれた。小森社長の存在あってこその当プロジェクトだ

オンもオフも自由自在! オールマウンテンファット「ストロベリーフィールド」

近年、パウダー専用コースや林間が解放され、パウダー滑走が手軽な環境になりました。そんなパウダーのなかで、「浮力が得られ・雪の量や質に左右されず・軽量で操作性が良い」、もちろんゲレンデでのカービング性能にもこだわり「スピードにも強くサイドカーブを利用した切れるターンも可能」な、これぞオールマウンテンスキーを開発しました。この一台で一日中スキーを楽しめる、日本の環境に合った万能で手軽なファットスキーです。佐々木明のゲレンデテストでも好評価をいただきました。

軽いことは当たり前! 2代目の「ダブルフェイス」は滑りの満足度も追求

ファーストモデルのコンセプトを継承し、日本の雪に合った軽量ながら安定性にも優れたスキー。ウッド芯材、メタルサンドウィッチ構造を採用、センター幅80mmというオールラウンド性を追求したどこでも誰にでも使えるオールマウンテンスキーです。2代目となるニューモデルは、芯材を変更し、ターン中の粘り感を重視して滑りの満足度をアップ。進化した「MOCU2 ダブルフェイス」に期待してください。

開発は石井スポーツ社員を中心に、一般スキーヤー目線で、さまざまなシチュエーションをテスト

MOCU2
DOUBLE FACE

¥90,000+税
*スキー板のみ、金具は別売

サイズ 152/158/165/170cm
サイドカット 121-80-106mm
ラディウス 152cm/12.3m
158cm/13.3m
165cm/15m
170cm/16m

MOCU2
KAMOSHIKA

¥80,000+税
*スキー板のみ、金具は別売

サイズ 152/158/165cm
サイドカット 121-70-99mm
ラディウス 152cm/12m
158cm/13m
165cm/14m

MOCU2
STRAWBERRY FIELD

¥80,000+税
*スキー板のみ、金具は別売

サイズ 164/172/180cm
サイドカット 132-98-118mm
180cm/134-98-120mm
ラディウス 164cm/14.5m
172cm/16m
180cm/16m

[2018-19 product topics]

★ダブルフェイスの新バージョン登場
★コブ斜面攻略とショートターンのしやすさにフォーカスした「KAMOSHIKA」の登場
★フィールドを選ばないオールラウンド性を備えたファットスキー「STRAWBERRY FIELD」の登場

*デザインはサンプルで変更となる場合があります。金具はイメージですのでセット販売ではありません。ご了承ください(3モデル共通)。

2018-2019
スキーニューモデル予約販売会
スキーカスタムフェア
40th Anniversary

ISHII SPORTS SKI NEW MODEL
Custom Fair
2018-2019 40th Anniversary
Custom fair is one of the biggest ski reservation sale events in Japan.
It is a place to share various information on skiing and form a community where ski fellow gathers.

今年でカスタムフェアは「40周年」。

札幌会場　6月8日(金)～10日(日)
アクセスサッポロ

東京有明会場　6月14日(木)～17日(日)
有明ビッグサイトTFTビル西館2階ホール

仙台会場　6月22日(金)～24日(日)
仙台サンフェスタ

松本長野会場　6月29日(金)～7月1日(日)
安曇野スイス村サンモリッツ 大・中ホール

大阪神戸会場　7月6日(金)～8日(日)
大阪府立国際会議場(グランキューブ大阪)

新潟会場　7月14日(土)～16日(月・祝)
燕三条地場産業振興センター

東京ファイナル五反田会場　7月20日(金)～22日(日)
TOC五反田メッセ

【ISG 石井スポーツグループ 店舗一覧】

●スキー専門店

カンダコンペカン	東京都千代田区神田神保町1-6-1 タキイビル1F　☎03-3295-6060
宮の沢店	北海道札幌市西区宮の沢1条1丁目6-1　☎011-676-8360

●山とスキーの専門店

神田本館	東京都千代田区神田小川町3-10　☎03-3295-3215
新宿西口店	東京都新宿区西新宿1-16-7　☎03-3346-0301
大宮店	埼玉県さいたま市大宮区桜木町2-1-1 大宮アルシェ B1F　☎048-641-5707
高崎前橋店	群馬県高崎市中尾町44-1　☎027-361-4050
川越店	埼玉県川越市南通町14-4　☎049-226-6751
横浜店	神奈川県横浜市中区日本大通7番地　日本大通7ビル 1F　☎045-651-3681
甲府店	山梨県甲府市上阿原町481-1　☎055-221-0141
宇都宮今泉店	栃木県宇都宮市中今泉3-9-23　☎028-639-9650
松本店	長野県松本市中央2-3-17　☎0263-36-3039
長野店	長野県長野市末広町1356 Nacs末広 2F　☎026-229-7739
新潟店	新潟県新潟市堀之内南1-16-52　☎025-241-5134
長岡店+ici club	新潟県長岡市古正寺町110　☎0258-89-6901
札幌店	北海道札幌市中央区北11条西15-29-3　☎011-726-2288
仙台泉店	宮城県仙台市泉区市名坂字中道100-1 ヨークタウン市名坂内　☎022-725-2567
秋田店	秋田県秋田市御所野元町1-1-15 フレスポ御所野 1F　☎018-892-7291
盛岡店	岩手県盛岡市大通2-8-14 MOSSビル2F　☎019-626-2122
広島店+ici club	広島県広島市中区基町6-78 基町クレド・パセーラ 4F　☎082-962-9707
IBS神戸三宮店+ibs club	兵庫県神戸市中央区雲井通6-1-15 三宮オーパ2 6F　☎078-262-5301

●バックカントリー専門店

b.c.map札幌	北海道札幌市中央区北11条西15-29-3　☎011-726-2288
b.c.map神田	東京都千代田区神田小川町3-10　☎03-3259-0082
THE NORTH FACE b.c.map club神田	東京都千代田区神田小川町3-6　☎03-3259-0080
b.c.map新潟	新潟県新潟市堀之内南1-16-52　☎025-241-5134
b.c.map仙台	宮城県仙台市泉区市名坂字中道100-1 ヨークタウン市名坂内　☎022-725-2567
b.c.map神戸	兵庫県神戸市中央区雲井通6-1-15 三宮オーパ2 6F　☎078-262-5301

●登山専門店

登山本店	東京都千代田区神田神保町1-6-1 タキイビル 2F　☎03-3295-0622
石井山専 新宿東口ビックロ店	東京都新宿区新宿3-29-1 ビックロ新宿東口店 8F　☎03-5312-9550
吉祥寺店+ici club	東京都武蔵野市吉祥寺本町1-11-5 コピス吉祥寺B館 4F　☎0422-23-7740
立川店	東京都立川市曙町2-42-1 パークアベニュー1F　☎042-540-4801
高尾店	東京都八王子市東浅川町550-1 イーアス高尾内 2F　☎042-673-6471
太田店	群馬県太田市内ヶ島町927-10　☎0276-30-6070
大丸東京店+ici club	東京都千代田区丸の内1-9-1 大丸東京店 11F　☎03-5220-3580
仙台店	宮城県仙台市青葉区中央2-3-6 イオン仙台店 5F　☎022-796-8871
IBS大阪本店+ibs club	大阪府大阪市北区梅田1-2 大阪駅前第2ビル 1F　☎06-6344-5225
IBS名古屋店+ibs club	愛知県名古屋市中区錦3-16-27 栄パークサイドプレイス 2F　☎052-973-2780
IBS福岡店	福岡県福岡市中央区天神1-11-1 天神ビブレ 4F　☎092-737-9136

●ici club

ici club神田	東京都千代田区神田小川町3-6　☎03-3259-0081

COVER PHOTO　Skier : Akira Sasaki　Photographer : Hiroya Nakata　Place : mt.tanigawa
発行 : ISG石井スポーツグループ
©ISG ISHII SPORTS GROUP 2018